

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7 款 商 工 費	6,986,025,784	1,728,868,042	0	1,317,779,744	3,939,377,998
1 項 商 工 費	6,986,025,784	1,728,868,042	0	1,317,779,744	3,939,377,998
2 目 中 小 企 業 振 興 費 <中小企業の経営基盤の強化と人材育成>	229,223,486	5,414,700	0	1,178,000	222,630,786

1 中小企業振興対策事業費 191,311,637 円 (産業政策課・商工業振興課)

[総括]

ものづくり・夢づくり支援事業において、市内企業の競争力や技術力、販売力の強化に資する支援を行った。また、企業BCP(事業継続計画)等の策定を促すためのセミナーや策定経費の助成を行ったほか、地域が連携したBCPの構築に係る取組みをまとめた。今後も地域のニーズや戦略を踏まえた新たな制度の構築・検討を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 中小企業振興助成金 171,908,430 円

助 成 金	令和元年度		令和2年度	
		191件	155,000,160円	200件

(2) ものづくり・夢づくり支援事業費 13,736,707 円

(ア) 知的財産権取得事業費補助金 1,489,000 円

補 助 金	令和元年度		令和2年度	
		10件	764,000円	21件

(イ) 産学共同研究等支援事業費補助金 227,000 円

補 助 金	令和元年度		令和2年度	
		2件	689,000円	1件

(ウ) 販路開拓支援事業費補助金 5,086,000 円

補 助 金	令和元年度		令和2年度	
		55件	9,542,000円	28件

(エ) 創業者支援事業費補助金 1,180,000 円

補 助 金	令和元年度		令和2年度	
		5件	1,294,000円	5件

(オ) 起業支援事業費補助金 1,370,000 円

補 助 金	令和元年度		令和2年度	
		9件	2,834,000円	5件

(カ) 事業承継支援事業費 185,707 円

セ ミ ナ ー 受 講 者 数	令和元年度		令和2年度	
		3人		会場受講 延 22人

(3) 企業BCP策定支援事業費 5,125,500円

(ア) 企業BCP（事業継続計画）策定推進事業費 5,065,500円

内 容	令和元年度		令和2年度	
	セミナー開催	延 131人	セミナー開催	延 97人
			地域連携BCPモデル事業委託	

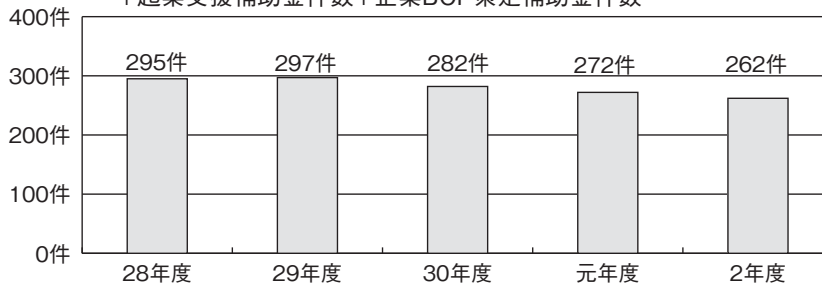
(イ) 企業BCP策定支援事業費補助金 60,000円

補 助 金	令和元年度		令和2年度	
		0件 0円	2件	60,000円

[指 標]

指 標 名：中小企業振興助成金等交付件数

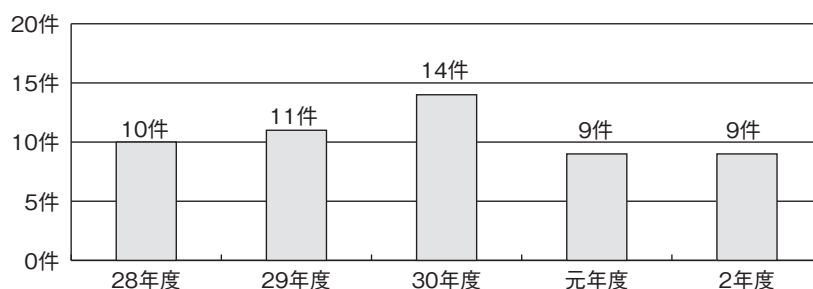
指標説明：振興助成金件数+国際規格等取得補助金件数(H28)+知的財産取得補助金件数  
+産学共同研究補助金件数+販路開拓補助金件数+創業者支援補助金件数  
+起業支援補助金件数+企業BCP策定補助金件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3 目 産 業 創 出 費 <製品開発力や技術力等の向上と新規産業の創出>	149,344,659	0	0	2,000,000	147,344,659
1 新事業創出事業費		87,624,693円 (地域イノベーション推進室)			
[総括]					
<p>特色ある技術をもった事業者が活躍し、地域における新産業の創出を促進するため、産学連携等による新技術・新製品開発に向けた研究開発の取組みに対する助成を行った。また、衛星データを活用したサービス創出・製品化のための実証実験への支援や、スタートアップと市職員が協働し地域課題の解決に向けた実証実験を行う「Urban Innovation TOYOHASHI」など新たなビジネス創出につながる様々な取組みを行った。今後も地域での新事業創出に向けた取組みを推進していく。</p>					
[実績及び成果]					
(1) イノベーション創出等支援事業補助金 35,504,893円					
補 助 金		令和元年度	令和2年度		
		35,880,000円	35,504,893円		
(2) 新規ビジネス創造支援事業補助金 500,000円					
補 助 金		令和元年度	令和2年度		
		500,000円	500,000円		
(3) オープンデータビジネス創出事業費 14,869,800円					
内 容		令和元年度	令和2年度		
		データポータルサイト、デジタルサイネージ及び公共交通運行情報システムの運用開発、ワークショップ等の開催支援	データポータルサイト及びデジタルサイネージの運用管理、公共交通運行情報システムの機能拡充		
(4) 衛星データ利活用促進支援事業補助金 7,950,000円					
補 助 金		令和元年度	令和2年度		
		—	7,950,000円		
(5) 官民一体型新ビジネス創出事業費 8,000,000円					
内 容		令和元年度	令和2年度		
		—	スタートアップと市職員が協働して、地域や行政の抱える課題の解決に資するプロダクトの開発・実装のための実証実験を実施		
(6) 地域産業支援施設整備事業補助金 20,800,000円					
補 助 金		令和元年度	令和2年度		
		20,800,000円	20,800,000円		

[指標]

指標名：研究開発に対する支援件数  
 指標説明：イノベーション創出等支援事業の研究開発テーマ件数



2 産学交流促進事業費

61,719,966円（産業政策課・地域イノベーション推進室）

[総括]

本市をはじめ様々な機関が一体となって行う人材育成事業等の取組みに対する助成のほか、豊橋サイエンスコアに集う多様な事業者の交流・連携を促進することで、新商品開発や新規ビジネスの創出を加速化する「豊橋イノベーションガーデン」の運営を支援した。また、南部窓口センター2階に大学生・高校生の交流スペース「ガクラボ」を開設し、学生の意欲的な自主活動を支援した。今後も新たな産業創出を支える人材の育成や交流を進める取組みを行っていく。

[実績及び成果]

(1) 社会人キャリアアップ支援事業補助金 3,500,000円

補助金	令和元年度	令和2年度
	3,700,000円	3,500,000円

(2) 豊橋イノベーションガーデン運営事業補助金 53,300,000円

補助金	令和元年度	令和2年度
	51,600,000円	53,300,000円

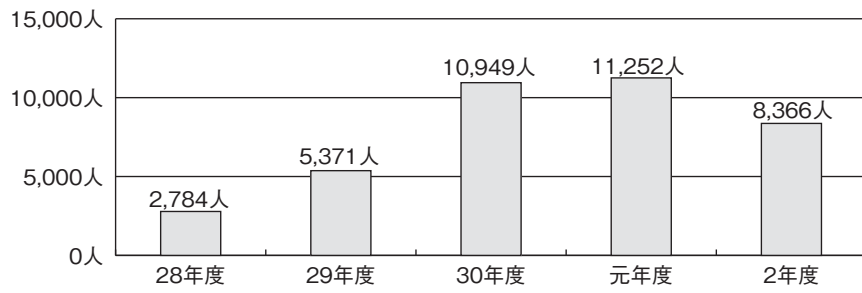
(3) 学生の学びと交流空間運営事業費 4,919,966円

内容	令和元年度	令和2年度
	南部窓口センター2階の遊休空間を活用し、大学生・高校生の意欲的な自主活動を支援するためのスペースを整備	南部窓口センター2階に大学生・高校生の交流スペース「ガクラボ」を開設し、学生の意欲的な自主活動を支援

[指 標]

指 標 名：豊橋イノベーションガーデン利用者数

指標説明：マイカーズ・ラボとよはし利用者数(平成27年11月～)+Startup Garage 利用者数(平成29年11月～)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 企業誘致費 〈円滑な企業活動の促進と企業誘致の推進〉	324,001,266	0	0	0	324,001,266

1 企業誘致推進事業費 324,001,266 円 (産業政策課)

[総括]

新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、市内の立地企業との情報交換会を開催したほか、企業の事業拡大、再投資を促すために、市内や近隣市を中心に企業訪問を行った。こうした取組みにより、新たに2区画の事業所用地の分譲に成功し、優良企業を誘致することができた。また、内陸用地への進出要望の高まりへの対応として、国道23号名豊道路沿線の豊橋三弥地区工業用地及び豊橋東インターチェンジ工業用地の整備を進めた。

[実績及び成果]

(1) 企業誘致活動事業費 1,661,266 円

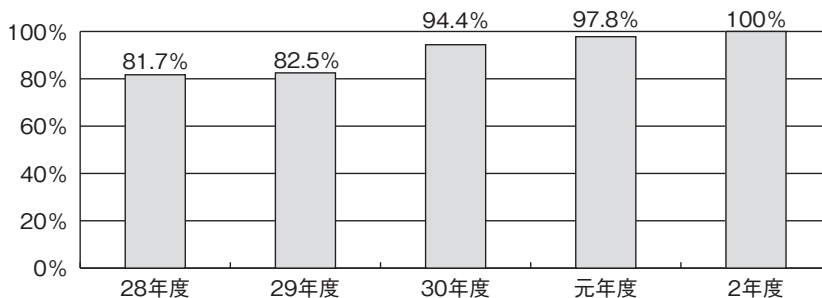
内 容	令和元年度		令和2年度		
企業誘致説明会	開催日	2.3		—	
	場 所	大阪市		—	
	出席企業数	26社		—	
立地企業情報交換会	開催日	7.30	12.12	7.20	9.25
	場 所	明海地区	御津地区・神野地区	二川地区	若松地区
	出席企業数	19社	12社	9社	13社
東三河5市企業誘致推進連絡会議	事業実績	○メッセナゴヤ出展 11.6~11.9 ポートメッセ名古屋 ○企業用地見学ツアー 1.27		○企業誘致PR用品の製作	

(2) 企業立地促進奨励金 322,340,000 円

奨 励 金	令和元年度		令和2年度	
		30件	623,951,000円	34件

[指 標]

指 標 名：事業所用地分譲率  
 指標説明：市内5か所の事業所用地全体の分譲率(面積)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 商業振興費 ＜魅力ある商業集積の形成＞	1,697,765,443	1,550,807,818	0	41,538,944	105,418,681

1 商業振興対策事業費 208,360,069 円 (商工業振興課)

[総括]

魅力ある商業地形成のため、商店街等が維持管理を行う街路灯等の電灯料や既設アーケードの省エネ化に対して助成したほか、商業団体が実施する各種イベントに対する支援などを行った。また、国のマイナポイント事業について、マイナポイント予約申込支援などを実施した。今後も各種事業を実施することにより、商業等の活性化を促進していく。

[実績及び成果]

(1) 商業団体共同事業補助金 253,000 円

補 助 金	令和元年度		令和2年度	
		9団体	1,856,000円	3団体

(2) 商店街環境向上事業補助金 6,287,000 円

補 助 金	令和元年度		令和2年度	
		4団体	302,000円	7団体

(3) がんばる個店応援事業補助金 2,190,000 円

補 助 金	令和元年度		令和2年度	
		5件	1,308,000円	11件

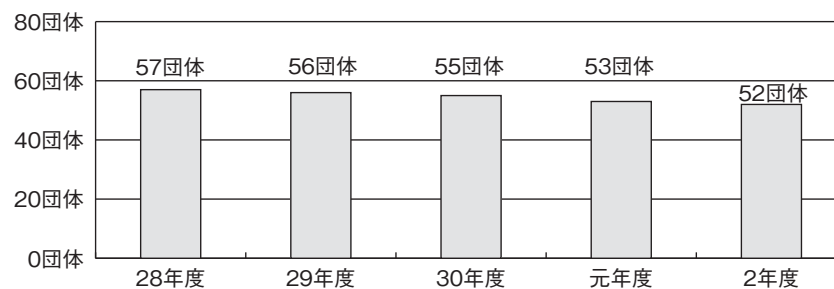
(4) マイナポイントを活用した消費活性化事業 16,392,991 円

内 容	令和元年度		令和2年度	
		マイナポイント支援コーナーを設置 事業周知のための広報活動を実施		マイナポイント支援コーナーを設置 事業周知のための広報活動を実施

[指 標]

指 標 名：商店街、発展会等数

指標説明：法組織(商店街振興組合、商店街事業協同組合)数+任意組織(発展会等)数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 中小企業支援費 <意欲ある事業者への支援>	1,491,910,729	152,932,100	0	1,269,000,000	69,978,629

1 制度融資事業費 1,270,291,626 円 (商工業振興課)

[総括]

中小事業者に対する金融機関の融資の停滞を防ぎ、中小事業者が経営基盤を安定・強化できるように、小口事業資金融資や経営安定資金融資などの原資として預託を行った。今後も融資制度の利用を促進していく。

[実績及び成果]

[預託金合計]

区 分	令和元年度	令和2年度	比 較	
預 託 額	1,194,000,000円	1,269,000,000円	6.3%	
融 資 枠	4,452,000,000円	4,797,000,000円	—	
融 資 実 績	件数	920件	403件	△56.2
	金額	4,439,763,000円	1,854,214,000円	△58.2
融 資 実 績 率	99.7%	38.7%	△61.0ポイント	

(1) 小口事業資金預託金 512,000,000 円

区 分	令和元年度	令和2年度	比 較	
預 託 先	豊橋信用金庫ほか15金融機関	豊橋信用金庫ほか15金融機関	—	
預 託 額	738,000,000円	512,000,000円	△30.6%	
融 資 枠	2,214,000,000円	1,536,000,000円	—	
融 資 実 績	件数	217件	61件	△71.9
	金額	1,735,067,000円	428,014,000円	△75.3
融 資 実 績 率	78.4%	27.9%	△50.5ポイント	

(2) 経営安定資金預託金 258,000,000 円

区 分	令和元年度	令和2年度	比 較	
預 託 先	岡崎信用金庫ほか15金融機関	岡崎信用金庫ほか15金融機関	—	
預 託 額	14,000,000円	258,000,000円	17.4倍	
融 資 枠	42,000,000円	774,000,000円	—	
融 資 実 績	件数	31件	58件	87.1%
	金額	274,500,000円	364,000,000円	32.6
融 資 実 績 率	653.6%	47.0%	△606.6ポイント	

(3) 小規模企業等振興資金預託金 330,000,000 円

区 分	令和元年度	令和2年度	比 較	
預 託 先	豊橋信用金庫ほか16金融機関	豊橋信用金庫ほか16金融機関	—	
預 託 額	290,000,000円	330,000,000円	13.8%	
融 資 枠	1,740,000,000円	1,980,000,000円	—	
融 資 実 績	件数	579件	220件	△62.0
	金額	2,035,070,000円	804,670,000円	△60.5
融 資 実 績 率	117.0%	40.6%	△76.4ポイント	



## (4) 中心市街地商業活性化資金預託金 23,000,000 円

区 分		令和元年度	令和2年度	比 較
預 託 先		豊川信用金庫ほか12金融機関	豊川信用金庫ほか12金融機関	—
預 託 額		21,000,000円	23,000,000円	9.5%
融 資 枠		63,000,000円	69,000,000円	—
融 資 実 績	件数	13件	3件	△ 76.9
	金額	110,606,000円	15,300,000円	△ 86.2
融 資 実 績 率		175.6%	22.2%	△153.4ポイント

## (5) 創業支援資金預託金 124,000,000 円

区 分		令和元年度	令和2年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか7金融機関	豊橋信用金庫ほか7金融機関	—
預 託 額		108,000,000円	124,000,000円	14.8%
融 資 枠		324,000,000円	372,000,000円	—
融 資 実 績	件数	70件	60件	△ 14.3
	金額	249,320,000円	234,330,000円	△ 6.0
融 資 実 績 率		77.0%	63.0%	△ 14.0ポイント

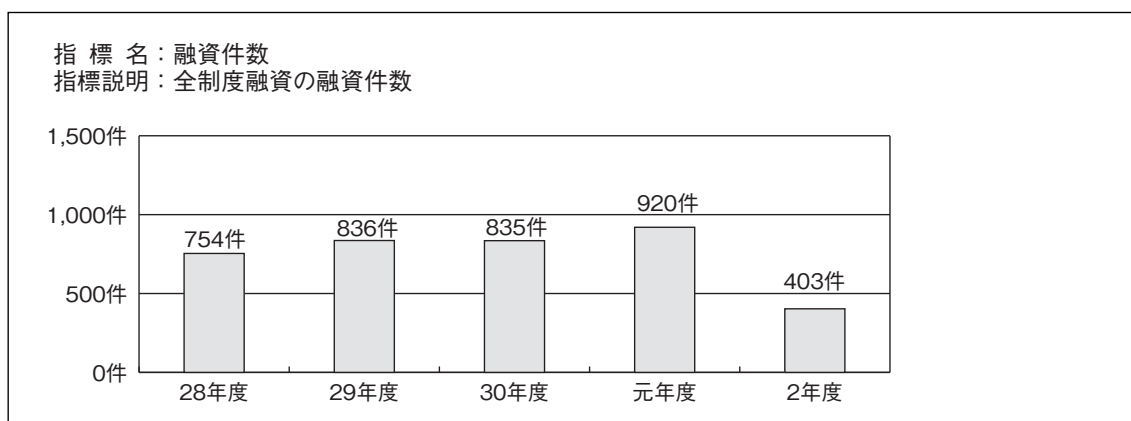
## (6) 中小企業団体共同事業資金預託金 8,000,000 円

区 分		令和元年度	令和2年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか6金融機関	豊橋信用金庫ほか6金融機関	—
預 託 額		8,000,000円	8,000,000円	0.0%
融 資 枠		24,000,000円	24,000,000円	—
融 資 実 績	件数	1件	0件	皆減
	金額	1,000,000円	0円	皆減
融 資 実 績 率		4.2%	0.0%	△ 4.2ポイント

## (7) 小規模事業資金預託金 14,000,000 円

区 分		令和元年度	令和2年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか11金融機関	豊橋信用金庫ほか11金融機関	—
預 託 額		15,000,000円	14,000,000円	△ 6.7%
融 資 枠		45,000,000円	42,000,000円	—
融 資 実 績	件数	9件	1件	△ 88.9
	金額	34,200,000円	7,900,000円	△ 76.9
融 資 実 績 率		76.0%	18.8%	△ 57.2ポイント

[指 標]



2 制度融資関係補助事業費 208,989,925 円（商工業振興課）

[総 括]

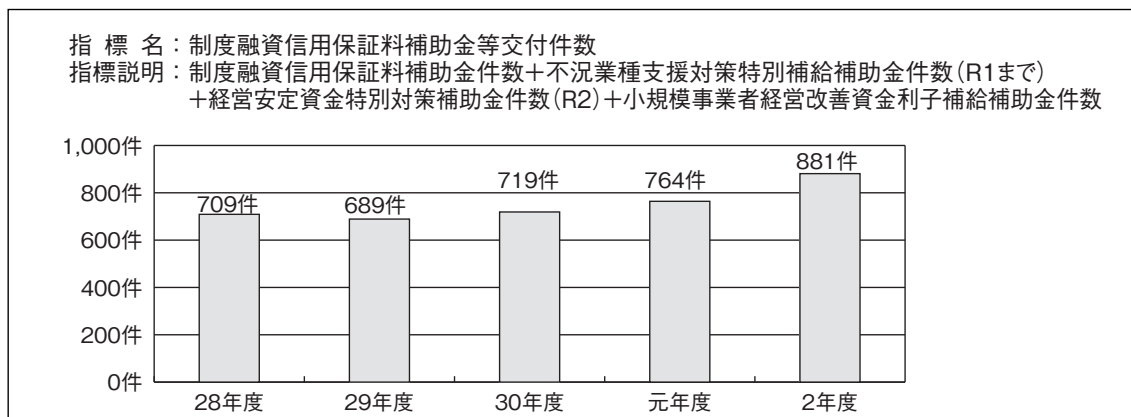
中小事業者が愛知県信用保証協会の信用保証を得て融資を受けた場合にその信用保証料相当額を助成するなど、中小事業者の借入負担を軽減し経営の安定化を図る支援を行った。今後も補助制度の利用を促進していく。

[実績及び成果]

(1) 制度融資信用保証料補助金 157,328,025 円

補 助 金	令和元年度		令和2年度	
		710件	77,979,303円	756件

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 中心市街地にぎわい創出費 <にぎわい創出活動の推進>	36,240,252	11,147,700	0	0	25,092,552

1 まちなかにぎわい創出事業費 23,221,252円 (商工業振興課・まちなか活性課)

[総括]

中心市街地のにぎわい創出及び消費促進のため、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で感染拡大防止に対応した歩行者天国やまちなかマルシェ、クリスマスマーケットを開催したほか、豊橋駅東口ペDESTリアンデッキではイルミネーション装飾を行った。今後も中心市街地で活躍する様々な団体と連携・協力しながら、状況に応じてまちなかに人の流れを生み出し、魅力ある中心市街地の形成に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) まちなかにぎわい創出活動事業費 16,818,021円

内 容	令和元年度		令和2年度	
まちなかイルミネーション装飾の実施	点灯期間・日数	11.16～2.14 91日間	点灯期間・日数	11.13～2.14 94日間
	装飾電球数	約 144,000球	装飾電球数	約 147,000球
まちなかマルシェ等の実施	実施回数・日数	12回・22日間	実施回数・日数	8回・17日間
	来場者数	延 80,000人	来場者数	延 24,800人
豊橋駅南口駅前広場使用実績	貸出件数	88件	貸出件数	64件
	貸出日数	117日	貸出日数	100日

(2) まちなか活性化推進協議会負担金 1,000,000円

負 担 金	令和元年度		令和2年度	
		1,000,000円		1,000,000円

(3) イルミネーションフェスティバル補助金 500,000円

補 助 金	令和元年度		令和2年度	
		1件	500,000円	1件

(4) 歩行者天国実行委員会負担金 1,215,000円

内 容	令和元年度		令和2年度	
歩行者天国の実施	実施回数	10回	実施回数	1回
	来場者数	延 314,000人	来場者数	延 18,000人

(5) コミュニティ活動等促進事業補助金 75,000円

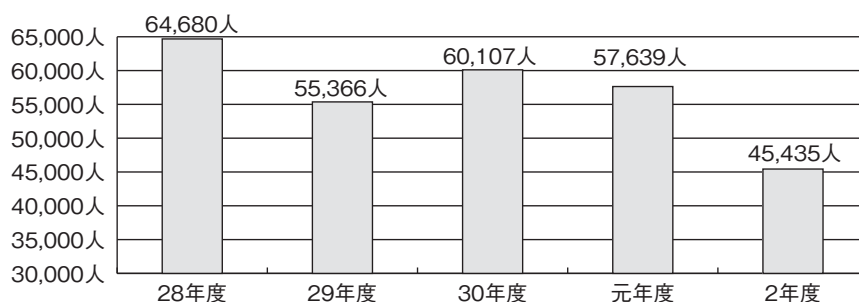
補 助 金	令和元年度		令和2年度	
		1件	222,000円	1件

(6) リノベーションまちづくり推進事業費 570,900円

内 容	令和元年度		令和2年度	
		講演会開催準備		実施回数
			参加者数	延 155人

[指 標]

指 標 名：中心市街地の休日歩行者通行量  
 指標説明：中心市街地内7地点の休日歩行者通行者数の合計



2 TMO支援事業費 13,019,000円（まちなか活性課）

[総 括]

中心市街地の商業・サービス業の振興を図るため、株式会社豊橋まちなか活性化センター（TMO）が実施する共通駐車券事業のほか、新規創業者の出店経費の負担軽減を図る、まちなかインキュベーション事業への支援を行った。今後も魅力ある商業・サービス業を集積させるための取組みを支援していく。

[実績及び成果]

- (1) 共通駐車券事業補助金 3,065,000円

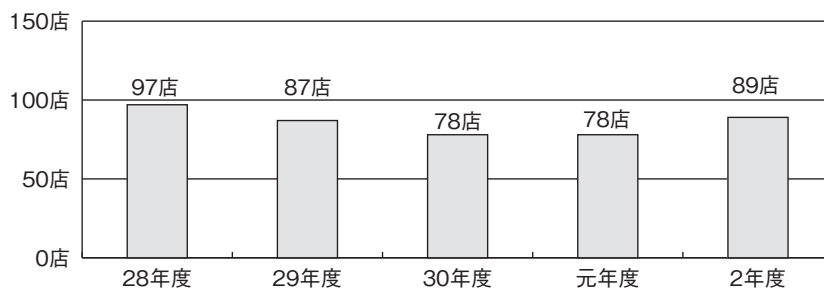
補 助 金	令和元年度		令和2年度	
	1件	1,031,000円	2件	3,065,000円

- (2) まちなかインキュベーション事業補助金 9,954,000円

補 助 金	令和元年度		令和2年度	
	18件	12,800,000円	21件	9,954,000円

[指 標]

指 標 名：中心市街地内の空き店舗数  
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8日 観 光 費 <観光資源の魅力づくり>	25,964,138	0	0	3,661,400	22,302,738

1 まつり・イベント支援事業費 15,713,619円 (観光振興課)

[総括]

交流人口の拡大による観光振興や地域の活性化を図るため、豊橋まつり、春まつり、花しょうぶまつりの支援を行った。豊橋まつりでは、新たな生活様式に対応した「密じゃないよ！オンライン豊橋まつり」を開催し、踊りなど発表の機会を失った人々の披露する場を創出した。春まつりでは、新たなイベントとして「吉田城春まつり」を実施したが、その他のイベントは新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、昨年と比べ来場者数は減少した。今後もイベントなどの魅力向上に努めながら、地域の活性化につながるよう一層の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) まつり開催費補助金 3,713,619円

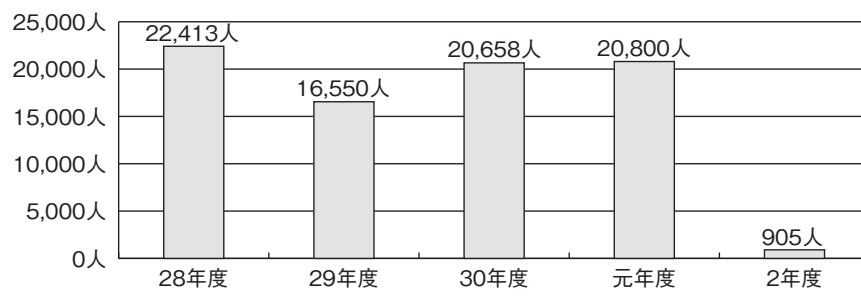
行 事 内 容			令和元年度	令和2年度
春まつり	さくらまつり	期 間	4.1～4.10 (10日間) 3月は中止	3.22～3.31 (10日間)
		場 所	向山緑地ほか	豊橋公園
		来場者数	約20,000人	約20,000人
	つつじまつり	期 間	4.19～5.6 (18日間)	—
		場 所	向山緑地内向山大池周辺	—
		来場者数	約2,500人	—
	うめまつり	期 間	1.31～3.8 (38日間)	—
		場 所	向山緑地内梅林園	—
		来場者数	約42,000人	—
		補 助 金	2,795,641円	2,211,299円
花しょうぶまつり	期 間	5.25～6.9 (16日間)	—	
	場 所	賀茂しょうぶ園	—	
	来場者数	約190,000人	—	
	補 助 金	4,311,000円	1,502,320円	

(2) 豊橋まつり開催費補助金 12,000,000円

区 分	令和元年度	令和2年度
開 催 日	10.19～20	10.18
会 場 数	まちなかエリア・豊橋公園エリア 13会場	まちなかエリア・豊橋公園エリアなど 6会場
行 事 数	43行事	10行事
総 人 出 数	約680,000人	約10,508人
総 参 加 団 体 数	約1,054団体	約46団体
補 助 金	52,000,000円	12,000,000円

[指 標]

指 標 名：ええじゃないか豊橋まつり総おどり参加者数  
指標説明：



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 観光情報発信費 < 情報 の 発 信 >	104,403,178	8,565,724	0	401,400	95,436,054

1 産業プロモーション推進事業費 59,215,412 円 (産業政策課・観光振興課)

[総括]

首都圏でのプロモーションとして、浅草「まるごとっぽん」での特産品等の展示・販売を行った。また、東三河の産業をPRするため豊橋駅構内東西自由連絡通路に設置している展示ブースの入替えを実施したほか、ふるさと寄附制度を活用し豊橋産品のPRを実施した。海外向けのプロモーションとして、現地旅行会社に提案する周遊観光モデル、観光素材集を作成したほか、台南市との相互観光展の実施及び情報発信を行った。ロケツーリズム事業として、連続テレビ小説「エール」のロケ地となった表浜海岸にオブジェを設置し、誘客活動を実施した。

今後も効果を検証しながら本市の認知度向上や誘客につなげるプロモーションを展開する。

[実績及び成果]

(1) 産業プロモーション推進事業費 59,215,412 円

(ア) 推進活動費 14,048,495 円

(うち炎の祭典開催費負担金 2,843,760 円、浅草「まるごとっぽん」出展事業費 3,014,000 円、ロケツーリズム事業費 5,421,741 円)

産業プロモーション 実施回数 ※ ( ) は日数	令和元年度	令和2年度
	・物産展	
浅草「まるごとっぽん」	2回 (6日)	道の駅とよはし 4回 (4日)
横浜赤レンガ倉庫	1 (3)	クックマートユーアイ店 2 (2)
・手筒花火放揚		イオン豊橋南店 2 (2)
ららぽーと豊洲	1 (1)	・手筒花火放揚
横浜赤レンガ倉庫	1 (1)	炎の祭典 2 (2)
・その他	14 (21)	・その他 10 (10)
計	19 (32)	20 (20)

(イ) 豊橋駅東西自由連絡通路展示物設置事業費 2,861,858 円

内 容	令和元年度	令和2年度
	車両 {フィアット} 及びものづくり技術 {シンフォニアテクノロジー(株)} の紹介展示	

(ウ) 訪日外国人観光客誘致 4,278,901 円

内 容	令和元年度	令和2年度
	・台湾現地プロモーション ・ペDESTリアンデッキに公衆無線LANを整備 ・訪日外国人向け情報発信パンフレットの作成 ・中国現地にてインターネット動画を利用した情報発信	

(エ) ふるさと寄附制度を活用した豊橋産品PR事業費 32,026,159円

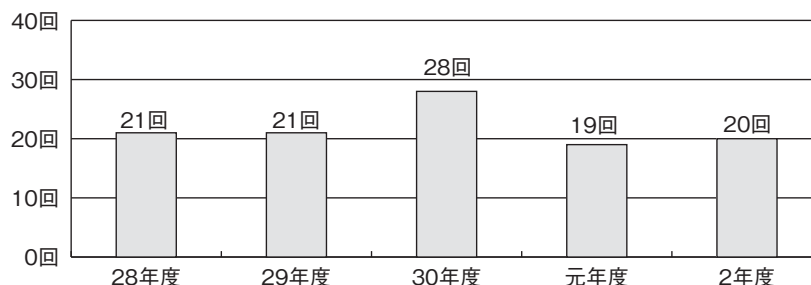
内 容	令和元年度	令和2年度
	ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」への掲載 返礼品件数：1,434件	ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」への掲載 返礼品件数：2,706件

(オ) 道の駅「とよはし」でのサイクリストの受入体制強化 5,999,999円

内 容	令和元年度	令和2年度
	道の駅「とよはし」にて、豊橋の魅力を感じることができる体験型観光プログラムの1つとしてE-BIKEのレンタルを開始。	道の駅「とよはし」のインフォメーションセンターをリニューアルし、サイクリングに注力した情報発信コーナーを設置。

[指 標]

指 標 名：産業プロモーション実施回数  
指 標 説 明：物産展、手筒花火放揚などのPR活動回数



2 観光宣伝事業費 19,287,766円（観光振興課）

[総 括]

本市の観光施設等への集客を促すため、雑誌・新聞等による情報発信や情報プラザ、道の駅「とよはし」でPR活動を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、豊橋市への来訪者数及び案内者数は減少した。今後も国内外の人々が豊橋に興味を持ち、訪れたいような効果的な情報発信、PR活動に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 観光PR活動推進事業費 7,196,024円

豊橋市への来訪者数	令和元年度	令和2年度	比 較
	延 4,272,235人	延 3,051,094人	△28.6%

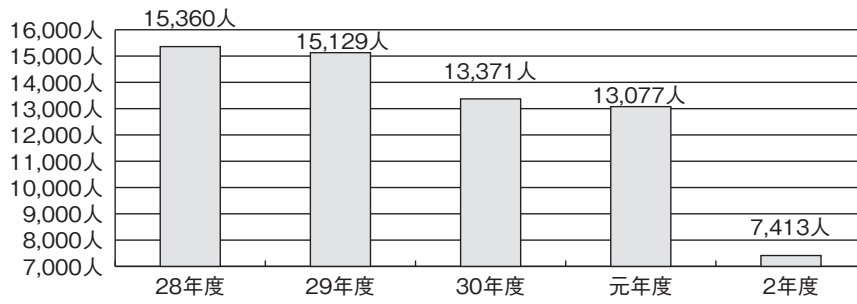
(2) 情報プラザ運営事業費 10,250,742円

案 内 者 数	令和元年度	令和2年度	比 較
	延 13,077人	延 7,413人	△43.4%



[指 標]

指 標 名：情報プラザの案内者数  
指標説明： /



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8 款 土 木 費	17,402,953,476	4,958,369,922	3,932,300,000	939,183,763	7,573,099,791
1 項 道 路 橋 梁 費	4,104,431,247	659,434,104	1,206,200,000	318,658,832	1,920,138,311
2 目 広域幹線道路整備費 <広域幹線道路の整備促進>	36,537,460	0	0	17,804,050	18,733,410

1 幹線道路建設促進対策事業費 36,537,460 円 (道路建設課)

[総括]

広域幹線道路の整備を促進するため、東三河縦貫道路建設促進期成同盟会をはじめとする各種協議会を運営するとともに、本市が加盟する他の協議会においても、国・県に対し、Web等を活用するなど、新型コロナウイルス感染症拡大の状況下においても継続的に要望活動等を行った。また、スマートIC整備については、新城市とともにスマートICの位置や構造等の詳細検討を行った。今後も関係自治体や経済界との連携をより一層強化して、地域と一体となって事業の円滑な推進を図る。

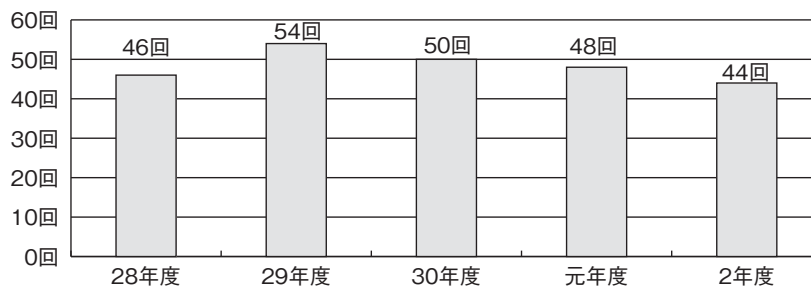
[実績及び成果]

(1) 幹線道路建設促進対策事務費 36,537,460 円

内 容	令和元年度	令和2年度
東三河縦貫道路建設促進期成同盟会	総会・要望活動・研修会の実施	総会・要望活動の実施
名豊道路建設推進協議会	総会・要望活動の実施	総会・要望活動の実施
その他本市が加盟する協議会	総会・意見交換会・要望活動等への参加	総会・要望活動等への参加
ス マ ー ト I C	基礎調査	詳細検討

[指 標]

指 標 名：各種協議会としての活動回数  
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 幹線道路整備費 ＜幹線市道の整備＞	589,398,335	282,047,000	240,600,000	16,235,300	50,516,035

1 幹線市道整備事業費 215,666,619 円 (道路建設課)

[総括]

大岩町・小松原町55号線は第3工区の整備が完了し、第4工区の用地取得に着手した。一色町・王ヶ崎町1号線については道路改良工事を行い、明海町・老津町28号線は用地取得を進めた。今後も国庫補助金等の財源確保に努め、道路交通の円滑化や交通安全確保のため、幹線道路の整備を図る。

[実績及び成果]

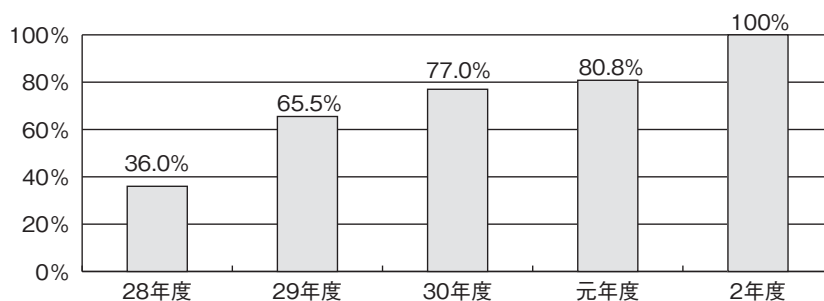
- (1) 大岩町・小松原町55号線整備事業費 124,102,038 円  
(国庫補助事業 99,652,000 円 市単独事業 24,450,038 円)

道 路 改 良 (第3工区)	令和元年度		令和2年度	
		延 長 110m	補 償 電柱等	延 長 250m

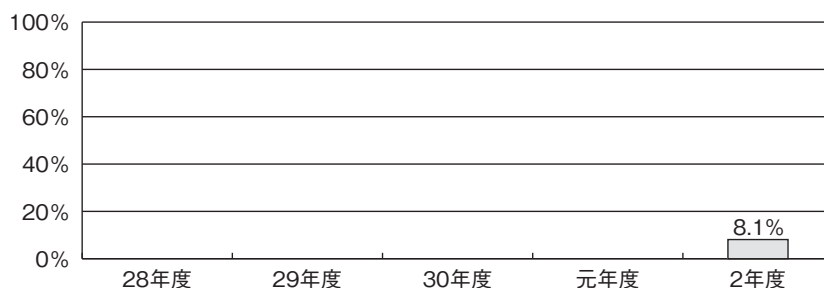
道 路 改 良 (第4工区)	令和元年度		令和2年度	
		—		用 地 380.52㎡

[指 標]

指 標 名：大岩町・小松原町55号線整備事業進捗率(第3工区)  
指 標 説 明：累積直接事業費／全体直接事業費 (平成27年度～令和2年度)



指 標 名：大岩町・小松原町55号線整備事業進捗率(第4工区)  
指 標 説 明：累積直接事業費／全体直接事業費 (令和2年度～令和6年度)

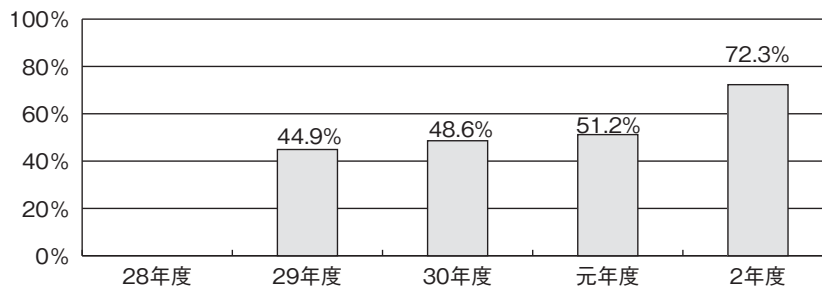


- (2) 一色町・王ヶ崎町1号線整備事業費 52,218,800円  
 (国庫補助事業 34,532,000円 市単独事業 17,686,800円)

道 路 改 良	令和元年度	令和2年度
	工 事 排水構造物工 用 地 828.36㎡ 補 償 —	延 長 120m 用 地 — 補 償 電柱等

[指 標]

指 標 名：一色町・王ヶ崎町1号線整備事業進捗率  
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成29年度～令和3年度）

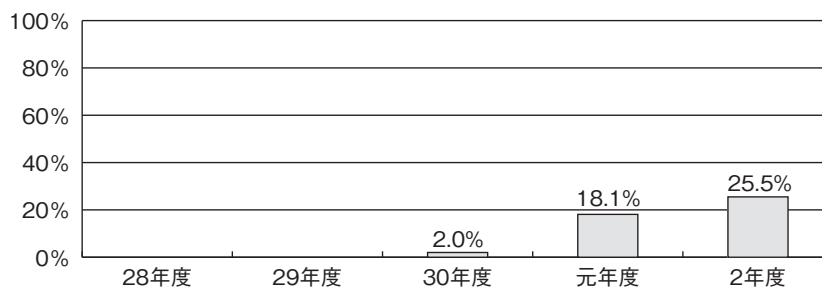


- (3) 明海町・老津町28号線整備事業費 39,345,781円  
 (国庫補助事業 29,972,000円 市単独事業 9,373,781円)

道 路 改 良	令和元年度	令和2年度
	用 地 1,455.54㎡	用 地 1,770.06㎡ 補 償 工作物等

[指 標]

指 標 名：明海町・老津町28号線整備事業進捗率  
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成30年度～）



2 都市計画道路整備事業費 373,731,716 円（道路建設課）

[総括]

都市における交通環境の改善と景観形成や防災効果向上のため、都市計画道路網の整備を推進しており、令和2年度は弥生町線の用地取得とともに道路改良工事を進めた。今後も国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

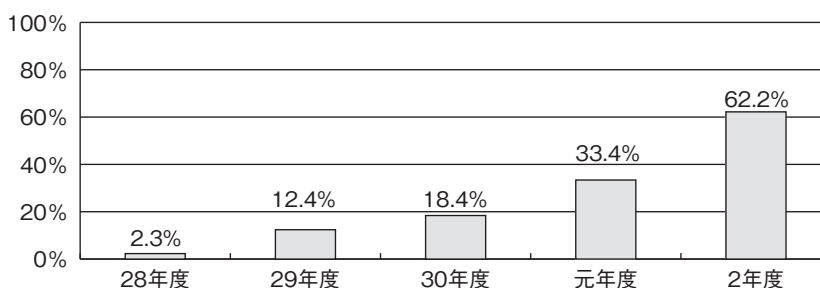
[実績及び成果]

- (1) 弥生町線整備事業費 373,731,716 円  
 (国庫補助事業 363,580,002 円 市単独事業 10,151,714 円)

道 路 改 良	令和元年度	令和2年度
	用 地 268.02㎡ 補 償 建物等	延 長 100m 用 地 1,172.17㎡ 補 償 建物等

[指 標]

指 標 名：弥生町線整備事業進捗率  
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成28年度～令和3年度）



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 交通環境保全費 <安全で快適な交通環境の保全>	2,045,268,939	277,209,104	883,800,000	82,678,108	801,581,727

1 自由連絡通路等管理事業費 205,879,486円 (土木管理課)

[総括]

豊橋駅、二川駅及び駅周辺施設の利用者が安全かつ快適に利用できるよう自由連絡通路、ペDESTリアンデッキなどを維持管理した。今後も施設の修繕等適正な維持管理を行い、快適な環境づくりに努めていく。

[実績及び成果]

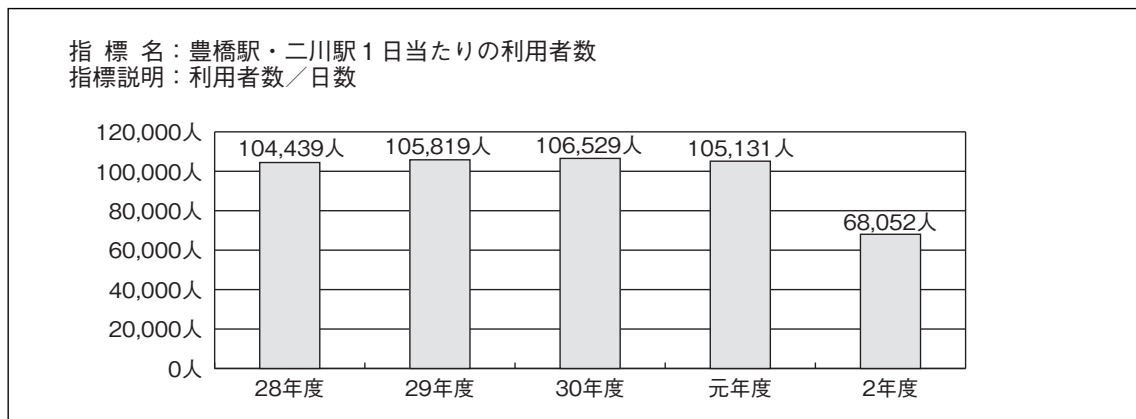
(1) 豊橋駅東西自由連絡通路等管理事業費 189,338,316円

1日当たりの利用者数	令和元年度	令和2年度	比較
		99,418人	63,951人

(2) 二川駅南北自由連絡通路等管理事業費 16,541,170円

1日当たりの利用者数	令和元年度	令和2年度	比較
		5,713人	4,101人

[指標]



2 自転車等駐車場管理運営事業費 101,382,617円 (土木管理課)

[総括]

自転車等の駐車スペースを提供することにより、豊橋駅及び二川駅周辺の放置自転車等を防止し、安全かつ円滑な交通環境を確保した。指定管理者の提案事業等により、場内照明の段階的なLED化や新たに管理運営を開始した豊橋駅西口(白河エリア)の防犯カメラ更新等を行ったほか、施設長寿命化計画に基づく修繕や不測の設備故障への対応など、利便性向上を図るとともに安全安心な施設づくりを行っている。

今後は、新型コロナウイルス感染症の影響で減少した利用者呼び戻すため、高校生などに対して定期利用登録の呼び掛けを継続するほか、感染症対策を継続し、安心して利用できる快適な環境づくりに努めていく。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅東口自転車等駐車場管理運営事業費 61,823,408 円

(ア) 自転車・ミニバイク（駅前地下エリア） 収容台数 4,200 台

区 分		令和元年度	令和2年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		2,806台	2,147台	△23.5%
自 転 車	定 期	2,272	1,744	△23.2
	一 時	337	272	△19.3
ミニバイク	定 期	153	106	△30.7
	一 時	44	25	△43.2

(イ) 自動二輪車（城海津エリア） 収容台数 14 台

区 分		令和元年度	令和2年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		10台	9台	△10.0%
自 動 二 輪 車	定 期	1	1	0.0
	一 時	9	8	△11.1

(2) 豊橋駅西口自転車等駐車場管理運営事業費 25,470,165 円

(ア) 自転車・ミニバイク（駅前地下エリア） 収容台数 1,300 台

区 分		令和元年度	令和2年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		978台	798台	△18.4%
自 転 車	定 期	769	654	△15.0
	一 時	132	94	△28.8
ミニバイク	定 期	70	44	△37.1
	一 時	7	6	△14.3

(イ) 自転車・ミニバイク（白河エリア） 収容台数 419 台

区 分		令和元年度	令和2年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		—	194台	皆増
自 転 車	定 期	—	60	皆増
	一 時	—	54	皆増
ミニバイク	定 期	—	24	皆増
	一 時	—	11	皆増
自動二輪車 (原付2種含む)	定 期	—	34	皆増
	一 時	—	11	皆増

(3) 二川駅南口自転車等駐車場管理運営事業費 14,089,044 円

(ア) 自転車・ミニバイク（西エリア） 収容台数 370 台

区 分		令和元年度	令和2年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		403台	335台	△16.9%
自 転 車	定 期	303	263	△13.2
	一 時	50	33	△34.0
ミニバイク	定 期	41	32	△22.0
	一 時	9	7	△22.2

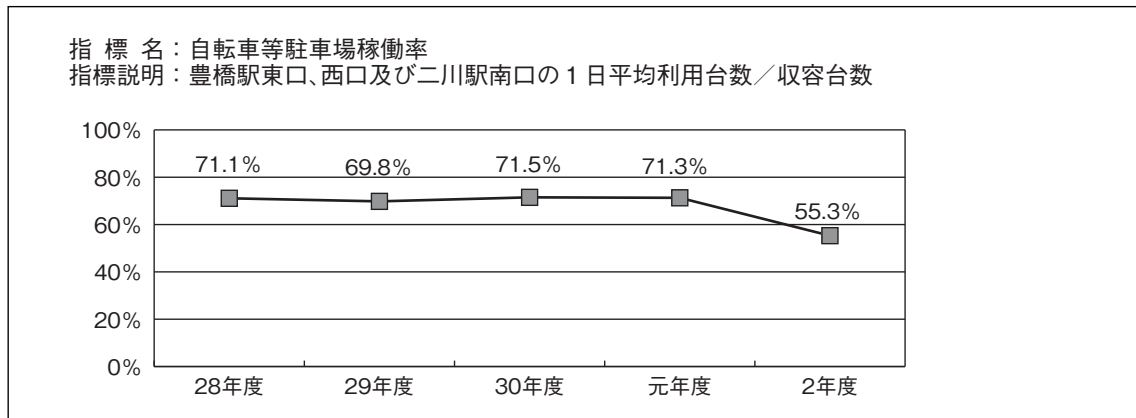
(イ) 自転車（東エリア） 収容台数 45台

1日平均利用台数	令和元年度	令和2年度	比較
	39台	26台	△33.3%

(ウ) 自動車 収容台数 10台

1日平均利用台数	令和元年度	令和2年度	比較
	10台	4台	△60.0%

[指標]



3 道路施設等維持管理事業費 324,653,359円（道路維持課）

[総括]

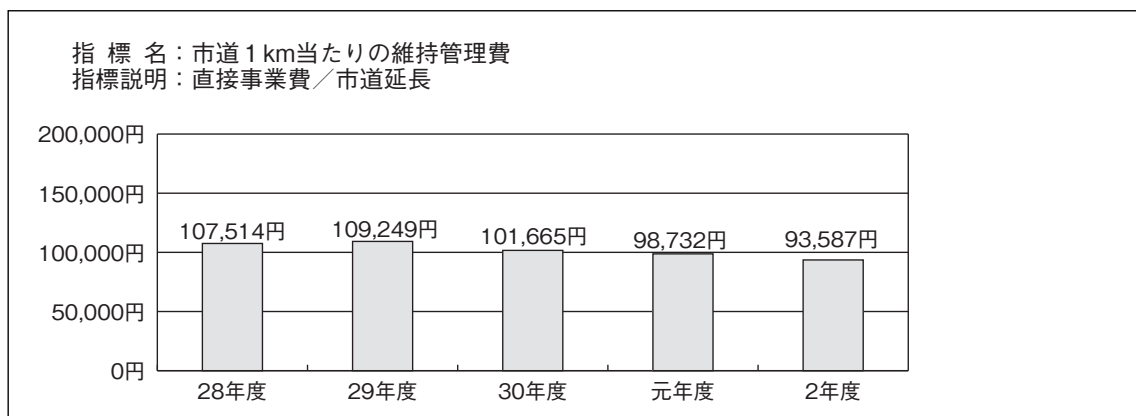
生活道路として通行に支障のないように、道路及び道路付属物の修繕・清掃・舗装等の維持管理を行った。今後も修繕等の迅速な対応に努めるとともに、老朽化が進む道路ストックについては道路分野別施設計画に基づき維持修繕を行い、道路の適正な維持管理を行う。

[実績及び成果]

(1) 道路施設等維持管理事業費 324,653,359円

区分	令和元年度	令和2年度
道路清掃	136路線 延長 366.0km	136路線 延長 345.0km
道路側溝清掃	42か所 〃 5,173m	57か所 〃 5,486m
舗装道路補修	くぼみ補修工・舗装復旧工等	くぼみ補修工・舗装復旧工等
道路修繕	市内一円、側溝修繕等	市内一円、側溝修繕等

[指標]





4 道路等維持改良事業費 330,944,900 円（道路維持課）

[総括]

道路側溝を計画的に整備することにより排水不良の軽減を図り、また、道路改良を実施して安全で快適な通行環境を確保した。今後も地域住民の要望を把握し必要性等を考慮しながら、事業効果を高めていく。

[実績及び成果]

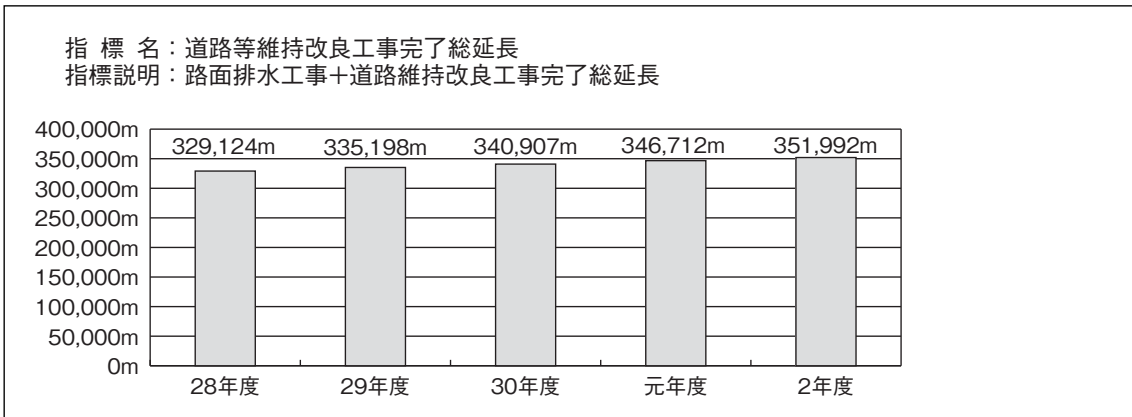
(1) 路面排水整備工事費 313,266,800 円

路面排水	令和元年度		令和2年度	
	市内一円	延長 5,008m	市内一円	延長 4,482m
	市街地	〃 682	市街地	〃 678
	雨水浸透型側溝等設置		雨水浸透型側溝等設置	

(2) 道路維持改良工事費 17,678,100 円

道路維持改良	令和元年度		令和2年度	
	1件	延長 115m	1件	延長 120m

[指標]



5 道路舗装事業費 438,449,000 円（道路維持課）

[総括]

未舗装区間の解消を図るとともに、既設の舗装道路についても、老朽化の程度、交通安全対策上の観点などから現場調査を実施し、順次改良・修繕を行った。今後も安全性や緊急性などを精査し、安全で快適な生活道路を整備していく。

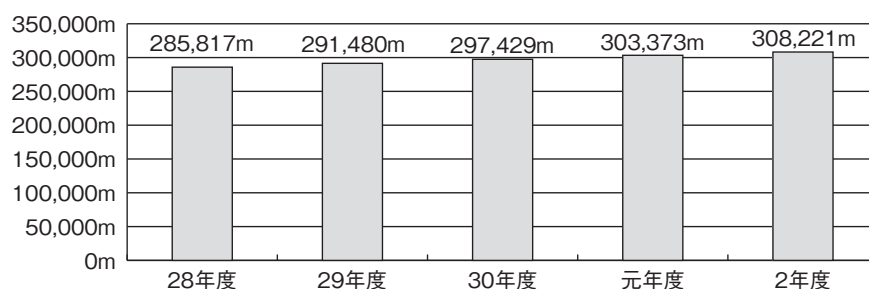
[実績及び成果]

(1) 道路舗装事業費 438,449,000 円

内 容	令和元年度		令和2年度	
	舗装新設	延長 397m	面積 1,191㎡	延長 500m
舗装改良	〃 5,944	〃 36,550	〃 4,848	〃 30,390
舗装修繕		〃 11,620		〃 11,150

[指 標]

指 標 名：舗装改良工事総延長(平成13年度以降)  
 指標説明：〃



6 橋梁整備事業費 529,805,398 円 (道路建設課)

[総 括]

道路法で定められた定期点検を行うとともに、橋梁長寿命化修繕計画に基づき計画的に修繕を行った。今後も国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

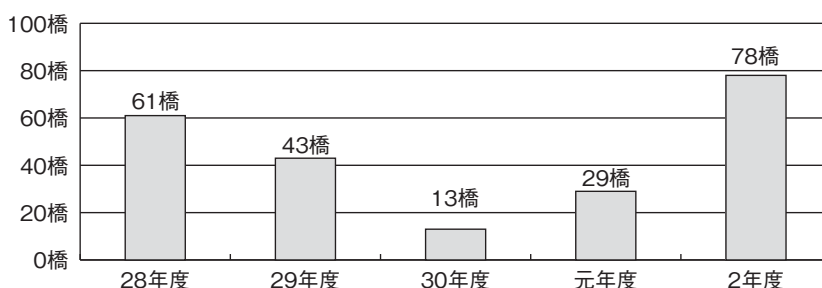
[実績及び成果]

- (1) 橋梁長寿命化事業費 529,805,398 円  
 (国庫補助事業 478,780,000 円 市単独事業 51,025,398 円)

内 容	令和元年度	令和2年度
定 期 点 検	五間大橋始め168橋	御弓橋始め294橋
補 修 ( 国 庫 補 助 )	元柳生橋始め29橋	柳生橋始め78橋
補 修 ( 市 単 独 )	畑ヶ田8号橋始め9橋	老津33号橋始め16橋

[指 標]

指 標 名：構造物(橋梁)保全数  
 指標説明：〃



7 道路環境整備事業費

6,887,100 円（道路維持課）

[総括]

歩道修繕を行い、街路樹の根上がりによる段差を解消した。今後も歩きやすい歩道の整備に努める。

[実績及び成果]

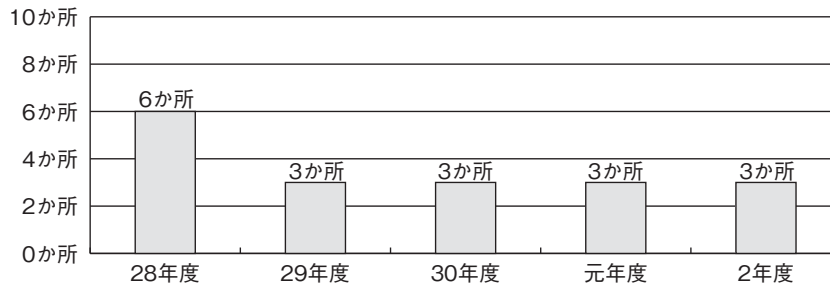
(1) 人にやさしい道づくり事業費 6,887,100 円

歩道修繕	令和元年度	令和2年度
	3か所	3か所

[指標]

指標名：人にやさしい道づくり工事(歩道修繕)か所数

指標説明：  
〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 交通安全施設等整備費 <交通安全施設などの整備>	677,280,878	100,178,000	81,800,000	1,694,000	493,608,878

1 交通安全施設整備事業費 158,472,320円 (道路建設課)

[総括]

飯村町・大岩町47号線はじめ2路線において、歩道等の整備を進め道路の安全確保に努めた。また、自転車通行空間整備事業では、豊橋市自転車活用推進計画に定められた優先整備路線において、自転車通行空間の整備を行った。今後も道路状況や通学路などの利用状況を考慮し、国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

[実績及び成果]

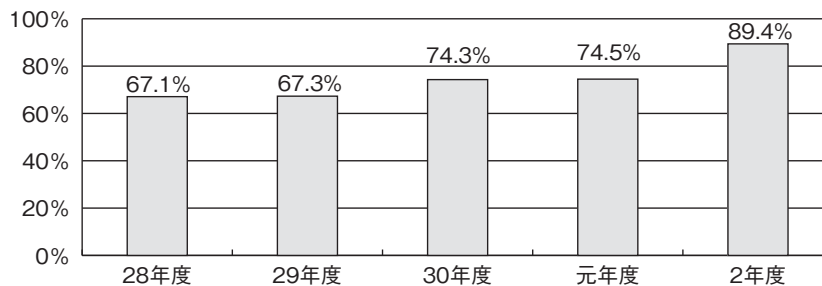
(1) 飯村町・大岩町47号線ほか自転車道等設置事業費 88,940,220円

(国庫補助事業 69,400,000円 市単独事業 19,540,220円)

自転車道等設置	令和元年度	令和2年度
	延長 200m	延長 280m

[指標]

指標名：飯村町・大岩町47号線ほか自転車道等設置事業進捗率  
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費 (平成25年度～令和3年度)



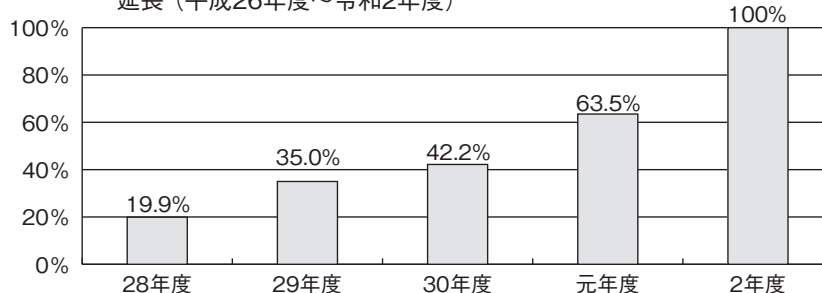
(2) 自転車通行空間整備事業費 55,040,700円

(国庫補助事業 46,381,819円 市単独事業 8,658,881円)

内 容	令和元年度	令和2年度
路面標示等	延長 3,900m	延長 5,800m

[指標]

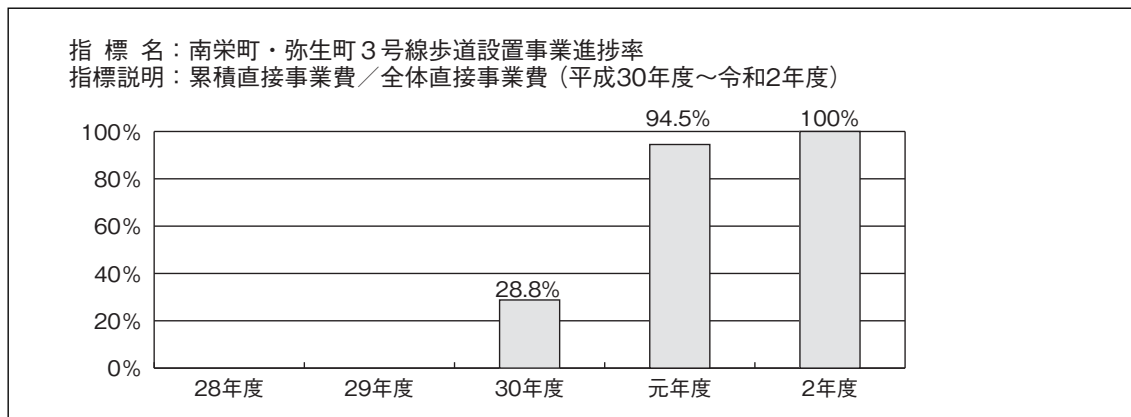
指標名：自転車通行空間整備進捗率  
 指標説明：整備済路線延長／令和2年度までに整備する自転車ネットワーク優先整備路線延長 (平成26年度～令和2年度)



- (3) 南栄町・弥生町3号線歩道設置事業費 11,000,000円  
 (県費補助事業 9,300,000円 市単独事業 1,700,000円)

歩道設置	令和元年度	令和2年度
	踏切改良	延長 30m

[指標]



2 交通安全施設維持改良事業費 518,808,558円（道路維持課）

[総括]

道路状況や地元要望等を検討し、道路照明灯、防護柵、道路反射鏡の設置など安全で快適な交通環境の確保に努めた。今後も交通安全施設が適正に機能するよう維持管理を行う。

[実績及び成果]

- (1) 交通安全施設改良事業費 326,462,300円

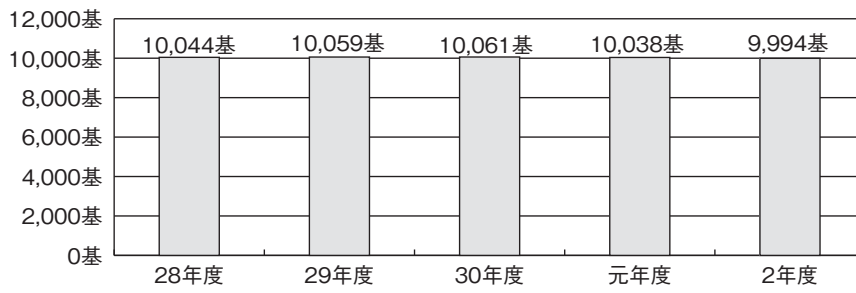
内 容	令和元年度	令和2年度
道路照明灯設置	9～57W 273基	9～57W 272基
交差点等安全カラー標示	5か所	6か所
防護柵設置	延長 958m	延長 360m
道路反射鏡設置	93基	93基
交通安全施設改良修繕	歩車道境界ブロック等	歩車道境界ブロック等
区画線設置	延長 65,393m	延長 50,425m
横断歩道橋修繕	—	—

- (2) 交通安全施設維持事業費 192,346,258円

道路付属物塗裝修繕	令和元年度	令和2年度
	16基	2基

[指 標]

指 標 名：交通安全施設(道路反射鏡)の総設置基数  
指標説明：  
〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 河 川 費	898,328,607	70,419,068	254,700,000	31,216,022	541,993,517
1目 河川総務費 <浸水対策の推進>	156,711,288	1,300,000	0	7,795,022	147,616,266

1 洪水ハザードマップ作成事業費 4,345,000円 (河川課)

[総括]

水防法に基づく洪水浸水想定区域(想定し得る最大規模の降雨)において梅田川のハザードマップを作成した。  
今後も洪水による被害軽減のため、情報提供に努める。

[実績及び成果]

- (1) 洪水ハザードマップ作成事業費 4,345,000円  
(国庫補助事業 2,600,000円 市単独事業 1,745,000円)

河 川 名	令和元年度		令和2年度
		豊川・豊川放水路	
	柳生川		

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 水辺環境保全費 <親しまれる水辺環境の保全>	283,283,508	0	0	0	283,283,508

1 河川水路等維持管理事業費 283,283,508 円 (河川課)

[総括]

河川を市民の憩う場とし、河川環境を保全するための維持管理を行った。今後も市民や団体による河川愛護活動など、地域住民との協働により親しまれる水辺環境の保全に努めるとともに、河川水路の適切な維持管理に努める。

[実績及び成果]

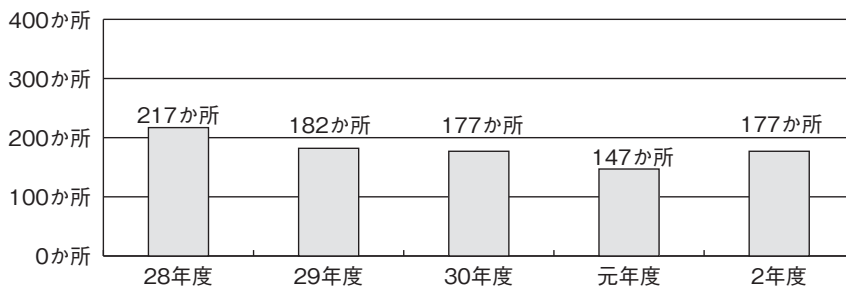
(1) 維持整備事業費 283,283,508 円

内 容	令和元年度		令和2年度	
補 修	51か所		65か所	
除 草	68	33,670㎡	85	27,880㎡
浚 渫	28	1,130㎡	27	1,360㎡

[指標]

指標名：維持整備箇所数(総数)

指標説明：〃





科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 浸水対策費 <浸水対策の推進>	452,737,351	67,489,068	254,700,000	23,421,000	107,127,283

1 河川施設等維持管理事業費 241,396,083 円 (河川課)

[総括]

浸水被害の防止や軽減、正常な流水機能の維持のため、排水機場、樋門・樋管、除塵機等の河川付属施設の維持管理を行った。今後も施設が正常に機能するように維持管理に努める。

[実績及び成果]

- (1) 排水機場維持管理適正化事業費 40,422,200 円
- (2) 排水機場維持管理事業費 101,098,350 円
- (3) 樋門等操作委託事業費 2,779,508 円
- (4) 河川付属施設維持管理事業費 96,620,033 円
- (5) 河川測量登記委託事業費 475,992 円

2 河川水路等改良事業費 133,984,868 円 (河川課)

[総括]

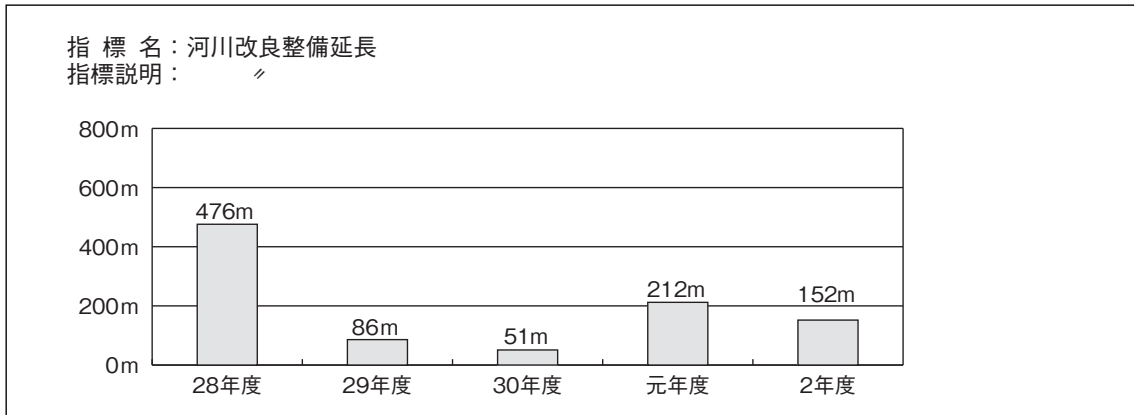
河川・水路等の氾濫による被害から市民の生命・財産を保全するため、流下能力を高める改良工事を行った。今後も氾濫による被害の防止や軽減を図っていく。

[実績及び成果]

- (1) 河川改良事業費 75,715,735 円

河 川 改 良	令和元年度	令和2年度
	工 事 延 長 212m	工 事 延 長 152m

[指 標]

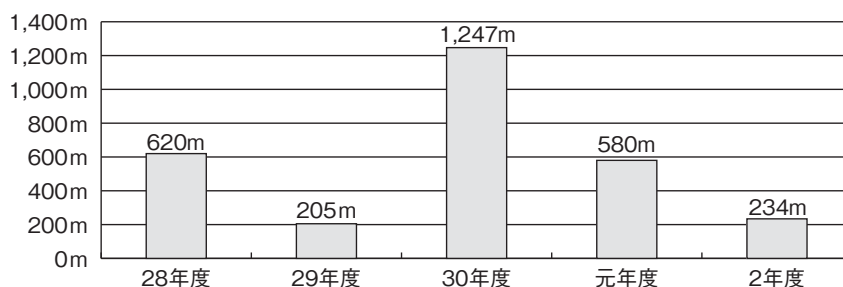


- (2) 水路改良事業費 58,269,133 円

内 容	令和元年度	令和2年度
水 路 改 良	工 事 延 長 580m	工 事 延 長 234m

[指 標]

指 標 名：水路改良整備延長  
 指標説明： //



3 大雨浸水対策事業費 77,356,400 円 (河川課)

[総 括]

都市化の進展に伴う流域環境の変化や記録的な大雨による浸水被害に対処するため、水路改良を行った。今後も関連部局との連携により浸水被害の解消を図る。

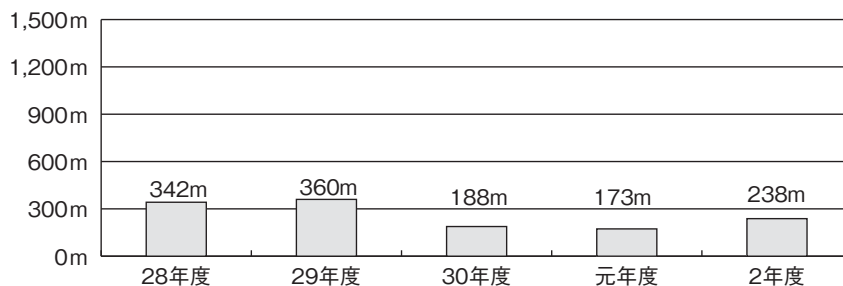
[実績及び成果]

(1) 大雨浸水対策事業費 77,356,400 円

水 路 改 良	令和元年度	令和2年度
	工 事 延 長 173m	工 事 延 長 238m

[指 標]

指 標 名：大雨浸水対策整備延長  
 指標説明： //



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 土砂災害対策費 <土砂災害対策の推進>	5,596,460	1,630,000	0	0	3,966,460

1 土砂災害対策事業費 5,596,460円 (河川課)

[総括]

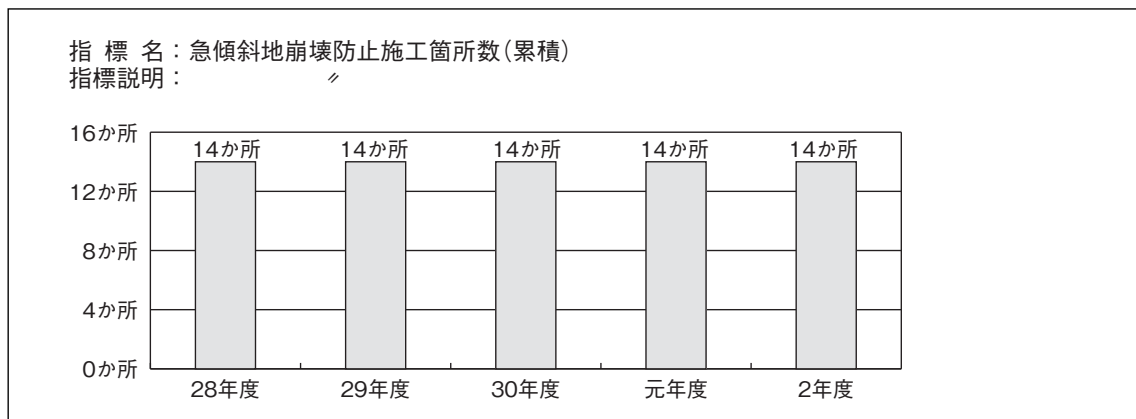
土砂災害防止法に基づく土砂災害(特別)警戒区域においてハザードマップを作成し、周辺住民等に配布した。今後も地元住民の要望に基づき、工事の進捗を県に働きかけるとともに、土砂災害に関する情報提供に努める。

[実績及び成果]

(1) 急傾斜地崩壊対策事業負担金 2,335,960円

事業主体	区分 地区名	令和元年度		令和2年度	
		事業費	市負担金	事業費	市負担金
愛知県	王ヶ崎町北欠	33,860,960円	3,386,096円	23,359,600円	2,335,960円

[指標]



(2) 土砂災害ハザードマップ作成事業費 3,260,500円

(国庫補助事業 3,260,000円 市単独事業 500円)

作成箇所数	令和元年度	令和2年度
		48箇所

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 建 築 費	1,665,097,997	443,153,550	454,600,000	446,495,654	320,848,793
2目 人にやさしいまちづくり費 <人にやさしいまちづくりの推進>	674,304	0	0	0	674,304

1 人にやさしいまちづくり推進事業費 674,304円 (建築指導課)

[総括]

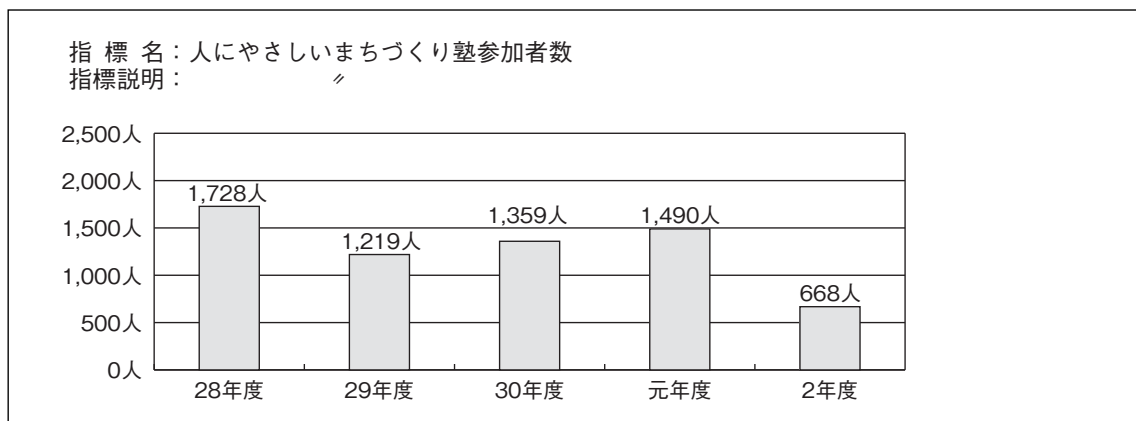
人にやさしいまちづくりを推進するため、ボランティアの協力を得て「人にやさしいまちづくり塾」を市内の小学校、中学校、高等学校で開催した。また、ボランティアの養成にもつながる「人にやさしいまちづくり啓発講座」を全3回で実施した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により講座の開催回数は減少したが、今後も誰もが暮らしやすいまちをめざし、人にやさしいまちづくりの担い手育成やバリアフリーの必要性の普及啓発を進めていく。

[実績及び成果]

(1) 人にやさしいまちづくり推進事業費 674,304円

啓発事業開催回数	令和元年度	令和2年度	比較
		29回	11回

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3日 居 住 確 保 費 <住まいの安定確保>	15,989,200	6,711,000	0	0	9,278,200

1 地域優良賃貸住宅供給促進事業補助金 15,822,000円 (住宅課)

[総括]

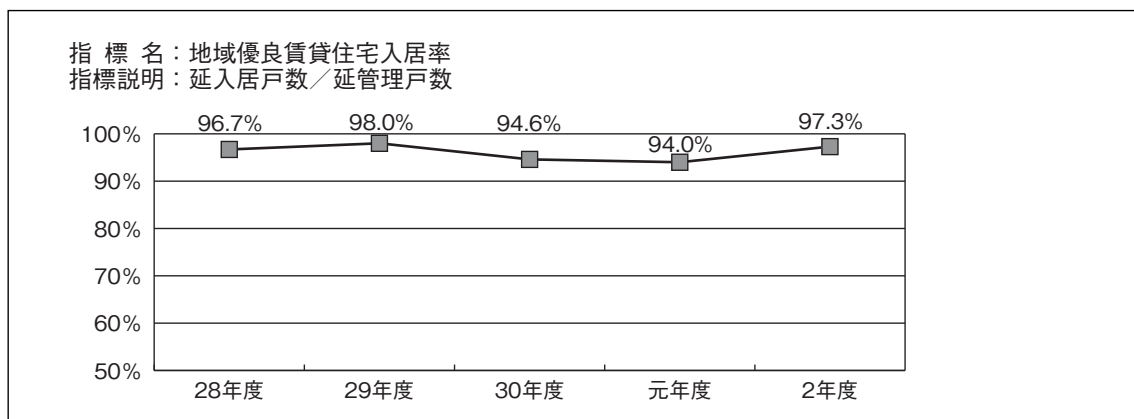
高齢者の居住の安定確保を図るため、地域優良賃貸住宅（高齢者型）を運営する事業者に対して、家賃補助を実施した。今後も高齢者の住まいの安定確保に努める。

[実績及び成果]

(1) 地域優良賃貸住宅供給促進事業補助金 15,822,000円

家賃対策補助金	令和元年度	令和2年度
		15,175,000円

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 公 営 住 宅 費 <住まいの安定確保>	1,230,418,720	423,225,000	454,600,000	347,206,756	5,386,964

1 住宅維持管理事業費 433,173,999 円 (住宅課)

[総括]

市営住宅の効率的かつ効果的な維持管理を行うため計画的な工事、修繕を行った。今後も住宅の環境整備を進め、修繕コストの縮減と、入居者へのサービス向上に努める。

[実績及び成果]

(1) 住宅管理事業費 338,788,499 円

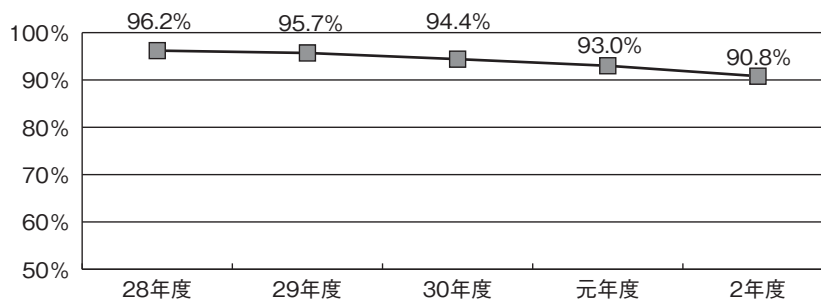
住宅管理戸数 (年度末)	令和元年度	令和2年度
		3,851戸

(2) 住宅維持補修事業費 94,385,500 円

工 事 内 容	令和元年度	令和2年度
屋 上 防 水	空池	空池
エ レ ベ ー タ ー 更 新	才ノ神	才ノ神
外 壁 改 修	中野	—
浴 室 改 修	—	才ノ神
取 り 壊 し	城山・南栄	城山
遊 具 改 修	柳原・向山・栄生・空池・中野・新多米	草間・栄生・空池・中野・新多米・前芝
専 用 管 改 修	東山	—

[指 標]

指 標 名：市営住宅入居率  
 指標説明：延入居戸数 / (延管理戸数 - 延入居停止戸数)



2 公営住宅建設事業費

795,524,200 円（住宅課）

[総括]

西口住宅建替工事（第2期）に着手した。今後も円滑な建替事業の推進に努める。

[実績及び成果]

(1) 西口住宅建替事業費

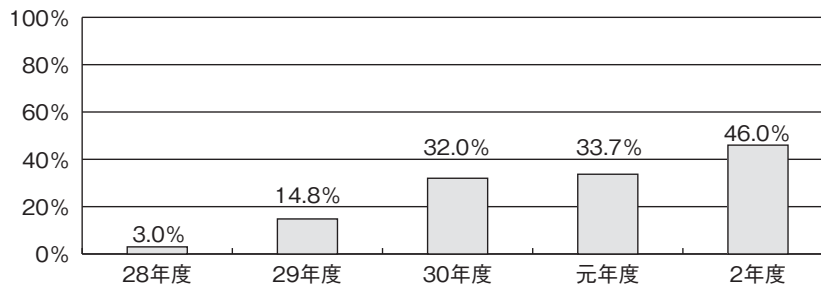
795,524,200 円

内 容	令和元年度	令和2年度
	解体工事（第2期） 実施設計（第2期） 仮移転先修繕工事 移転補償ほか	

[指標]

指標名：西口住宅建替事業進捗率

指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成26年度～令和7年度）



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 空家対策推進費 <空家対策の推進>	20,635,155	10,008,000	0	0	10,627,155

1 空家対策推進事業費 20,635,155円 (建築物安全推進課)

[総括]

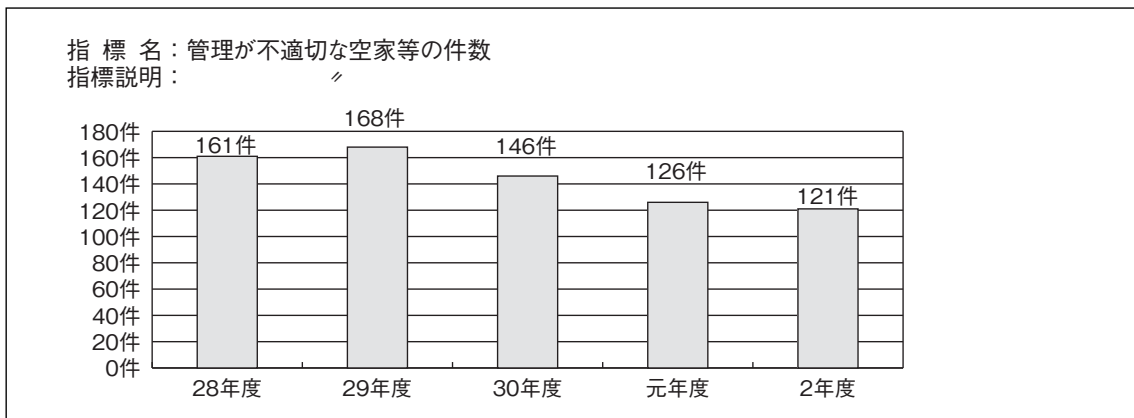
「豊橋市空家等対策計画」に基づき、管理が不適切な空家の所有者に対する助言を行うとともに、空家バンクによる空家の利活用を進めるなど、増加する空家への対策に取り組んだ。また、空家解体促進費補助金については、補助対象や補助上限額の拡充により、倒壊危険空家及び老朽空家の解体を促進するとともに、空家等対策に関する業務等の提供ができる事業者を募る協力事業者登録制度等、官民連携による手法も用いて、引き続き市民の生活環境の保全及び地域活力の維持・向上を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 空家対策推進事業費 20,635,155円

区 分	令和元年度	令和2年度	累 計
空家バンクによる空家の利活用件数	3件	5件	40件
空家利活用改修費補助金補助件数	1	1	7
空家解体促進費補助金補助件数	23	58	143

[指 標]





科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 建築指導費	14,461,576	3,146,000	0	0	11,315,576

1 建築指導事務費 14,461,576円 (建築指導課)

[総括]

建築基準法に基づく申請のうち、「確認申請」は民間確認検査機関への申請が定着したことや、確認申請の全体件数が減ったことにより減少傾向が進んだ。一方、「計画通知」については昨年度と同等の件数となった。また、より性能が高いものとして認定される申請のうち、長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づく「認定申請」は確認申請の新築件数が減ったことに伴い減少した。今後も各申請に対し適切な処理をすることにより、住環境の整備並びに都市の健全な発展と秩序ある市街地の形成に努める。

[実績及び成果]

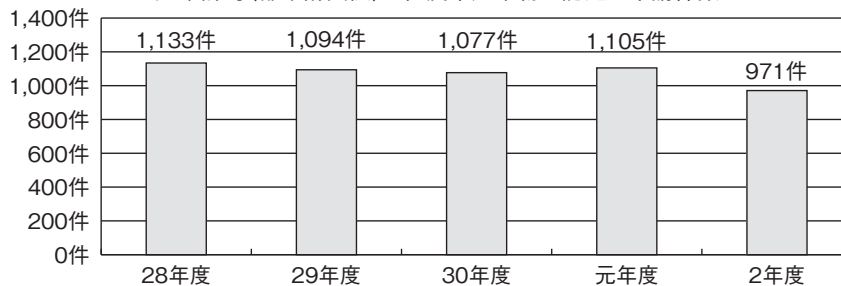
(1) 建築指導事務費 14,461,576円

種 別	区 分	件 数		比 較
		令和元年度	令和2年度	
建築確認申請等	確 認 申 請	12件	7件	△41.7%
	計 画 通 知	17	16	△ 5.9
建築基準法による許可申請等	建 築 許 可 申 請	22	9	△59.1
	仮使用認定申請	5	1	△80.0
長期優良住宅の普及の促進に関する法律	認 定 申 請	819	700	△14.5
都市計画法による許可申請等	開 発 許 可 申 請	19	18	△ 5.3
	建 築 許 可 申 請	202	210	4.0
都市の低炭素化の促進に関する法律	認 定 申 請	9	10	11.1

[指 標]

指 標 名：建築確認申請等件数

指標説明：建築確認+計画通知+建築許可(建築基準法)+仮使用認定+長期優良住宅の認定+開発許可+建築許可(都市計画法)+低炭素建築物の認定の申請件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 都市開発費	89,748,587	143,000	0	784,138	88,821,449
2目 総合物流費 <総合物流機能の強化>	15,677,161	143,000	0	0	15,534,161

1 港湾関連対策事業費 15,677,161 円 (みなと振興課)

[総括]

三河港振興会が主体となり、インフラ整備要望やコンテナターミナルの利用促進活動を行うとともに、国際物流総合展 2021 でのポートセールスなどにより三河港の情報を全国に向け発信した。加えて、三河港を利用する企業に対し助成金制度を実施し、コンテナ及び完成自動車取扱量の維持・増加を図った。その結果、完成輸入自動車の取扱量は平成5年以来28年連続で日本一を記録した。

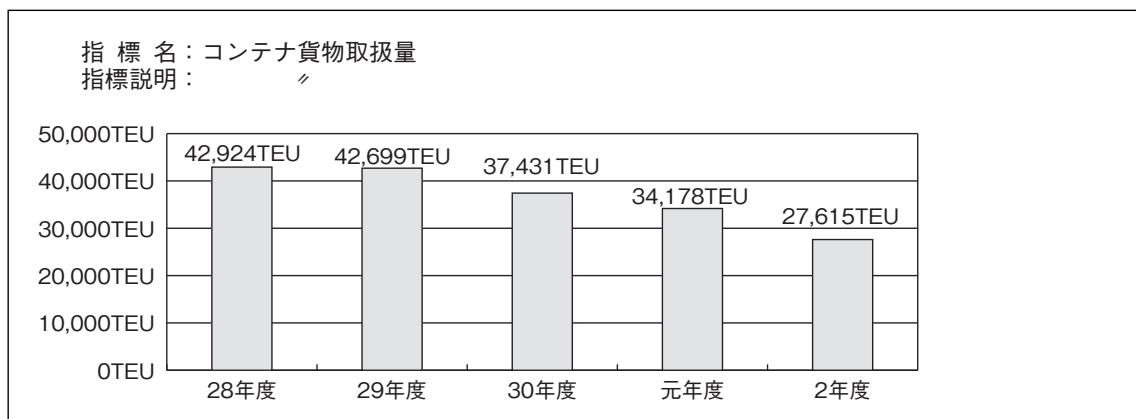
一方、コンテナ貨物の取扱量については、新たな助成制度を創設し新規荷主の獲得につなげたが、新型コロナウイルス感染症拡大による経済の減速によりさらに取扱量が減少した。今後は、コンテナ貨物取扱量の増加に向け、助成制度や定期航路のさらなる周知、ポートセールス活動を強化するとともに、総合的な物流機能を強化するため、国や県に対して積極的な要望活動を行っていく。

[実績及び成果]

- (1) 港湾関連調整事務費 4,857,161 円
- (2) 三河港振興会負担金 10,820,000 円

内 容	令和元年度	令和2年度
運 営 費 負 担 金	100,000円	100,000円
コンテナ委員会負担金	7,500,000	7,500,000
自動車港湾委員会負担金	500,000	500,000
三河港自動車流通強化支援事業負担金	7,920,000	2,720,000
三河港港湾計画改訂調査負担金	4,970,000	—
三河港振興会50周年記念事業負担金	580,000	—

[指 標]



※ TEU : twenty-foot equivalent unit、20 フィートコンテナ換算

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3日 港 湾 費 <みなとのにぎわいの創出>	21,291,549	0	0	762,688	20,528,861

1 みなとにぎわい創出事業費 182,300円 (みなと振興課)

[総括]

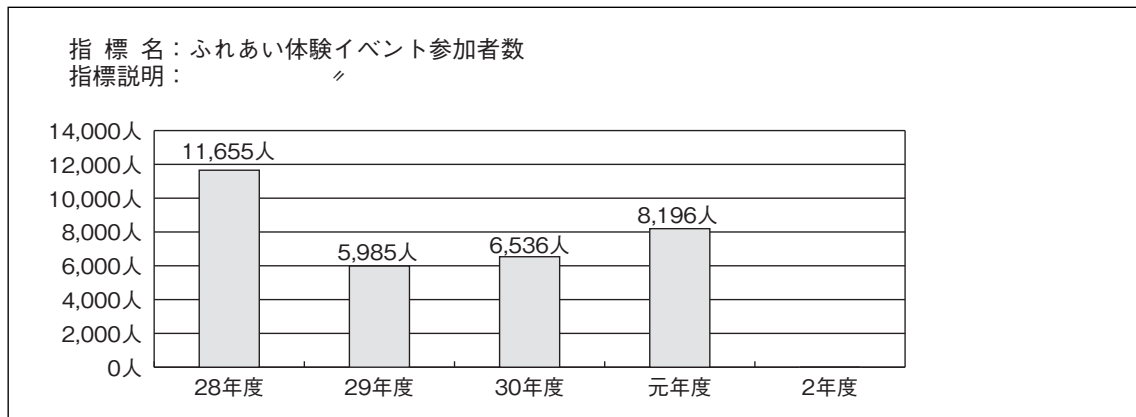
港の重要性や必要性を理解してもらい、港にふれあう機会を提供する場として、カメラリアを拠点として様々なイベントを実施している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全てのイベントを中止した。今後は、再開に向けてインポーターや臨海部企業との調整を行っていく。

[実績及び成果]

(1) みなとにぎわい創出活動事業費 182,300円

内 容	令和元年度	令和2年度
イベント開催数	5回	0回
イベント参加者数	8,196人	0人

[指標]



※ 28年度は、海フェスタ東三河開催に合わせてイベントを実施したため参加者が増加した。

2 ポートインフォメーションセンター管理運営費 21,109,249円 (みなと振興課)

[総括]

この地域における三河港の重要性や必要性の理解を深めてもらうとともに、港を気軽に訪れ、身近に感じてもらうためにポートインフォメーションセンターの適正な維持、管理に努めた。

令和2年度は、緊急事態宣言発出を受けて新型コロナウイルス感染症対策として展示物の一部を撤去したほか、4月～5月の一部期間を閉館した。引き続き、感染防止対策に取り組みながら来館者の受け入れを行っていく。

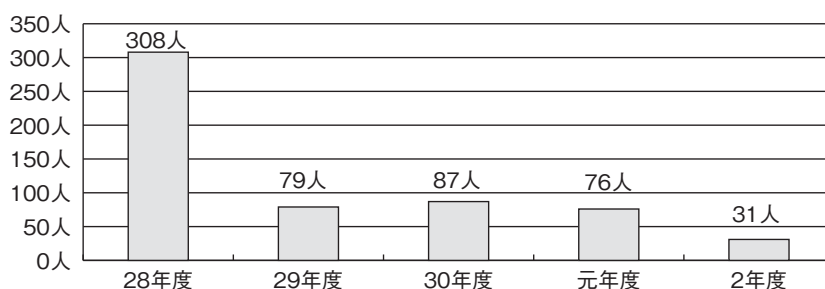
[実績及び成果]

(1) ポートインフォメーションセンター管理運営費 21,109,249円

区 分	令和元年度	令和2年度	比 較
開 館 日 数	359日	317日	△11.7%
利 用 者 数	延 27,406人	延 9,742人	△64.5%

[指 標]

指 標 名：ポートインフォメーションセンター 1日当たりの利用者数  
 指標説明：利用者数／開館日数



※ 28年度は「海フェスタ東三河」開催年度（H28.7.16～H28.7.31）

3 港イベント事業費 0円（みなと振興課）

[総 括]

三河港が地域や日本において、大切な港であることを広く理解してもらい、港への関心と親しみを高めることは三河港の振興にとって重要であるため、港を中心にフェスティバルを開催する豊橋みなとフェスティバル実行委員会へ助成している。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、開催の延期や内容の変更を検討したが、予断を許さない状況が続いたため開催中止となった。

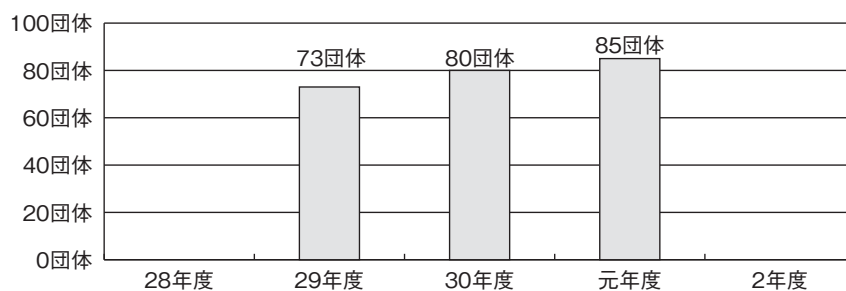
[実績及び成果]

(1) みなとフェスティバル補助金 0円

補 助 金	令和元年度	令和2年度
	6,000,000円	0円

[指 標]

指 標 名：みなとフェスティバル参加団体数  
 指標説明：〃



※ 28年度は、海フェスタ東三河開催のため、みなとフェスティバルの開催無し

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5項 都市計画費	7,219,404,022	3,393,993,200	1,349,200,000	34,914,052	2,441,296,770
2目 公園緑地費 <公園・緑地の充実>	856,706,965	77,689,000	190,000,000	10,451,127	578,566,838

1 公園施設維持管理事業費 547,390,581 円 (公園緑地課)

[総括]

安全で、潤いのある都市空間を確保するため、市内 544 箇所の公園・緑地・遊園・ちびっこ広場等を適正に管理するとともに、公園施設の安全点検や照明灯・遊具の更新等を行った。また、損傷や劣化の見られる吉田城址の石垣を計画的に管理していくため長寿命化計画を策定した。今後も公園施設の維持管理を計画的・効率的に行うことによりコストの低減を図る。

[実績及び成果]

(1) 公園維持管理事業費 392,202,290 円

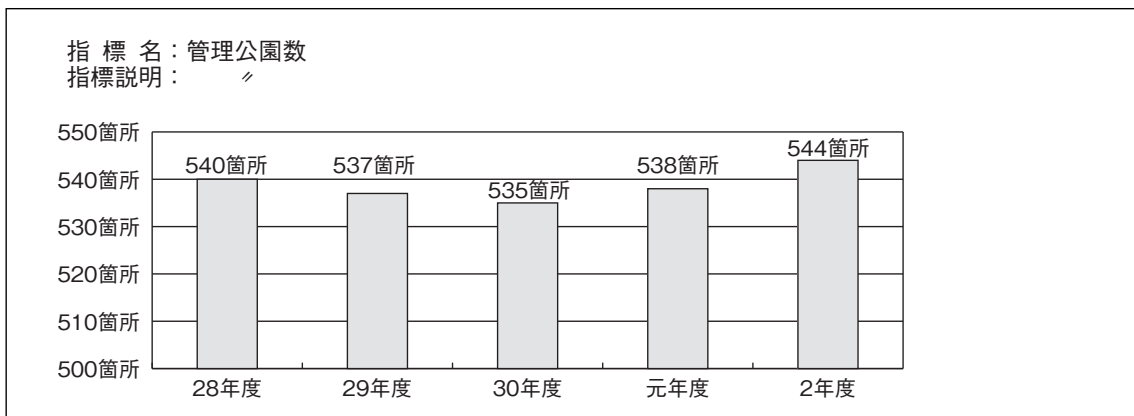
除草清掃・施設管理委託等	令和元年度	令和2年度
		高師緑地始め538箇所

(2) 公園修繕事業費 155,188,291 円

(国庫補助事業 75,466,000 円 市単独事業 79,722,291 円)

内 容	令和元年度	令和2年度
照 明 灯 修 繕	豊橋公園ほか	豊橋公園ほか
遊 具 補 修	牛川通三丁目ちびっこ広場ほか	東田遊園ほか
諸施設及び塗装修繕等	天伯第二公園ほか	松山公園ほか
外 柵 修 繕	大清水第十公園ほか	中山田池公園ほか
照 明 灯 更 新	幸公園ほか	万場緑地ほか
遊 具 更 新	小鷹野公園ほか	二本松西公園ほか

[指 標]



2 公園緑地整備事業費

189,771,571 円（公園緑地課）

[総括]

安全で、潤いのある都市空間を創出するため、南松原公園の整備を行った。また、前年度に引き続き汐田公園の整備を進めるとともに、白ヶ池公園、飯村公園の再整備に着手した。今後も標準配置に則した公園等の整備を推進する。

[実績及び成果]

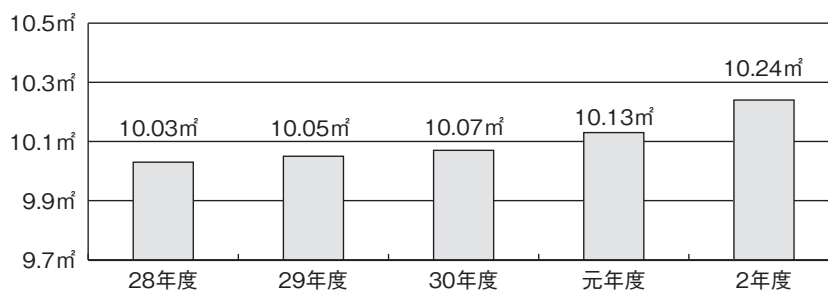
(1) 街区公園等整備事業費 189,771,571 円

(国庫補助事業 57,400,000 円 県費補助事業 87,984,600 円 市単独事業 44,386,971 円)

公園名	令和元年度	令和2年度
	汐田公園ほか 遊具広場整備等	汐田公園ほか 遊具広場整備等

[指標]

指標名：市民1人当たりの都市公園面積  
 指標説明：都市公園面積／人口



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 緑化・美化活動費 <緑化・美化活動の推進>	412,798,958	32,329,000	0	1,925,000	378,544,958

1 緑化維持管理事業費 355,090,098 円 (公園緑地課)

[総括]

緑に囲まれた良好なオープンスペースを確保するとともに、地域の景観の維持を図るため、街路樹及び公園樹の剪定、刈り込み、施肥等を行った。今後も、街路樹再生指針に基づき、街路樹の適正化を図るとともに、市民の安全に配慮した街路樹及び公園樹の維持管理を推進する。

[実績及び成果]

(1) 街路樹等維持管理事業費 226,506,029 円

路 線 名	令和元年度	令和2年度
		菰口町・旭町1号線始め277路線

(2) 公園樹等維持管理事業費 115,288,870 円

公 園 名	令和元年度	令和2年度
		牛川遊歩公園始め401公園

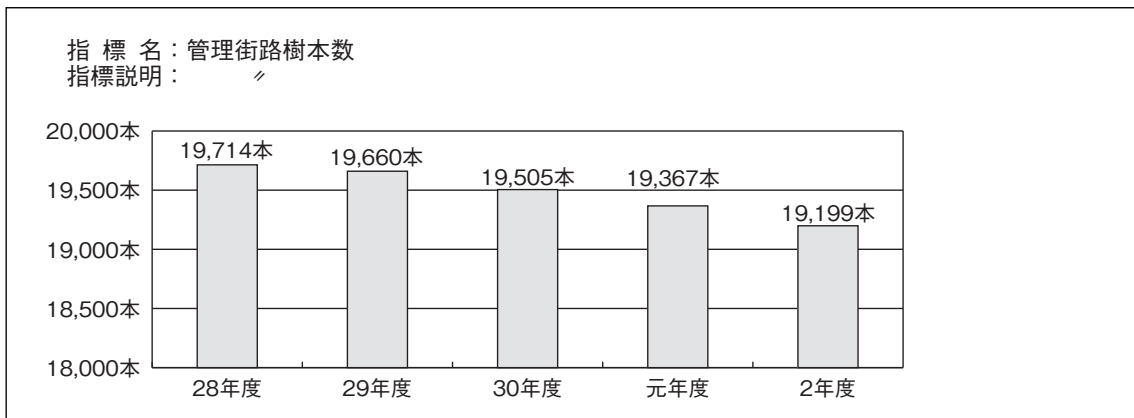
(3) 街路樹等維持補修事業費 8,646,000 円

路 線 名	令和元年度	令和2年度
		牟呂町・青竹町42号線ほか

(4) 軌道緑化維持管理事業費 4,649,199 円

内 容	令和元年度	令和2年度
		維持管理面積 658㎡

[指標]



2 緑化推進事業費 37,011,707 円 (公園緑地課)

[総括]

市民参加型の緑化活動を推進するため、花交流フェア、桜の植栽イベント等を開催するとともに、市民に愛着のある緑化を推進するため、街路樹の植え替えを行い再生を図った。また緑豊かなまちづくりの基本的な方針を定めるため緑の基本計画の改定を行った。

[実績及び成果]

(1) 街路樹等緑化推進事業費 27,902,007 円

(県費補助事業 27,902,007 円)

内 容	令和元年度		令和2年度	
	高木植栽	富士見台8号線 ヤマボウシ 28本 オウゴンモチ 19本	瓦町通・向山台町1号線 高木植栽 ヤマボウシ 49本	

(2) 公園樹等緑化推進事業費 3,617,560 円

(県費補助事業 3,600,670 円 市単独事業費 16,890 円)

内 容	令和元年度		令和2年度	
	高木植栽	岩屋緑地 サクラ 29本	岩屋緑地 高木植栽 サクラ 28本 向山緑地 高木植栽 サクラ 5本	

(3) 緑の基本計画策定事業費 5,030,140 円

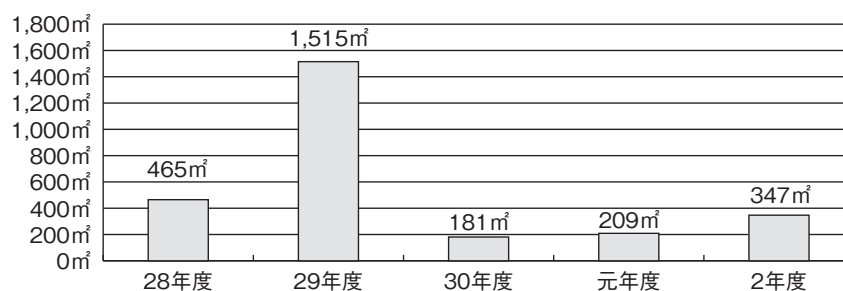
内 容	令和元年度		令和2年度	
		緑の基本計画策定委託		緑の基本計画策定委託

(4) 民有地緑化推進事業補助金 462,000 円

内 容	令和元年度		令和2年度	
		1件 12㎡		1件 53.9㎡

[指 標]

指 標 名：街路・公園に植栽した緑被及び花壇の面積  
 指標説明： /





3 公園等維持管理事業費 19,449,185 円（公園緑地課）

[総括]

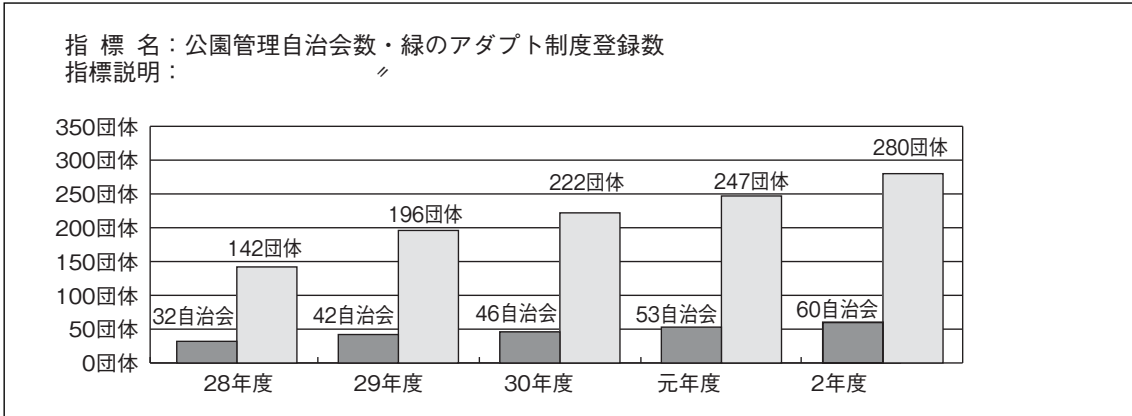
市民の公園及び街路樹への愛着心や美化意識の向上を図るため、市民協働で公園や街路樹周辺の美化活動を行うとともに、ペDESTリアンデッキで花壇を整備した。緑のアダプト制度登録数や公園管理自治会数も順調に伸びており、今後も市民、事業者、行政の協働によって美化活動を推進する。

[実績及び成果]

- (1) 公園等美化活動事業費 19,449,185 円  
 (県費補助事業 162,770 円 市単独事業 19,286,415 円)

区 分	令和元年度	令和2年度
公園管理自治会数	53自治会	60自治会
緑のアダプト制度登録数	247団体	280団体
ペDESTリアンデッキ 花壇整備事業参加者数	62名	65名

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 都市計画推進費 ＜コンパクトなまちづくりの推進＞	28,523,451	31,000	0	0	28,492,451

1 都市計画推進事業費 28,523,451 円 (都市計画課)

[総括]

利便性が高くまとまりのあるまちづくりを進めるため、都市計画マスタープランの改定を行った。また、都市に必要な機能や居住の誘導を目的とした「豊橋市立地適正化計画」に基づき、歩いて暮らせるまち区域定住促進補助金等の居住誘導策を行った。

[実績及び成果]

(1) 都市計画事務費 22,517,451 円

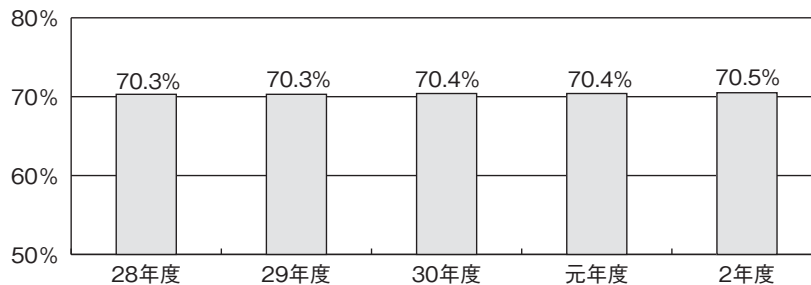
内 容	令和元年度	令和2年度
	都市計画マスタープラン改定業務 豊橋市立地適正化計画の推進	都市計画マスタープラン改定業務 豊橋市立地適正化計画の推進

(2) 歩いて暮らせるまち区域定住促進補助金 5,907,000 円

内 容	令和元年度	令和2年度
		—

[指 標]

指 標 名：全人口に占める居住誘導区域内人口の割合  
 指標説明：  
 〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 中心市街地再開発費 <魅力ある中心市街地の整備>	4,420,086,281	3,222,597,000	1,159,200,000	482,494	37,806,787

1 再開発推進事業費 313,781円 (まちなか活性課)

[総括]

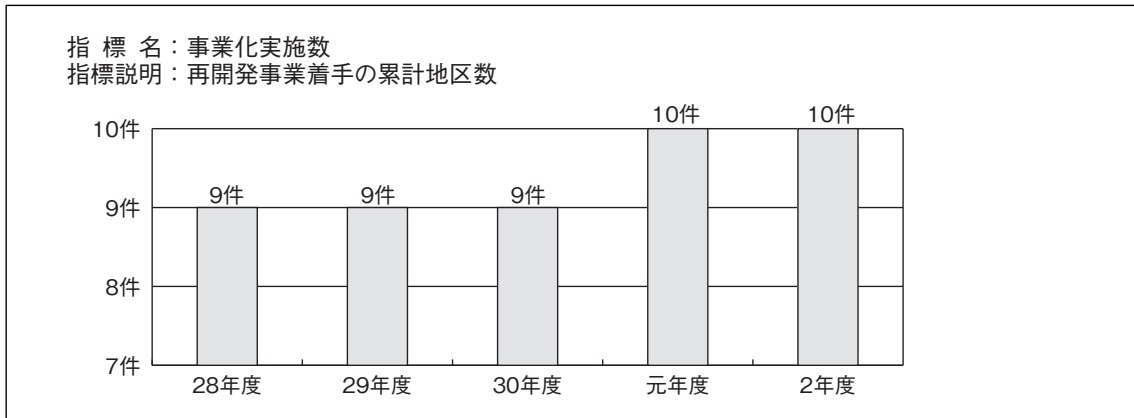
駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業及び豊橋駅西口駅前地区優良建築物等整備事業において、事業者に対する指導・助言を行った。また、広小路一丁目北地区において、再開発を推進するための協議会に助言などを行った。今後もこれら事業の進捗を図るほか、老朽化した街区の更新を検討している地区に対して、事業化に向けた調整を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 再開発推進事務費 313,781円

事業費	令和元年度	令和2年度
		478,095円

[指標]



2 市街地再開発等事業費 4,237,557,000円 (まちなか活性課)

[総括]

都心居住の促進や集客施設の整備を図り、中心市街地の活性化に繋げるため、駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発等事業や豊橋駅西口駅前地区優良建築物等整備事業の事業者に対して助成等を行った。まちなか広場については公共施設管理者負担金により整備を行った。また、広小路一丁目北地区の再開発事業の初動期支援のため、補助金を交付した。

[実績及び成果]

(1) 駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発等事業費 3,895,480,000円

内 容	令和元年度	令和2年度
		東棟建築工事等

(2) 豊橋駅西口駅前地区優良建築物等整備事業費 134,400,000円

内 容	令和元年度	令和2年度
		建築物除却、調査設計、補償等

(3) まちなか広場(仮称)整備事業費 207,377,000円

内 容	令和元年度	令和2年度
		—

(4) 豊橋駅周辺地区再開発推進事業費 300,000 円

内 容	令和元年度	令和2年度
	市街地総合再生基本計画作成	

3 中心市街地環境整備事業費 170,338,333 円 (まちなか活性課)

[総括]

豊橋駅西口駅前地区において、駅前広場の整備に向けた関係者へのヒアリング調査や事業手法の調査検討などを行った。また、中心市街地に「歩く楽しみ」という新たな魅力を加えるストリートデザイン事業では、萱町通り及び水上ビル北側において前年度に引き続き工事を進めた。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅西口駅前地区活性化推進事業費 7,899,203 円

内 容	令和元年度	令和2年度
	駅前広場整備に向けた調査及び関係者の調整	

(2) ストリートデザイン事業費 162,439,130 円

内 容	令和元年度	令和2年度
	工事(萱町通り L=約200m) 工事(水上ビル北側 L=約240m)	

4 中心市街地活性化推進事務費 1,400,466 円 (まちなか活性課)

[総括]

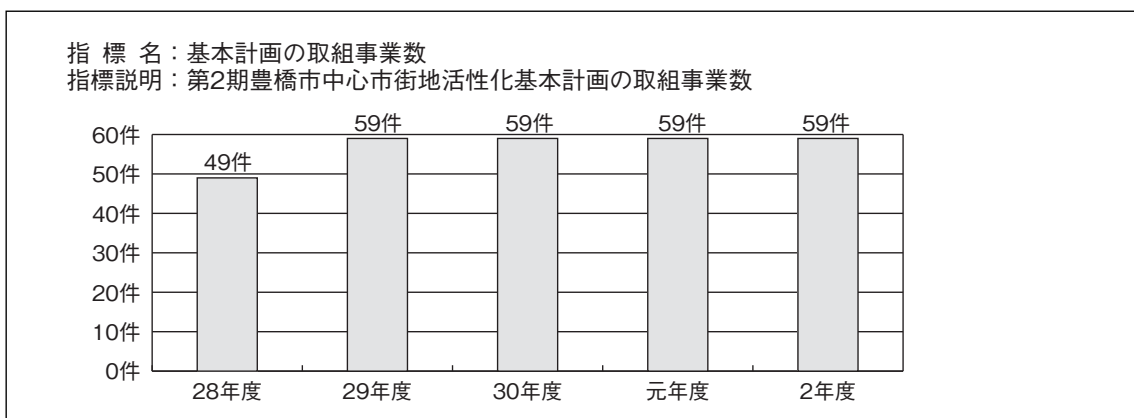
中心市街地活性化基本計画の事業効果を継続的に確認するために通行量調査を実施した。今後も、中心市街地の活性化に向けた取組みを着実に推進していく。

[実績及び成果]

(1) 中心市街地活性化推進事務費 1,400,466 円

内 容	令和元年度	令和2年度
	中心市街地通行量調査	

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 まちづくり景観形成費 <調和のとれた景観の形成>	6,088,493	0	0	955,179	5,133,314

1 まちづくり景観推進事業費 6,088,493円 (都市計画課)

[総括]

豊橋らしい美しいまちをつくるため、「豊橋市景観計画」やガイドライン等の令和3年度からの運用に向け、準備を行った。また、景観形成地区において基準に適合する良好な建築行為に対する助成等を行った。

[実績及び成果]

(1) 都市景観推進事業費 2,746,314円

内 容	令和元年度	令和2年度
計 画 策 定	豊橋市景観計画ガイドライン等 策定業務	豊橋市景観計画等の印刷製本

(2) まちづくり景観形成助成金 2,387,000円

(ア) まちづくり景観形成整備事業助成金 2,387,000円

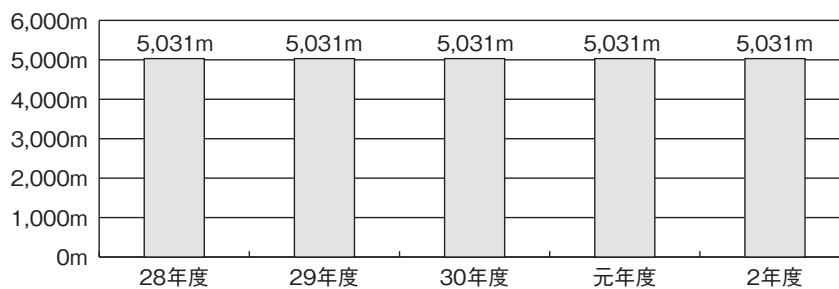
助 成 金	令和元年度	令和2年度
	4件 2,678,000円	3件 2,387,000円

(3) 屋外広告物対策事業費 955,179円

区 分	令和元年度	令和2年度
許 可 件 数	1,384件	1,334件
違反広告物撤去件数	70	74

[指 標]

指 標 名：景観形成地区内道路延長  
 指標説明： //



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 公共交通活性化費 <公共交通の利便性向上>	25,000,252	0	0	819,293	24,180,959

1 公共交通活性化事業費 21,440,694 円 (都市交通課)

[総括]

平成29年3月に制定した「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」に基づき、「豊橋市都市交通計画2016-2025」の基本理念である「多様な交通手段を誰もが使い、過度に自家用車に頼ることなく生活・交流ができる都市交通体系の構築」をめざすため、路線バスの利用促進や電停駐輪場の整備のほか、路線バスの位置情報等がわかるロケーションシステムの導入支援などを行い、利便性の向上を図った。今後も市民等の公共交通に対する意識変革を促すとともに、誰もが安心・安全で快適に移動できる環境を整え、公共交通の利便性の向上を図る。

[実績及び成果]

(1) 都市交通計画推進事業費 21,440,694 円

(ア) サイクル&ライド駐輪場整備事業補助金 2,000,000 円

駐 輪 台 数	令和元年度	令和2年度
		126台

(イ) 路線バスロケーションシステムの導入支援 7,761,000 円

(ウ) 路線バス利用促進事業費 4,836,779 円

[幹線バス終バス延長実施事業]

幹線バスの終バスを 延長した路線数	令和元年度	令和2年度
		3路線

[高齢者等路線バス利用促進事業]

元気バスの助成者数	令和元年度	令和2年度
		1,277人

(エ) ユニバーサルデザインタクシー購入補助金 900,000 円

内 容	令和元年度	令和2年度
		11台

(オ) モビリティマネジメント推進費等 5,942,915 円

[都市交通計画中間見直し]

内 容	令和元年度	令和2年度
		—

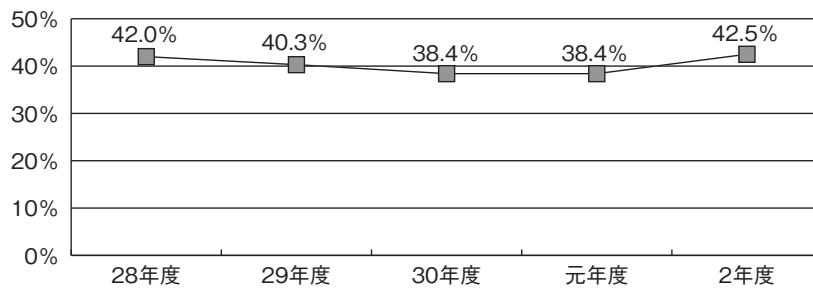
[路線バス等外国人運転士確保支援事業]

内 容	令和元年度	令和2年度
説明会参加者数	9人	9人
採用者数	1	0

[指 標]

指 標 名：「公共交通の利用のしやすさ」に関する満足度評価

指標説明：市民意識調査による「公共交通の利用のしやすさ」に関する満足度評価で満足と評価した割合



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 公共交通対策費 <公共交通の維持と利用促進>	198,422,479	59,992,200	0	5,760,300	132,669,979

1 公共交通対策事業費 198,422,479円 (都市交通課)

[総括]

利用しやすく持続可能な公共交通とするため、交通施設の改修に必要な支援を行った。また、日常の移動手段を確保するため、路線バスの運行に対して補助を行ったほか、地域住民が主体となりコミュニティバス（「地域生活」バス・タクシー）の本格運行事業を5地区で実施した。今後も新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら、公共交通の利用を促す取組みを実施していく。

[実績及び成果]

(1) 公共交通対策事業費 129,444,479円

(ア) 路面電車軌道敷整備事業補助金 12,075,117円

実施箇所	令和元年度	令和2年度
	井原東交差点 単路部（東田～競輪場前間）	

(イ) バス運行対策費補助金 82,072,000円

補助路線数	令和元年度	令和2年度
		11路線

(ウ) 「地域生活」バス・タクシー運行事業補助金 33,259,690円

本格運行地区	令和元年度	令和2年度
	東部地区、北部地区、南部地区、 前芝地区、川北地区	東部地区、北部地区、南部地区、 前芝地区、川北地区

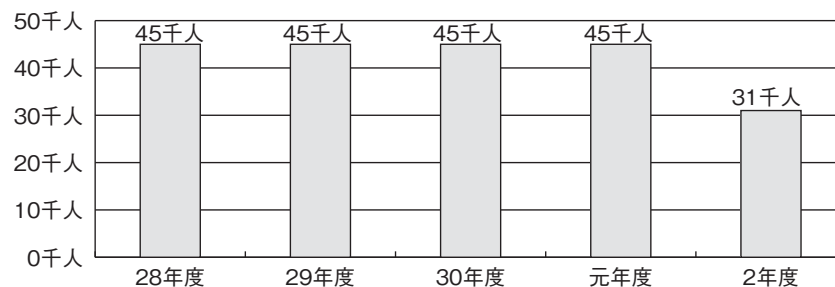
(エ) 「地域生活」バス・タクシー運営経費補助金 491,777円

運営団体数	令和元年度	令和2年度
		7団体

(オ) 公共交通利用促進費等 1,020,395円

[指標]

指標名：公共交通の1日当たりの利用者数  
 指標説明：渥美線、路面電車、路線バス、「地域生活」バス・タクシーの利用者数／運行日数





科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 自転車活用推進費 ＜自転車活用の推進＞	8,038,856	1,355,000	0	2,000,000	4,683,856

1 自転車活用推進事業費 8,038,856円 (都市交通課)

[総括]

自転車利用者の誘客による地域振興や観光振興を図るため、サイクリング中に休憩や自転車の簡易なメンテナンスを行うことができるサイクルピットを設置するとともに、外国語版サイクリングマップの作成を行った。また、平成26年3月に策定した「豊橋市自転車活用推進計画」は、豊橋市における自転車の活用を総合的かつ計画的に推進するため、国の自転車活用推進計画などを勘案し、「豊橋市自転車活用推進計画2021-2030」へと改定した。今後も市民、企業、学校、各種関係団体、国、県などとの連携・協働のもと、自転車の利用環境の整備や利用啓発活動等の取組みを進める。

[実績及び成果]

(1) 自転車活用推進事業費 8,038,856円

(ア) 自転車活用推進計画改定 4,955,078円

内 容	令和元年度	令和2年度
	豊橋市自転車活用推進計画策定委託業務	

(イ) サイクルツーリズムの推進 2,925,980円

[サイクルピット整備事業]

実 施 箇 所	令和元年度	令和2年度
		10箇所

[外国語版サイクリングマップ作成]

作 成 部 数	令和元年度	令和2年度
		—

[豊橋駅自転車組立スペースの整備]

実 施 箇 所	令和元年度	令和2年度
		—

(ウ) 渥美線サイクルトレインPR事業補助金 137,000円

ステッカー等 添付箇所	令和元年度	令和2年度
		—

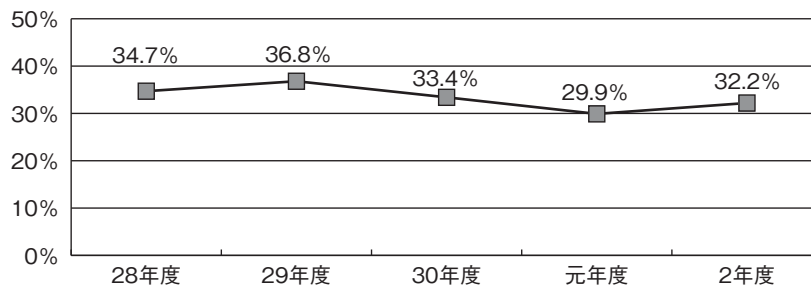
(エ) 自転車活用推進費 20,798円

内 容	令和元年度	令和2年度
	自転車活用推進委員会等の開催	

[指 標]

指 標 名：「自転車の利用のしやすさ」に関する満足度評価

指標説明：市民意識調査による「自転車の利用のしやすさ」に関する満足度評価で満足と評価した割合



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6項 区 画 整 理 費	1,435,995,216	387,470,500	667,600,000	110,871,565	270,053,151
2目 市 街 地 整 備 費 <コンパクトなまちづくりの推進>	1,282,642,255	387,470,500	667,600,000	110,827,365	116,744,390

1 牟呂坂津土地区画整理事業費 511,062,184 円 (区画整理課)

[総括]

道路築造工事及び宅地造成工事を施工するとともに、建物、工作物、電柱、水道管等の移転・移設補償を行った。今後も地権者の理解を得ながら、事業の早期完了に向けて、建物等移転補償、道路築造、宅地造成等を計画的に進め、事業推進を図る。

[実績及び成果]

(1) 牟呂坂津土地区画整理事業費 511,062,184 円  
(国庫補助事業 424,450,000 円 市単独事業 86,612,184 円)

(ア) 道路築造費 168,775,400 円

内 容	令和元年度	令和2年度
	延長 369m	延長 590m

(イ) 宅地造成費 6,735,600 円

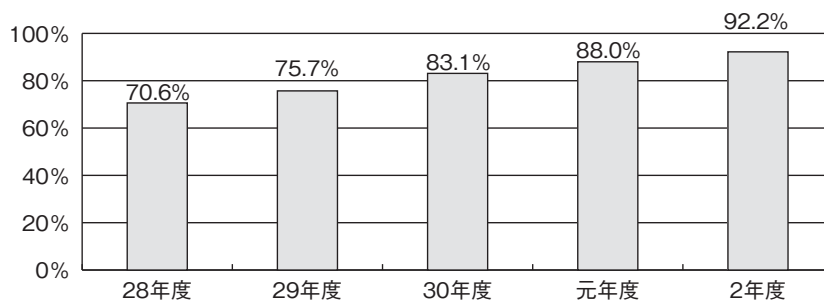
内 容	令和元年度	令和2年度
	面積 1,179㎡	面積 6,100㎡

(ウ) 補償費 232,715,316 円

内 容	令和元年度	令和2年度
	建物 10戸 工作物、電柱 水道管移設 406m	建物 2戸 工作物、電柱 水道管移設 468m

[指 標]

指 標 名：牟呂坂津土地区画整理事業進捗率  
指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成13年度～令和7年度)



※令和2年度の事業計画変更による全体直接事業費にて再算定

2 組合土地区画整理推進事業費 768,580,071 円（区画整理課）

[総括]

土地区画整理事業の円滑な推進を図るため、牛川西部及び柳生川南部の各土地区画整理組合に対し指導・監督を行うとともに、助成した。また、牛川西部及び柳生川南部の各土地区画整理組合が行った事業に対し負担金を支出した。今後も各組合に対して指導を行い、早期に事業が完了するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 牛川西部土地区画整理推進事業費 172,096,071 円

(ア) 土地区画整理事業補助金 161,558,071 円

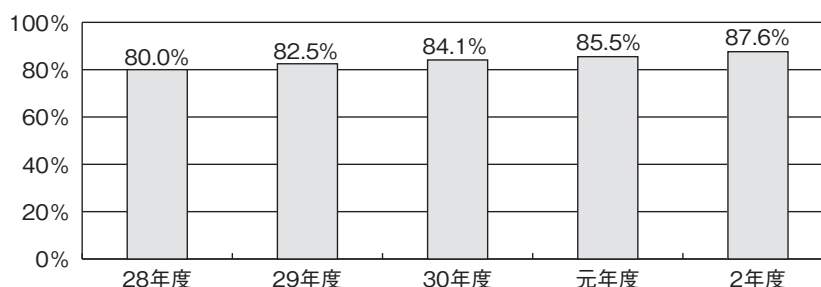
補助金	令和元年度	令和2年度
	124,202,000円	161,558,071円

(イ) 土地区画整理事業負担金 10,538,000 円

負担金	令和元年度	令和2年度
	18,750,000円	10,538,000円

[指標]

指標名：牛川西部土地区画整理事業進捗率  
 指標説明：累積事業費／全体事業費（平成7年度～令和7年度）



(2) 柳生川南部土地区画整理推進事業費 596,484,000 円

(ア) 土地区画整理事業補助金 560,272,000 円

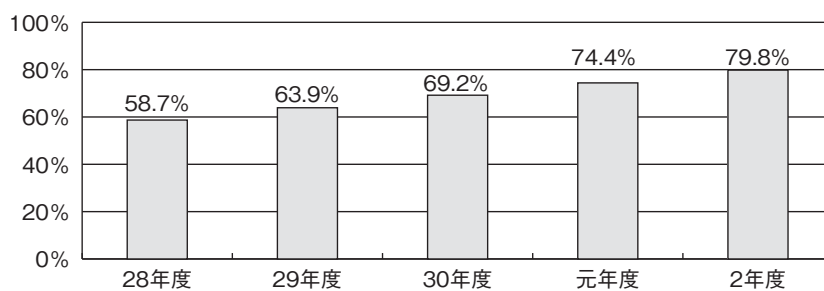
補助金	令和元年度	令和2年度
	555,517,000円	560,272,000円

(イ) 土地区画整理事業負担金 36,212,000 円

負担金	令和元年度	令和2年度
	30,000,000円	36,212,000円

[指 標]

指 標 名：柳生川南部土地区画整理事業進捗率  
指 標 説 明：累積事業費／全体事業費(平成14年度～令和8年度)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9 款 消 防 費	3,664,940,605	47,309,200	229,700,000	160,568,570	3,227,362,835
1 項 消 防 費	3,664,940,605	47,309,200	229,700,000	160,568,570	3,227,362,835
2 目 消 防 費 < 消防体制の充実 >	842,326,938	35,517,900	184,100,000	137,265,394	485,443,644

1 消防署所施設管理事業費 232,092,039 円 ((消) 総務課)

[総括]

消防防災活動の拠点となる消防庁舎の長寿命化及び機能強化を図るため、築年数 40 年を経過する南消防署の大規模改修工事に着手した。

[実績及び成果]

(1) 消防署所施設管理事業費 232,092,039 円

(ア) 南消防署大規模改修工事 142,920,000 円

2 か年継続事業の初年度 総事業費 408,000,000 円

構 造	内 容	延 床 面 積
鉄筋コンクリート造 3 階建	屋上防水改修、外壁改修、 内装改修	1,600㎡

2 通信指令事業費 237,150,728 円 (通信指令課)

[総括]

救急事案における傷病者の重症化を防ぐため、緊急度判定基準を新たに導入し、適切な出動指令及び通報者に対する応急手当指導を行った。また、通信指令員の電話通訳センターを介した三者間同時通訳や Net119 緊急通報システムの操作等習熟に努めた。今後は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況に応じ、三者間同時通訳などの説明会の開催やパンフレットの配布などを行い、対象者への認知度を高め、更なる通信指令体制の強化を図っていく。

[実績及び成果]

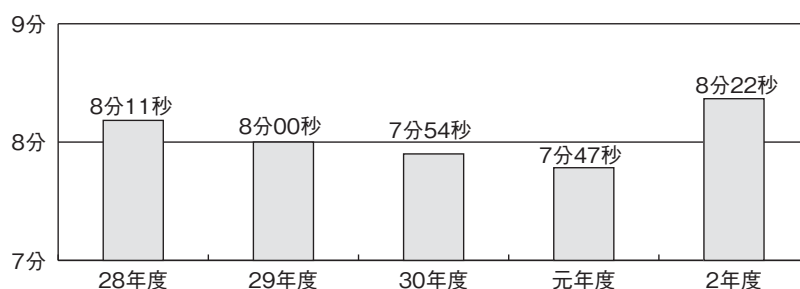
(1) 通信指令事業費 237,150,728 円

[受信内訳]

内 容	令和元年度	令和 2 年度	比 較
119 番 通 報 件 数	20,407件	18,588件	△ 8.9%
固 定 電 話	6,302	5,642	△10.5
携 帯 電 話	9,985	9,292	△ 6.9
I P 電 話	4,120	3,654	△11.3

[指 標]

指 標 名：119番(火災・救急・救助)受信から現場到着までに要した時間(平均)  
 指標説明：所要時間/件数



3 消防署所車両等設備管理事業費 105,421,299 円 (消防救急課)

[総 括]

複雑多様化する各種災害に対応するため、車両及び活動用資機材の点検整備、修繕など維持管理を徹底するとともに、老朽化した車両の計画的更新整備により消防体制の充実強化を図った。

[実績及び成果]

(1) 消防署所車両等設備管理事業費 105,421,299 円

[緊急車両更新]

内 容	令和元年度	令和2年度
	指揮車 1台	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車 1台

4 警防活動費 9,829,530 円 (消防救急課)

[総 括]

市民の生命、身体及び財産を火災から守り、被害を最小限に抑えるため、消防機械器具の整備や消防隊員の知識、技術の向上に努めた。特に、若手消防隊員の知識・技術の向上を図るため、消防士育成プログラムにより段階的な教育訓練を実施し、消防活動体制の強化に努めた。今後も、発生が危惧される南海トラフ地震等の大規模災害や複雑多様化する災害に対応するため、東三河各消防本部や警察等の関係機関とも連携した各種災害想定訓練を実施し災害対応力の強化を図る。

[実績及び成果]

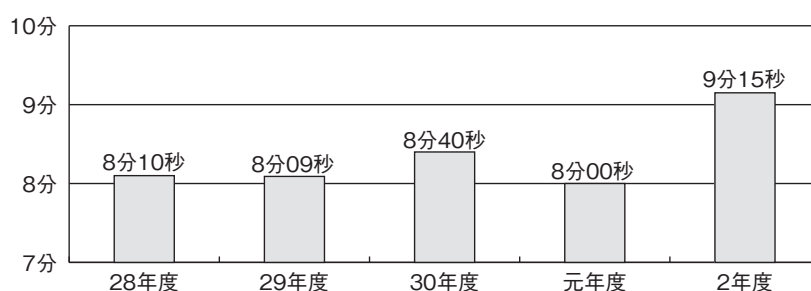
(1) 警防活動費 9,829,530 円

[火災発生状況]

区 分	令和元年度	令和2年度	比 較
出 火 件 数	90件	106件	17.8%
り 災 棟 数	62棟	59棟	△ 4.8
り 災 世 帯	28世帯	41世帯	46.4
り 災 人 員	78人	74人	△ 5.1
焼 損 面 積 (建物)	1,526㎡	1,217㎡	△20.2
損 害 額	67,697千円	104,161千円	53.9

[指 標]

指 標 名：火災出動から放水開始までの時間  
 指標説明：火災出動から先着隊の放水開始までの時間



5 消防団活動事業費 138,510,029 円 ((消) 総務課)

[総 括]

消防団員の安全確保のための装備品と活動用資機材の充実を図るとともに、新型コロナウイルス感染症対策を踏えた公務活動として消防署との合同訓練や災害時活動マニュアル研修会ならびに機能別団員研修を実施し、災害対応能力の向上に努めた。

また、「シャッターアートプロジェクト」などの活動を通じて、市民に消防団の必要性について正しく理解してもらうとともに、自治会や地域住民との繋がりを作り、消防団員の確保に努めた。

[実績及び成果]

(1) 消防団員管理事業費 130,267,629 円

[災害出動・公務活動人数]

区 分	令和元年度	令和2年度	比 較
災 害 出 動	3,504人	3,130人	△10.7%
公 務 活 動	9,415	6,649	△29.4

(2) 消防団交付金 8,242,400 円

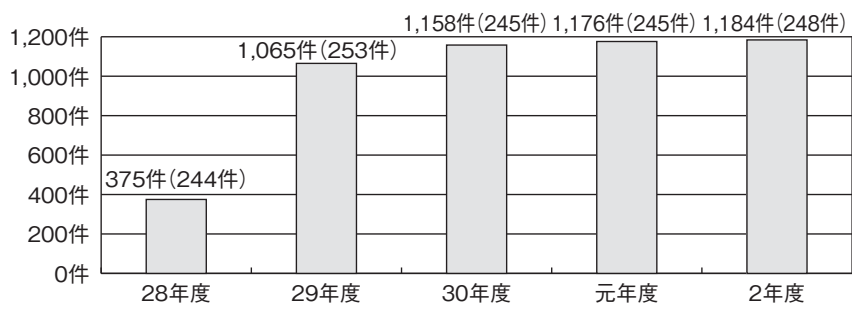
[交付金内訳]

区 分	令和元年度	令和2年度
消 防 団 交 付 金	800,000円	800,000円
方 面 隊 交 付 金	688,000	688,000
分 団 交 付 金	6,817,600	6,754,400
消防はしご登り保存会交付金	300,000	0
計	8,605,600	8,242,400



[指 標]

指 標 名：応援事業所登録件数(うち豊橋市内事業所登録件数)  
指標説明： /



※ 28年度「ほの国消防団・消防団応援事業所」の登録件数

※ 29年度～「あいち消防団応援の店」の登録件数

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 救 急 救 命 費 <救急救命体制の充実>	88,725,692	11,791,300	45,600,000	1,100,000	30,234,392

1 救急事業費 84,222,021 円 (消防救急課)

[総括]

救急需要の増加に対応するため、常時運用する8台の救急車に加え、中消防署非常用救急車を弾力的に運用し、救急体制の強化を図った。また、新型コロナウイルス感染症に対する適切な感染防止対策を講じるため、感染防止資器材を拡充した。応急手当の普及啓発については、感染状況を鑑み適切な感染防止対策を行い各種救急講習を実施した。今後も救急の高度化と応急手当の普及啓発を推進し救急救命体制の充実強化を図る。

[実績及び成果]

(1) 救急高度化事業費 83,247,948 円

研修派遣内訳		令和元年度	令和2年度
救 急 救 命 士	救急救命士養成	2人	2人
	包括運用教育講習	3	3
	気管挿管運用試験	2	2
	薬剤投与運用試験	3	3
	処置範囲拡大追加講習	3	3
救急隊員資格取得		11	12

(2) 応急手当普及啓発事業費 588,149 円

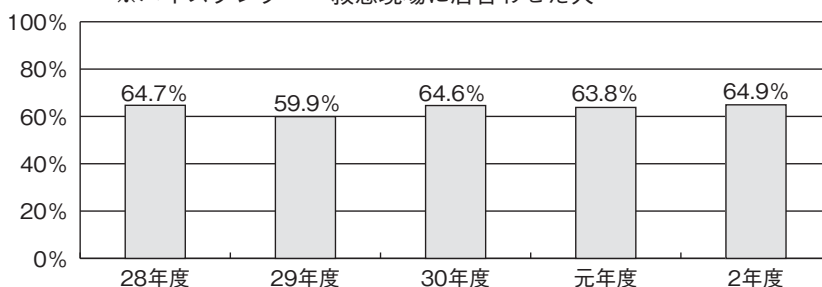
救命講習内訳	令和元年度	令和2年度	比較
応急手当指導員	46人	46人	0.0%
応急手当普及員	70	29	△58.6
普通救命	2,996	826	△72.4
上級救命	56	87	55.4
その他講習	861	68	△92.1
救命入門コース	8,690	2,215	△74.5
計	12,719	3,271	△74.3

(3) 救急活動費 385,924 円

救急発生状況内訳	令和元年度	令和2年度	比較
急病	10,257件	9,215件	△10.2%
一般負傷	1,955	1,925	△1.5
交通事故	1,164	907	△22.1
労働災害	150	159	6.0
運動競技	117	79	△32.5
加害	49	42	△14.3
その他	1,993	1,740	△12.7
計	15,685	14,067	△10.3
(内：コロナ陽性者搬送)	(0)	(64)	(皆増)

[指 標]

指 標 名：心肺停止傷病者に対するバイスタンダーの処置率(胸骨圧迫)  
 指標説明：通報時、心肺停止状態の傷病者に対しバイスタンダーが応急処置を施した割合  
 ※バイスタンダー…救急現場に居合わせた人



2 救助事業費 4,503,671 円 (消防救急課)

[総 括]

市民の生命、身体及び財産を災害から守るため、救助隊員の知識、技術の向上に努めた。また、緊急消防援助隊用車両として国有財産等の無償使用により配備された中型水陸両用車の運用を開始し、津波や大規模風水害に対する消防力を強化した。今後も、発生が危惧される南海トラフ地震等の大規模災害や複雑多様化する災害に対応するため、救助隊員の育成と救助活動の充実強化を図る。

[実績及び成果]

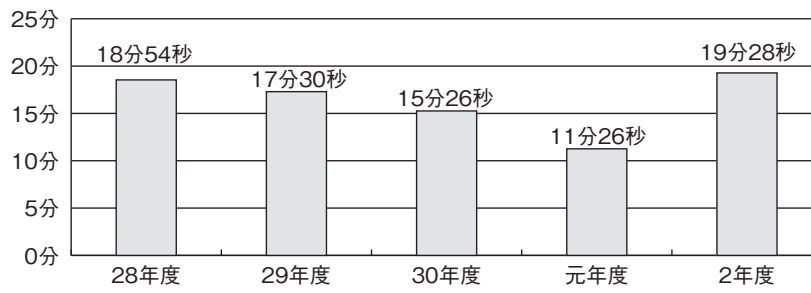
(1) 救助事業費 4,503,671 円

救助発生状況内訳		令和元年度	令和2年度	比 較
火 災	建 物 火 災	41件	35件	△14.6%
	建 物 火 災 以 外	9	4	△55.6
火 災 以 外 の 事 故	交 通 事 故	52	43	△17.3
	水 難 事 故	9	8	△11.1
	自 然 災 害	0	0	0.0
	機 械 に よ る 事 故	7	8	14.3
	建 物 等 に よ る 事 故	44	55	25.0
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	3	1	△66.7
	破 裂 事 故	1	0	皆減
そ の 他 の 事 故	70	77	10.0	
計		236	231	△ 2.1

[指 標]

指 標 名：現場到着から救助完了までの時間

指標説明：救助隊の現場到着から救助完了までの時間



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 火災予防費 <火災予防対策の強化>	14,726,014	0	0	69,400	14,656,614

1 火災予防対策事業費 14,726,014 円 (予防課)

[総括]

住宅火災での高齢者の犠牲者を低減させるため、解体する市営住宅の住宅用火災警報器を活用し高齢者宅へ設置するリユース事業を継続実施するとともに、新たに高齢者向けの防火冊子を作成し、戸別訪問や防火教室での啓発を行った。また、火災による被害を最小限に抑えるため、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を施したうえで、各種研修会や防火教室、事業所への火災予防対策を実施するとともに、各種イベントを通じて、住宅用火災警報器の設置及び維持管理の促進に努めた。

今後も引き続き高齢者対策を中心とした火災予防対策を推進するとともに、街頭消火器の設置等促進による初期消火体制の強化及び防火対象物の違反是正を行う。

[実績及び成果]

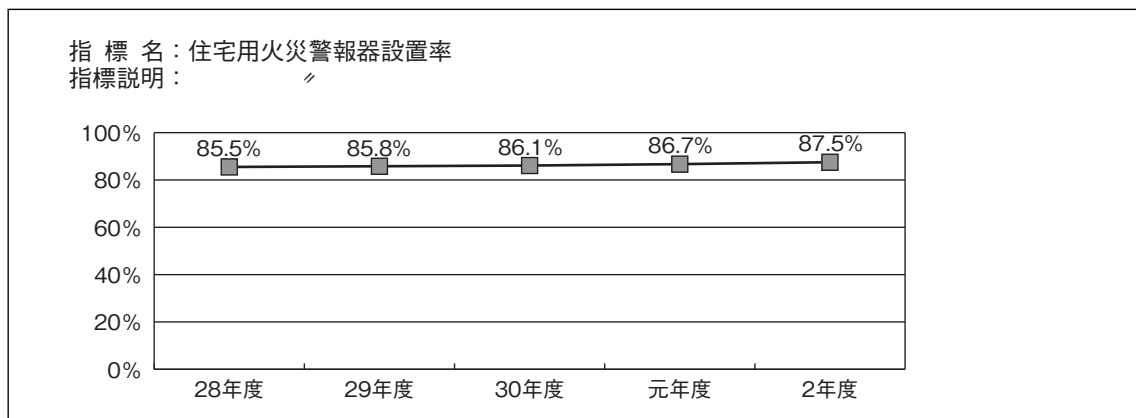
(1) 火災予防啓発事業費 8,375,864 円

啓 発 区 分	令和元年度	令和2年度	比 較
啓 発 イ ベ ン ト	8回	4回	△50.0%
講 習 会	10	7	△30.0
老人クラブ防火教室等	11	3	△72.7
女性防火クラブ研修等	15	3	△80.0
少年消防クラブ防火教室等	28	9	△67.9

(2) 街頭消火器設置費等補助金 6,350,150 円

補 助 内 訳	令和元年度	令和2年度	比 較
消 火 器 更 新	773件	783件	1.3%
収 納 箱 更 新	425	395	△ 7.1
薬 剤 更 新	5	4	△20.0
消 火 器 新 規 設 置	24	29	20.8
火災使用薬剤詰替(街頭消火器)	6	6	0.0
火災使用薬剤詰替(一般消火器)	8	17	2.1倍

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10款 教 育 費	16,116,832,540	3,790,366,879	2,650,200,000	1,850,890,961	7,825,374,700
1項 教 育 総 務 費	4,809,676,292	2,158,298,985	286,200,000	69,634,930	2,295,542,377
3目 教育活動推進費 <「この子の輝く学び」の創造>	2,940,466,106	2,025,776,333	0	8,226,857	906,462,916

1 教育相談事業費 205,531,163 円 (学校教育課)

[総括]

外国人児童生徒教育相談員等による教育相談や学校生活適応指導に加え、小学生を対象とする初期支援コース「きぼう」を新設することで、来日して間もない児童の適応支援や初期日本語集中指導を実施するなど、外国人児童生徒や保護者に対する支援の充実に努めた。また、児童生徒の教育にかかわる問題について、教育相談員や臨床心理士等がそれぞれの専門的立場で連携して教育相談を実施するとともに、スクールソーシャルワーカーが関係機関や関係者と連携し、児童生徒や保護者が置かれた環境に働きかけた。そのほか、心理判定員による発達検査に基づいた就学相談を実施するとともに、生活サポート非常勤講師の配置や市内に3か所開設しているほっとプラザの運営を通して、不登校傾向にある児童生徒の早期発見、対応及び学校復帰に向けた支援を行った。今後も学校や関係機関と連携をとりながら、児童生徒の支援のため効果的な教育相談活動に努める。

[実績及び成果]

(1) 外国人児童生徒教育相談事業費 111,781,269 円

区 分	令和元年度	令和2年度
外国人児童生徒教育相談コーディネーター	相談件数 3,708件	相談件数 2,838件
外国人児童生徒教育相談員	学校常駐 10人 学校巡回 12	学校常駐 13人 学校巡回 14
外国人児童生徒対応スクールアシスタント	延 3,461時間	延 4,879時間
登録バイリンガルボランティア	延 2,337.5	延 1,597.5

(2) 教育相談活動事業費 37,027,732 円

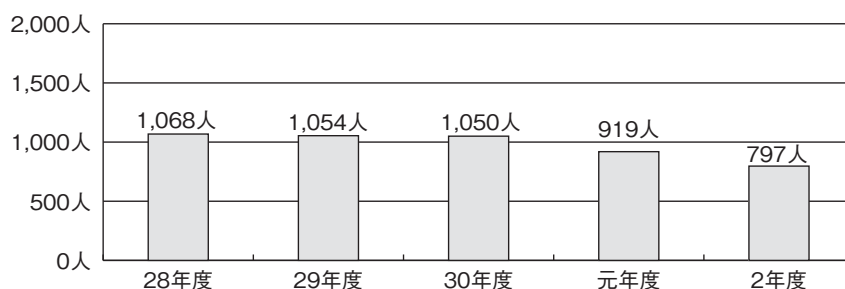
区 分	令和元年度	令和2年度
スクールソーシャルワーカー	相談件数 4,202件	相談件数 4,049件
教 育 相 談 員 (学校訪問、にじの子相談等)	〃 4,388	〃 5,086
心 理 カ ウ ン セ ラ ー	〃 921	〃 898
心 理 判 定 員	〃 430	〃 467
メンタルフレンド	派遣回数 67回	派遣回数 104回

(3) 不登校対策支援事業費 56,722,162 円

区 分	令和元年度	令和2年度
とよはしほっとプラザ活動事業費	3か所 174日 延 3,276人	3か所 181日 延 3,444人
生活サポート支援事業費	非常勤講師 14	非常勤講師 14
不登校対策推進協議会補助金	担当者学習会 8月・10月 2回	担当者学習会 8月・10月 2回
	補助金 81,476円	補助金 116,920円

[指 標]

指 標 名：教育相談員 1 人当たりの児童生徒数  
 指標説明：市立小中学校児童生徒数 / (外国人児童生徒教育相談員数 + 教育相談員数)



2 生徒指導対策事業費 3,564,970 円 (学校教育課)

[総 括]

生徒指導担当者の情報交換会や管理職対象の研修会において、いじめを見逃さず、早期に対応するために、教職員一人ひとりがいじめを認知していくことと、いじめを一つひとつ解消していく組織的な対応の重要性について啓発を行った。進路指導では、キャリア教育と連携しながら、生徒が将来の目標を定め、最適な進路選択ができるよう支援を行った。今後もいじめ、不登校、暴力行為等の問題行動を未然に防ぐため、自己存在感や自己有用感を高め、共感的人間関係を育むための支援を行っていく。

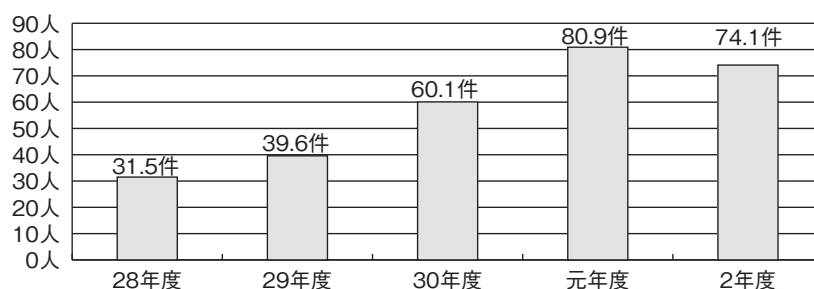
[実績及び成果]

(1) 生徒指導対策事業費 3,488,310 円

区 分	令和元年度	令和2年度
生 徒 指 導	夏季教員研修会 8月 1回	夏季教員研修会 8月 1回
	夏季生徒会研修会 8 1	夏季生徒会研修会 8 1
進 路 指 導	進路のてびきの発行	進路のてびきの発行

[指 標]

指 標 名：1 校当たりのいじめ、暴力行為の発生件数  
 指標説明：いじめの認知件数及び暴力行為の発生件数 / 小中学校数 (74 校)



3 教育諸活動支援事業費

114,915,551 円（教育政策課・学校教育課）

[総括]

次代を担う子どもたちの感性を磨き、豊かな心を醸成するため、創造力や豊かな感性・表現力を高める活動、子どもたちの科学技術に対する夢と情熱を育む活動、体力・競技力の向上を図る活動など、様々な教育活動の支援を行ったほか、多彩で優れた芸術の鑑賞・体験の機会を提供した。また、児童生徒が郷土を心のよりどころと感じ、誇りをもって語るができるよう、平成 26 年度から平成 28 年度に編集・発行した「郷土学習のすすめ」「郷土の偉人」「郷土の遺構」を活用しながら、郷土学習を進めた。今後も児童生徒がいきいきと学ぶことができるよう、各事業内容の充実を図る。

[実績及び成果]

(1) 行事開催事業費

511,765 円

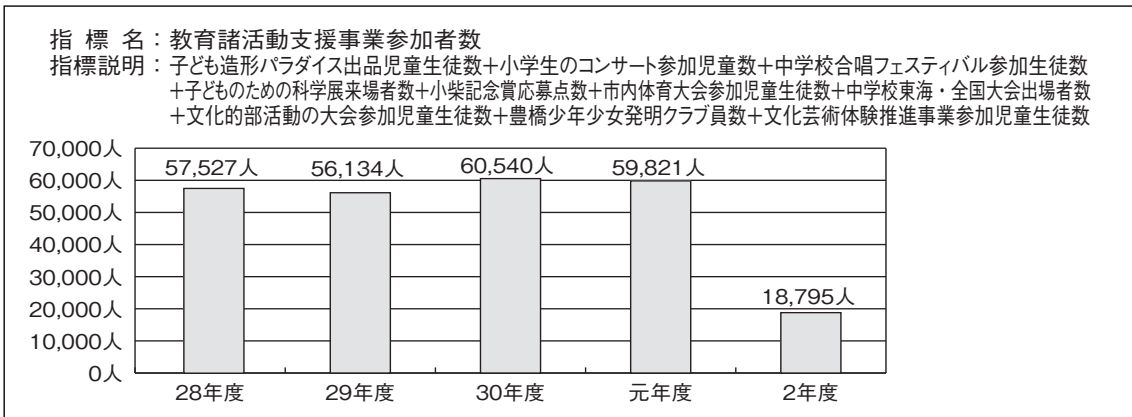
区 分	令和元年度		令和 2 年度	
子ども造形パラダイス補助金	開催日	10.19及び10.20	開催日	—
	補助金	4,289,881円	補助金	0円
小学生のコンサート補助金	開催日	7.28	開催日	—
	補助金	2,070,340円	補助金	0円
子どものための科学展開催費補助金	開催日	10.19及び10.20	開催日	10.31～11.29
	来場者数	7,289人	来場者数	7,502人
	補助金	977,604円	補助金	195,584円
小柴記念賞補助金	応募点数	4,474点	応募点数	295点
	補助金	487,824円	補助金	316,181円

(2) 教育活動支援事業費

114,403,786 円

区 分	令和元年度		令和 2 年度	
新入学児童学級対応等支援事業費	支援員	63人	支援員	65人
体育的部活動支援事業費		24,971,266円		10,936,664円
学校体育連盟補助金	1団体	22,020,707	1団体	10,936,664
中学校東海・全国大会出場補助金	17校(152人)	2,950,559	0校(0人)	0
文化的部活動支援事業費	22	4,699,295	14	433,258
少年少女発明クラブ補助金	クラブ員 89人	400,000	クラブ員 94人	353,890
文化芸術体験推進事業費	参加児童生徒8,106	4,613,160	参加児童生徒1,561	946,320
中学校部活動指導者派遣事業費	部活動指導者 4	969,440	部活動指導者 5	1,288,800

[指標]





4 授業・学習支援事業費 29,188,535 円（学校教育課）

[総括]

児童生徒への効果的な学習支援を行うため、「授業・学習支援センター」において、コーディネーター1名と選書スタッフ2名が連携し、子どもの調べ学習や教員の授業づくりの支援を行った。また、28名の学校図書館司書を小中学校へ配置するとともに、学校図書館司書への研修を実施し、学校図書館機能の充実に努めた。今後も児童生徒の豊かな学習環境の充実のため、教員のニーズを把握し、センターの機能を有効に活用できるように努める。

[実績及び成果]

(1) 授業・学習支援センター推進事業費 5,098,738 円

学校貸出冊数	令和元年度	令和2年度
	12,751冊	10,647冊

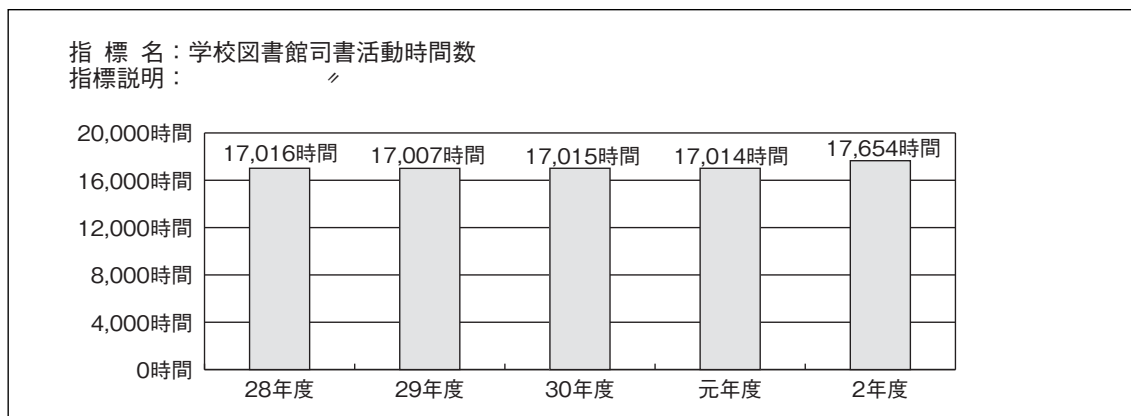
(2) 学校図書館活動推進事業費 23,750,440 円

司書配置	令和元年度	令和2年度
	27名を全小中学校(74校)に配置 (3校担当20名、2校担当7名)	28名を全小中学校(74校)に配置 (3校担当18名、2校担当10名)

(3) 小・中学校読書活動推進事業費 339,357 円

図書購入	令和元年度	令和2年度
	187冊	127冊

[指標]



5 学力・体力向上推進事業費 26,586,624 円（教育政策課・学校教育課）

[総括]

義務教育9年間におけるつながりのある一貫した教育を行うため、小学校の高学年において教科担任制を実施し、子どもの発達段階に応じ、専門性を活かしたより質の高い授業を提供した。また、スポーツトレーナーを小学校に派遣し、体育の授業において、健康的な体づくりやスポーツにおける正しい動きづくりのアドバイスを行った。

[実績及び成果]

(1) 学力向上支援事業費 26,186,911 円

教科担任の 非常勤講師人数	令和元年度	令和2年度
	6人	7人

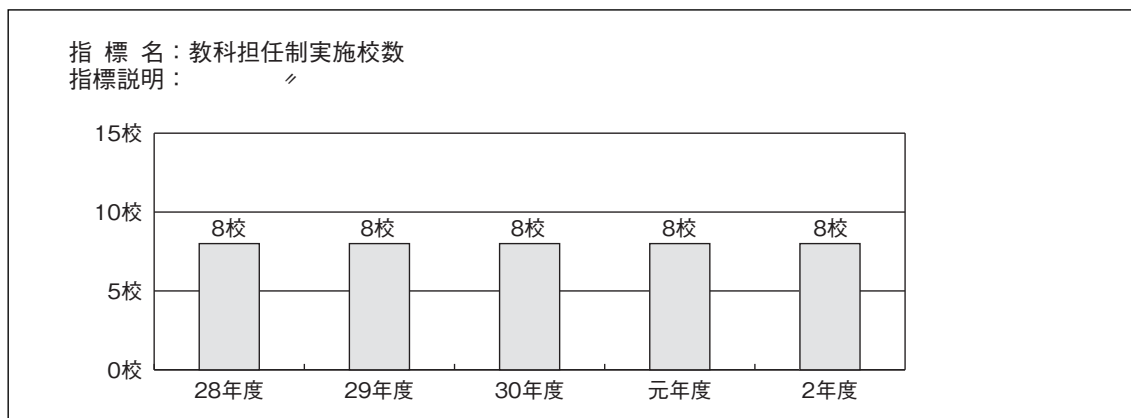
(2) 小中一貫教育推進事業費 23,273 円

小中一貫教育	令和元年度	令和2年度
実施校数	12校	12校

(3) 体力向上支援事業費 376,440 円

	令和元年度	令和2年度
内 容	スポーツトレーナーを中学校(4校)に派遣 小規模校における体育の合同授業の実施 「三遠ネオフェニックス」と連携した出張授業の実施	スポーツトレーナーを小学校(7校)に派遣 体育の授業や体力テスト練習時における健康的な体づくりや正しい動きづくりへの指導の実施 「学校保健委員会」での講話の実施

[指 標]



6 国際理解教育推進事業費 131,539,107 円 (学校教育課)

[総 括]

「英語」及び「外国語活動」の授業への人的支援として、英語スクールアシスタント(SA)や外国人英語指導員(ALT)を派遣した。小学校では学級ごとに、3・4年生はSAと年間20時間、5・6年生はALTと年間35時間の協働学習を行った。中学校では学級ごとに、ALTと年間30時間協働学習を行い、子どもたちの英語への関心・意欲を高めることができた。八町小学校においては、国語・道徳以外の教科等について英語を用いて学ぶ「イマージョン教育コース」を全学年で開設した。今後も引き続き英語教育の充実を図るため、小・中学校での連携を進める。

[実績及び成果]

(1) 英会話のできる豊橋っ子育成事業費 131,539,107 円

(ア) 小・中学校外国人英語指導員活動費

外国人英語指導員 コーディネーター及び 外国人英語指導員の配置	令和元年度	令和2年度
	74校 27人	74校 24人

(イ) 小学校英語スクールアシスタント

内 容	令和元年度	令和2年度
	52校 延 4,353時間	52校 延 4,577時間

(ウ) 夏休み小学生英語活動費

内 容	令和元年度		令和2年度	
		12日間	480人	0日間

(エ) 夏休み中学生英語活動費

内 容	令和元年度		令和2年度	
		4日間	40人	0日間

(オ) スーパー英会話チャレンジ費

内 容	令和元年度		令和2年度	
		2日間	128人	0日間

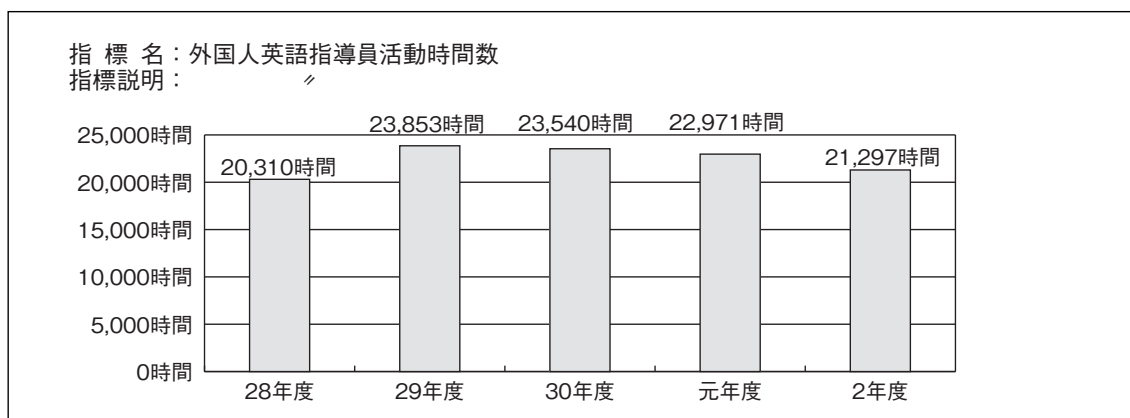
(カ) トリード スーパーイングリッシュキャンプ費

内 容	令和元年度		令和2年度	
		5日間	20人	0日間

(キ) イマージョン教育推進費

内 容	令和元年度		令和2年度	
		一校	一人	1校

[指 標]



7 情報教育推進事業費 2,255,839,582 円 (学校教育課)

[総 括]

情報・通信の技術を積極的に活用していくことが求められるなか、情報教育を通じて子どもたちにコンピュータの技能を身につけさせたり、情報モラルやセキュリティに関する意識を高めさせることができた。また、高山小学校及び章南中学校で行った実践研究を活用し、全小中学校で子どもたちの論理的思考を育むためのプログラミング教育を開始した。さらに、GIGAスクール構想の実現により、児童生徒1人1台タブレット型端末及び高速ネットワーク環境を一体的に整備することで、効率的に学習できるICT環境を構築した。今後も教育の情報化に対応した実践を進める。

[実績及び成果]

(1) コンピュータ活用事業費 2,255,311,582 円

(ア) 小学校コンピュータ活用事業費 1,519,356,257 円

区 分	令和元年度		令和2年度	
学習用コンピュータ・タブレット費	3,023台	128,952,129円	24,777台	1,481,566,100円
コンピュータネットワークシステム費		23,205,876		27,113,665
学校図書館管理用コンピュータ費	52	10,187,124	52	10,676,492

(イ) 中学校コンピュータ活用事業費 735,559,325 円

区 分	令和元年度		令和2年度	
学習用コンピュータ・タブレット費	1,843台	62,876,016円	12,589台	720,727,576円
コンピュータネットワークシステム費		8,802,420		10,314,769
学校図書館管理用コンピュータ費	22	4,309,932	22	4,516,980

(ウ) 分身ロボットの活用による教育支援費 396,000 円

区 分	令和元年度		令和2年度	
分身ロボットによる支援費	1台	464,274円	1台	396,000円

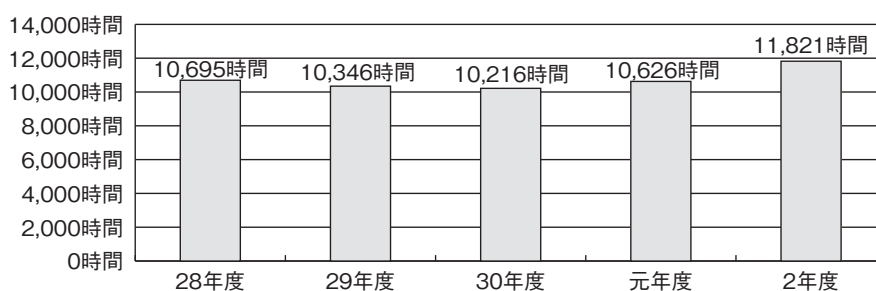
(2) プログラミング教育推進事業費 528,000 円

研 究 の 観 点 項 目	令和元年度		令和2年度	
	プログラミング教育指導計画例の作成 実践事例の作成 モデル事例の提供		プログラミングソフト「MESH」 を活用した学習	

[指 標]

指 標 名：小・中学校学習用コンピュータ利用時間数

指標説明： /



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 教職員研修費 <教職員の力量向上>	98,789,613	0	0	945,000	97,844,613

1 現職研修事業費 2,712,109 円 (学校教育課)

[総括]

小中学校における今日的課題や将来にわたる課題の解決に向けて研究し、成果を公開発表する研究指定校や、各校それぞれの課題について組織的・計画的に実施する現職研修に対して支援を行い、教育活動に活かすとともに、教職員の力量向上を図った。今後もより良い教育活動の展開のため、研究や研修への支援を行っていく。

[実績及び成果]

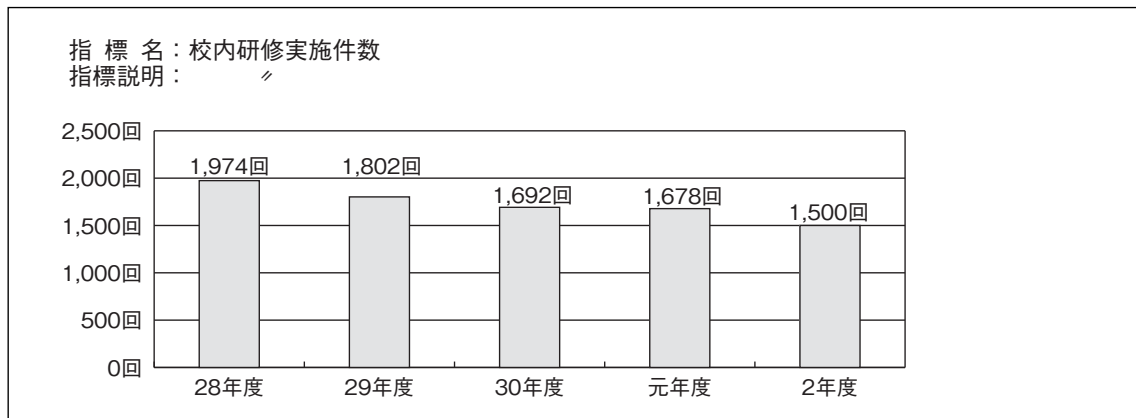
(1) 指定校研究費補助金 1,198,782 円

区 分	令和元年度	令和2年度
指 定 校	10校	9校
補 助 金	1,278,944円	1,198,782円

(2) 現職研修委員会補助金 1,513,327 円

区 分	令和元年度	令和2年度
ブ ロ ッ ク 研 修	12ブロック	12ブロック
研 究 部 等 研 修	37研究部	38研究部
基 本 研 修	298人	298人
特 別 研 修	海外派遣 1	—
補 助 金	2,805,361円	1,513,327円

[指 標]



2 教育会館管理運営事業費 96,077,504 円 (学校教育課)

[総括]

教職員の研修、教育情報の収集、教育機器・教材の提供及び情報教育の場としての機能を果たすとともに、教育相談や就学相談を行い学校や家庭での問題に対応した。また、教員免許状更新講習を引き続き実施し、教育の実情に即した講習内容とすることにより教員の資質の向上を図るとともに、受講者の事務手続等の負担軽減を行った。今後も教職員のニーズを的確に把握し、施設を有効に利用できるように努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理等運営事業費 14,314,972 円

[利用状況]

区 分	令和元年度	令和2年度	比 較
開 館 日 数	359日	359日	0.0%
教 職 員 施 設 利 用 者 数	延 17,982人	延 6,932人	△61.5
一 般 施 設 利 用 者 数	延 9,016	延 4,032	△55.3
計	延 26,998	延 10,964	△59.4

[各種活動]

区 分	令和元年度	令和2年度
コ ン ピ ュ ー タ 研 修	114時間 参加人員 552人	0時間 参加人員 0人
視 聴 覚 教 育 研 究	研究活動、教材・資料の作成	研究活動、教材・資料の作成
教 材 等 貸 出 利 用	映像教材貸出 217本	映像教材貸出 255本

(2) 教職員研修事業費 5,284,984 円

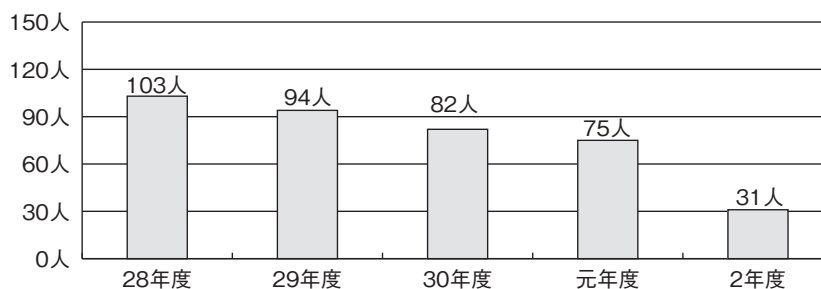
区 分	令和元年度	令和2年度
基 本 研 修	113回 参加人員 3,329人	66回 参加人員 1,893人
職 務 研 修	65 〃 2,501	41 〃 1,428
課 題 ・ 専 門 研 修	72 〃 3,497	6 〃 432
社 会 体 験 研 修 等	61か所 〃 61	0か所 〃 0

(3) 教員免許状更新講習事業費 603,881 円

内 容	令和元年度	令和2年度
	40講座 受講人員 212人	12講座 受講人員 189人

[指 標]

指 標 名：教育会館1日当たりの利用者数  
 指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 特色ある学校推進費 <特色ある学校づくりの推進>	8,145,714	0	0	0	8,145,714

1 学校づくり推進事業費 7,982,304 円 (学校教育課)

[総括]

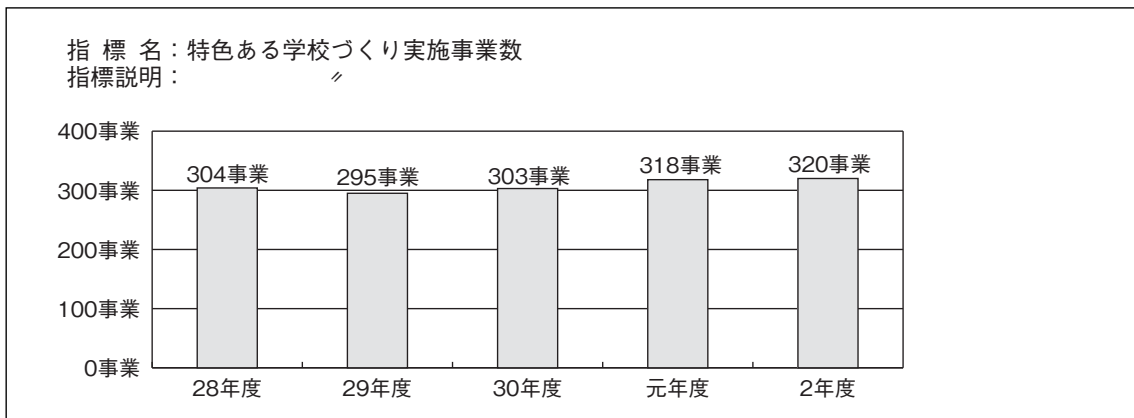
各学校が「生きる力」を育む特色ある学校づくりを主体的に推進し、豊かな心と実践力のある児童生徒を育成するため、学校行事や総合的な学習の時間等への支援を行った。また、市内を流れる川の総称を「母なる豊川」とし、児童生徒や地域の人々が川の自然、川と人の関わりについて考え、川を大切にするための教育活動を実施した。今後も各学校の事業企画内容を評価・検討し、充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 学校づくり推進事業費 7,982,304 円

区 分	令和元年度		令和2年度	
母なる豊川活用事業費	参加校	21校	参加校	26校
特色ある学校づくり推進事業費補助金	74校	8,795,135円	74校	7,982,304円

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 教育環境充実費 <教育環境の整備・充実>	256,996,454	39,828,700	0	1,505,000	215,662,754

1 私学振興事業費 41,010,700円 (教育政策課)

[総括]

私立学校等の運営の円滑化及び教育環境の向上をめざし、学校規模に応じた運営費の補助を行った。また、私立学校に通う生徒の就学を支援する国、県の制度改正に合わせ、授業料に対する市独自の助成を上乘せするとともに、補助対象範囲を拡大した。さらに新型コロナウイルス感染症により家計に影響を受けた世帯が増加していることから、学納金に対する助成を行った。今後も国、県の動向を踏まえ、私立学校の教育的意義などを考慮した施策を実施していく。

[実績及び成果]

(1) 私学運営費補助金 9,091,000円

区 分	令和元年度		令和2年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
私立高等学校(3校)	3,404人	6,404,000円	3,247人	6,247,000円
外国人学校(3校)	386	2,886,000	344	2,844,000
計	3,790	9,290,000	3,591	9,091,000

(2) 私立高等学校授業料補助金 18,840,700円

内 容	令和元年度		令和2年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
	2,099人	29,407,225円	1,913人	18,840,700円

(3) 私立専修学校等授業料補助金 504,000円

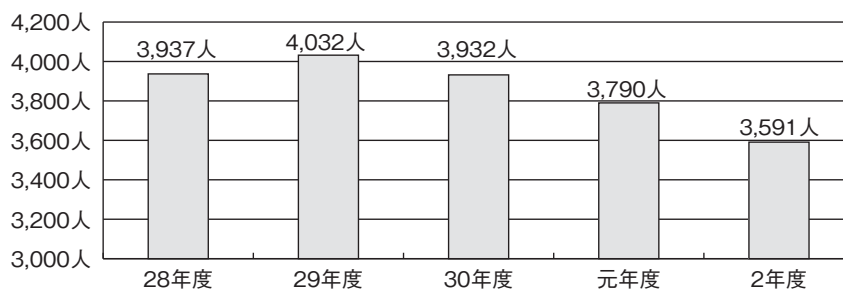
内 容	令和元年度		令和2年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
	181人	2,336,700円	51人	504,000円

(4) 私立高等学校等学納金特別補助金 12,575,000円

内 容	令和元年度		令和2年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
	—	—	2,515人	12,575,000円

[指 標]

指 標 名：私立高等学校、外国人学校在籍者数  
 指標説明：／





2 奨学支援事業費

10,357,522 円（教育政策課）

[総括]

経済的に困難を抱えながらも夢の実現に向けて努力する学生を応援するため、令和2年度は返済不要の奨学金「豊橋市未来応援奨学金」を、34人に対して給付し、将来を担う若者の進学を後押しした。今後も国の奨学金制度の動向などを踏まえながら、必要な支援を行っていく。

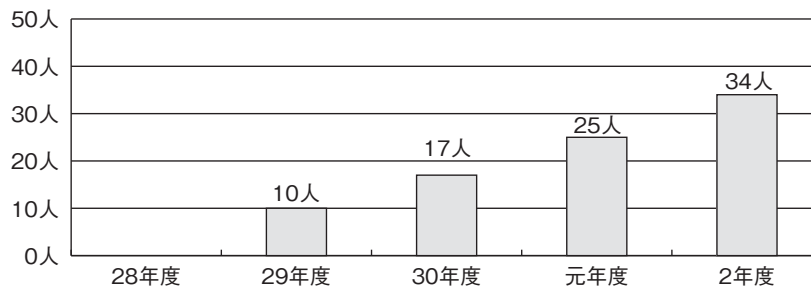
[実績及び成果]

(1) 奨学金給付事業費 10,357,522 円

受給者数	令和元年度	令和2年度
	25人	34人

[指標]

指標名：豊橋市未来応援奨学金の受給者数  
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 市立学校教育活動推進費 <市立の強みを活かした教育の推進>	815,232,339	92,693,952	286,200,000	47,445,396	388,892,991

1 くすのき特別支援学校教育推進事業費 237,242,299円 (教育政策課)

[総括]

ハローワークをはじめとした関係機関との連携を強化するとともに、引き続き学校内の農業実習施設「和(なごみ)ハウス」での農作業実習や就労支援体制の充実を図ったことにより、産業科の卒業生全員が一般就労することができた。また、豊橋市・田原市における特別支援教育のセンター的機能を持つ「くすのき相談センター」では、関係機関と連携しながら相談事業を進めている。さらに、GIGAスクール構想の実現に向けた通信ネットワーク環境の整備を実施した。今後も、すべての子どもたちが自立し、地域社会でたくましく生きることができるよう、教育環境の向上とともに、就労支援に重点を置いた学校づくりを推進する。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 135,374,492円 (5月1日現在)

区 分	令和元年度	令和2年度
学 級 数	49学級	49学級
児 童 ・ 生 徒 数	269人	267人

[施設整備]

内 容	令和元年度	令和2年度
	一般補修工事	

(2) 教育活動事業費 75,518,404円

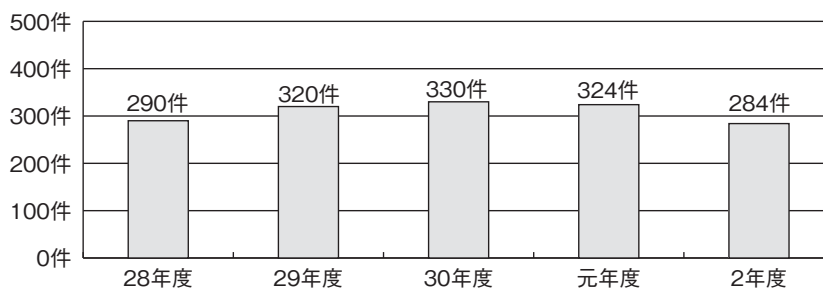
区 分	令和元年度	令和2年度
学 校 図 書 館 蔵 書 数	1,610冊	1,695冊
校務・学習・図書管理用コンピュータ費	123台 10,668,064円	125台 6,295,575円
企業向け学校見学会実施回数	1回	0回
専門分野における高等学校との共同学習実施回数	5	0
就労支援におけるサテライト実習実施回数	12	8

(3) 校内通信ネットワーク整備事業費 15,498,535円

内 容	令和元年度	令和2年度
	—	

[指 標]

指 標 名：くすのき相談センター対応件数  
 指標説明： /



2 市立高等学校教育推進事業費 140,730,428 円（教育政策課）

〔総括〕

働きながら学ぶことができる学校としての教育環境づくりを進めた。特に、教室へエアコンを設置したほか、G I G Aスクール構想の実現に向けた通信ネットワーク環境の整備を実施した。今後も、生徒一人ひとりの特性を伸ばすとともに、自ら学ぶ主体性を確立させるなど特色ある教育内容の充実を図り、東三河の定時制高校の中心的役割を果たしていく。

〔実績及び成果〕

(1) 管理事業費 29,880,404 円 (5月1日現在)

区 分	令和元年度	令和2年度
学 級 数	22学級	22学級
生 徒 数	665人	651人

〔施設整備〕

内 容	令和元年度	令和2年度
	防球ネットの更新 一般補修工事	防球ネット柱の更新 一般補修工事

(2) 教育活動事業費 75,007,608 円

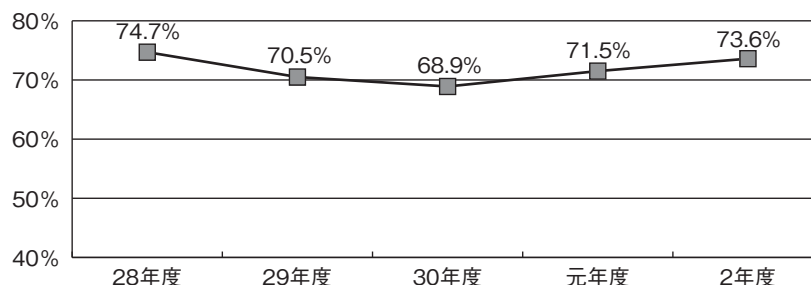
区 分	令和元年度	令和2年度
学 校 図 書 館 蔵 書 数	5,889冊	6,008冊
定時制教育教科書給与費	28人 131,113円	13人 56,678円
学習用コンピュータ費	42台 2,716,416	42台 2,543,712
心理カウンセラー相談開催日数	100日	74日
キャリア教育実施回数	25回	9回
外国人生徒教育支援日数	218日	223日

(3) 校内通信ネットワーク整備事業費 3,374,976 円

内 容	令和元年度	令和2年度
	—	アクセスポイントの設置等

〔指標〕

指標名：市立高等学校卒業資格取得率  
 指標説明：卒業生数／入学者数



3 家政高等専修学校教育推進事業費 86,001,612 円（教育政策課）

[総括]

服飾・調理に関する専門的な知識・技能の習得や、生涯を通じて必要となる教養を深めることをめざした教育活動を展開した。進路指導においては、生徒一人ひとりの個性や将来に対する夢を尊重したきめ細かい支援を行い、就職・進学率の向上を図った。とりわけ、キャリア教育研修においては、講師を招いた実践的な講座に力を入れた。また、心理カウンセラーを活用した専門的な見地からの支援にも取り組み、学校生活や進路選択での不安や悩みへの対処のみならず、自己理解やコミュニケーションスキルの向上に取り組んだ。今後も次代を担う人材育成のため、教育環境の向上や教育内容の充実に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 3,333,143 円 (5月1日現在)

区 分	令和元年度	令和2年度
学 級 数	3学級	3学級
生 徒 数	114人	107人

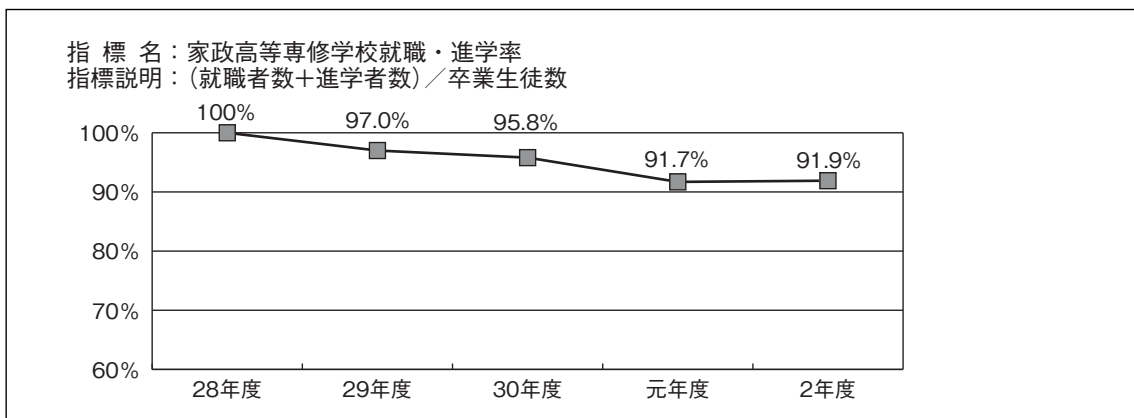
[施設整備]

内 容	令和元年度	令和2年度
	一般補修工事	一般補修工事

(2) 教育活動事業費 24,798,318 円

区 分	令和元年度	令和2年度
学校図書館蔵書数	2,593冊	2,675冊
学習用コンピュータ費	41台 2,199,960円	41台 2,252,600円
心理カウンセラー相談開催日数	24日	24日
キャリア教育実施回数	10回	6回

[指標]



4 家政高等専修学校整備事業費 351,258,000 円（教育政策課）

[総括]

生徒が安心して学習できる環境づくりのため、施設の耐久性を高める工事として、校舎長寿命化改良工事を大規模かつ効率的に実施した。

[実績及び成果]

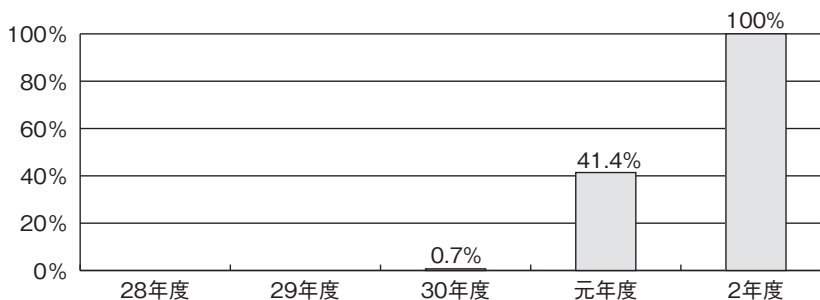
- (1) 家政高等専修学校整備事業費 351,258,000 円
    - (ア) 校舎長寿命化改良等工事 315,201,220 円
- 3 か年継続事業の最終年度 総事業費 507,415,263 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	北校舎 鉄筋コンクリート造3階建	2,362㎡	外部・内部改修 浄化槽取替
	南校舎 鉄筋コンクリート造2階建	483	外部改修

- (イ) 外構等復旧工事 29,020,200 円
- (ウ) 仮設校舎の賃借等 7,036,580 円

[指 標]

指 標 名：家政高等専修学校整備事業進捗率  
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成30年度～令和2年度）



※令和2年度の全体事業費にて、30年度から再算定

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 科学教育施設費 <科学教育環境の充実>	213,060,054	0	0	295,165	212,764,889

1 自然史博物館施設管理事業費 144,682,312 円 (自然史博物館)

[総括]

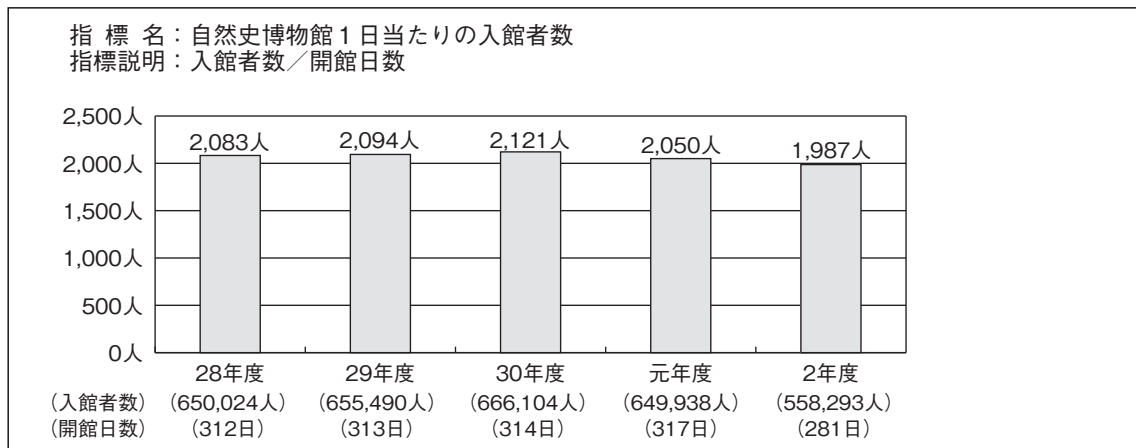
施設・設備の機能を維持・充実するため、恐竜劇場プロジェクター及び防災設備などの修繕を行った。また、自然史博物館が管理・保管する標本を適正に管理するため、収蔵庫の標本棚の増設などを行った。今後も入館者サービス向上のため、設備・展示物等の更新を含め適正な施設管理を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 57,390,337 円

区 分	令和元年度	令和2年度	比 較
開 館 日 数	317日	281日	△ 11.4%
入 館 者 数	延 649,938人	延 558,293人	△ 14.1

[指 標]



2 石巻自然科学資料館運営事業費 475,524 円 (自然史博物館)

[総括]

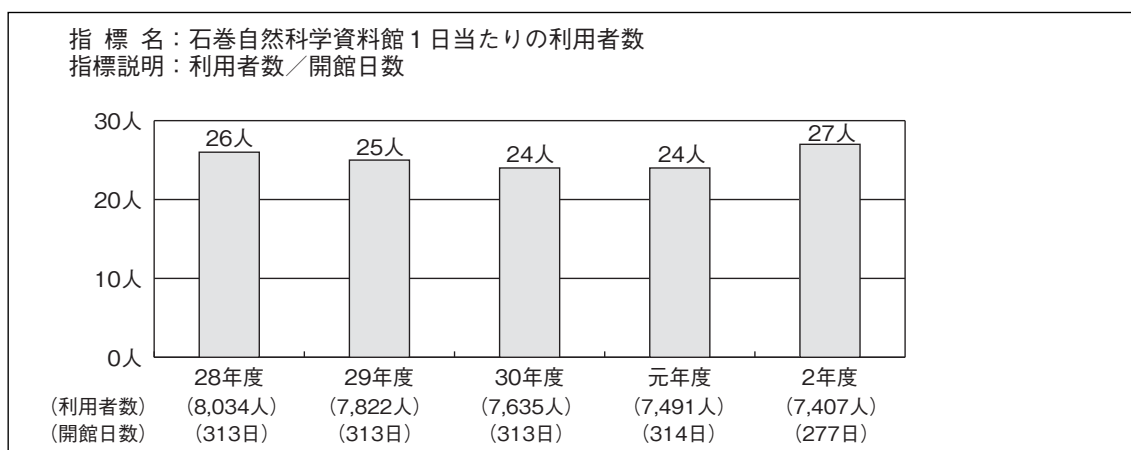
石巻山周辺の自然を観察するためのビジターセンターとして、この地域で観察できる地質と動植物等を紹介している。また、「石巻山自然観察路マップ」を配布し、利用者の利便性の向上を図った。今後も広範囲な利用者の確保と施設のPR活動に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 石巻自然科学資料館運営事業費 475,524 円

区 分	令和元年度	令和2年度	比 較
開 館 日 数	314日	277日	△11.8%
利 用 者 数	延 7,491人	延 7,407人	△ 1.1

[指 標]



3 科学教育センター施設管理事業費 67,902,218 円（科学教育センター）

[総 括]

新型コロナウイルス感染症対策のため、臨時休館(4/14～5/24:41日間)やプラネタリウムの定員制限を実施した。このため、入館者は前年度より減少したが、臨時休館期間にはプラネタリウム室前やトイレ入口の壁面塗装、館内表示の修正、展示物のレイアウト変更や清掃、飛沫感染防止用衝立の製作など、老朽化した施設・設備等の維持補修を集中的に行うことで施設の改善に努めた。今後も教育環境の計画的な整備を行い、両施設の利用促進を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 視聴覚教育センター施設管理事業費 21,693,999 円

[利用状況]

区 分	令和元年度	令和2年度	比 較
開 館 日 数	311日	274日	△11.9%
入 館 者 数	延 92,415人	延 54,759人	△40.7

[施設整備]

内 容	令和元年度	令和2年度
	展示室の空調設備導入	移動式プラネタリウムの導入、展示室出入口扉修繕、受変電設備機器の修繕

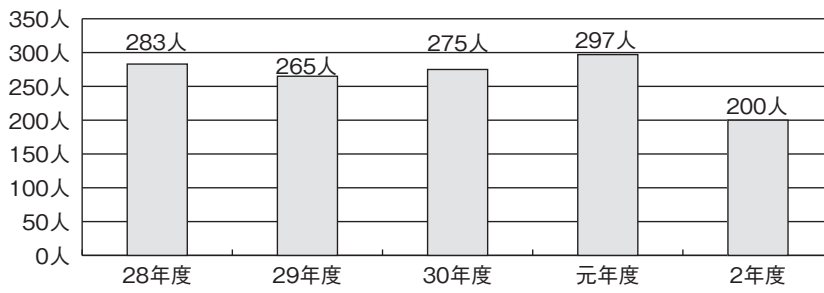
(2) 地下資源館施設管理事業費 9,981,670 円

[施設整備]

内 容	令和元年度	令和2年度
	防火排煙設備、エレベーター、空調温水配管等修繕	エントランス屋根防水修繕、展示ケース照明器具修繕

[指 標]

指 標 名：1日当たりの入館者数  
指標説明：入館者数／開館日数





科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 科学教育推進費 ＜自然科学を学ぶ機会の充実＞	63,609,374	0	0	10,892,910	52,716,464

1 自然史博物館事業費 43,167,218 円 (自然史博物館)

[総括]

自然史博物館では、自然に親しみ、正しい知識を深め、大切にすることを目的に、自然科学に関する常設展示に加え、資料収集、調査研究活動に取り組んだほか、大型映像では「ようこそ恐竜ミュージアム」等の上映、ワークショップ等を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、臨時休館（4.14～5.24：41日間）するとともに、特別企画展の開催を中止した。今後も新型コロナウイルス感染症対策を継続しつつ、博物館としての魅力向上につながる事業を実施していく。

[実績及び成果]

(1) 教育普及活動事業費 39,087,017 円

区 分	令和元年度	令和2年度
ワークショップ等	45回 参加人員 1,686人	18回 参加人員 474人
出前授業等	82 〃 2,975	71 〃 1,918
大型映像	1,188 観覧者数 48,538	762 観覧者数 27,043
企 画 展	「新収蔵資料紹介展」 会期中の入館者数 132,490人 4.20～5.26 (33日間) 「世界のタガメ」 〃 34,367 6.1～6.30 (26日間) 「ジオパークを知ろう！」 〃 142,049 7.20～9.29 (63日間) 「第15回自然史博物館自由研究展」 〃 72,302 10.12～11.10 (25日間) 「豊橋周辺の植物化石」 〃 39,472 11.16～12.15 (27日間) 「子～お正月までいくつ子る?～」 〃 58,942 12.21～1.19 (24日間) 「ボルネオの森の昆虫たち」 〃 40,676 1.25～2.23 (26日間) 「歯～動物たちも歯が命～」 〃 77,348 2.15～3.31 (41日間)	「新蔵資料 / 学芸員の研究成果紹介展」 会期中の入館者数 98,818人 7.18～8.30 (39日間) 「骨を愛でるⅡ～のんほいパークの至宝展～」 〃 83,711 9.12～10.4 (20日間) 「第16回自然史博物館自由研究展」 〃 73,890 10.31～11.29 (27日間) 「干支展 丑」 〃 38,085 12.19～1.17 (26日間) 「地球の時間、ヒトの時間-アト秒から46億年までの35桁の物語-」 〃 78,292 2.20～3.28 (32日間)

(2) 資料収集・調査研究活動事業費 4,080,201 円

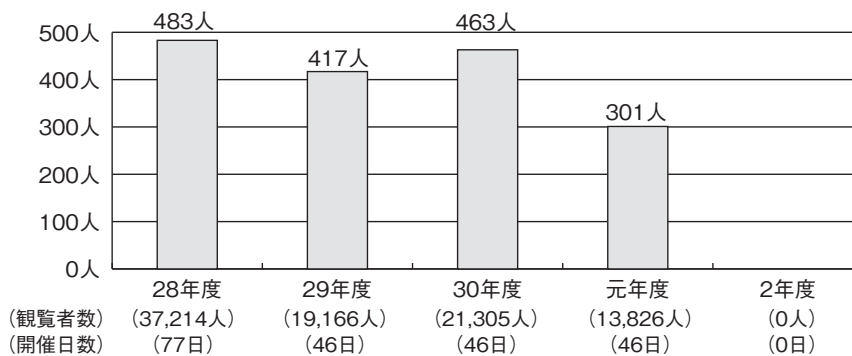
区 分		令和元年度	令和2年度
博物館資料	製作委託	鳥類等の剥製骨格標本製作 4点	鳥類等の剥製骨格標本製作 8点
	採集・寄贈	1,194点 (総数 553,414点)	1,383点 (総数 554,757点)
	図書等	1,077冊 (総数 44,009冊)	898冊 (総数 44,907冊)
研究発表(調査研究)		35.0件	35.5件

(3) 特別企画展開催事業費 0 円

区 分	令和元年度	令和2年度
特別企画展	「深海の玉手箱」	—
	7.12～9.1 (46日間)	—
	展示数 304点 観覧者数13,826人	—
関連行事	1. 解説会(1回)「深海の恵み」 参加人員 59人	—
	2. 記念講演会「チャレンジャー海淵、 なぜ世界最深の海なのか?」 〃 95	
	3. ワークショップ(2回) 〃 116	
	4. 体験イベント等「深海の圧力 実験」、「深海生物つりぼり」 〃 1,914	

[指 標]

指 標 名：特別企画展1日当たりの観覧者数  
 指標説明：観覧者数／開催日数



2 科学教育センター事業費

20,442,156 円 (科学教育センター)

[総括]

視聴覚教育センターでは、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して、小学校4年生を対象とした実験学習、プラネタリウム学習などを実施したほか、出張プラネタリウムや親子実験教室を新たに開始した。また、感染症対策として非接触型の展示会の開催も行った。地下資源館では、開館40周年記念事業として企画展「プレイバック1980 - 2020」、親子宇宙教室「人類が初めて見たブラックホールの姿」を開催したが、サイエンス番組「すイエんサー」ライブショーは新型コロナウイルス感染症拡大のため中止とした。

学習教室の中止や人数制限により参加者数が減少する中、テレワークや臨時休館を利用して制作した科学実験動画をネット配信し、科学に触れる新たな機会の提供に努めた。

今後も新たな生活様式に対応しながら、サイエンス・ボランティアと協働し、子どもから大人まで楽しめる魅力ある行事を通して、科学を学ぶ機会の充実を図っていく。

(1) 視聴覚教育センター事業費 18,283,358 円

[各種活動]

区 分	令和元年度		令和2年度	
わくわく体験活動(小学校4年生)	5月～11月	参加人員 3,477人	9月～11月	参加人員 1,853人
プラネタリウム投映	829回	観覧者数 27,449	663回	観覧者数 15,123
学 習 教 室	4月～2月(117回)	参加人員 3,399	6月～2月(30回)	参加人員 706
星 空 観 望 会	8月～2月( 6 )	〃 295	6月～3月(10 )	〃 713
展 示 会	4月～3月( 8 )	入場者数 84,667	4月～3月( 5 )	入場者数139,288

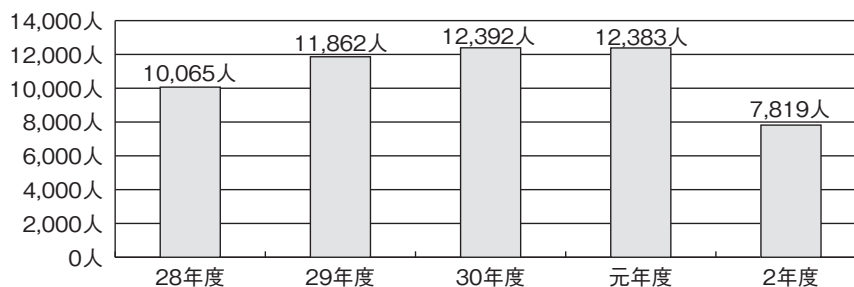
(2) 地下資源館事業費 2,158,798 円

[各種活動]

区 分	令和元年度		令和2年度	
学 習 教 室	4月～3月(270回)	参加人員 8,689人	6月～3月(256回)	参加人員 6,400人
小学生サイエンス アイデア作品展	9.21～11.10(43日間) 展示点数571点 入場者数19,130		9.19～11.8(44日間) 展示点数260点 入場者数11,404	
企 画 展	4月～9月	〃 47,588	4月～8月	〃 18,210
	3月	〃 1,111	11月～3月	〃 19,018
展 示 会	7月～9月(1回)	〃 22,505	—	

[指標]

指標名：実験・講座等参加者数  
 指標説明：学習教室と星空観望会の参加者数



※昨年度まで地下資源館のみを対象としていたが、視聴覚教育センターを加えて平成28年度から算定しなおした。

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 小 学 校 費	4,068,547,871	838,212,354	1,556,600,000	138,699,951	1,535,035,566
1目 教育環境整備費 <教育環境の整備・充実>	4,068,547,871	838,212,354	1,556,600,000	138,699,951	1,535,035,566

1 小学校管理事業費 357,730,956 円 (教育政策課)

[総括]

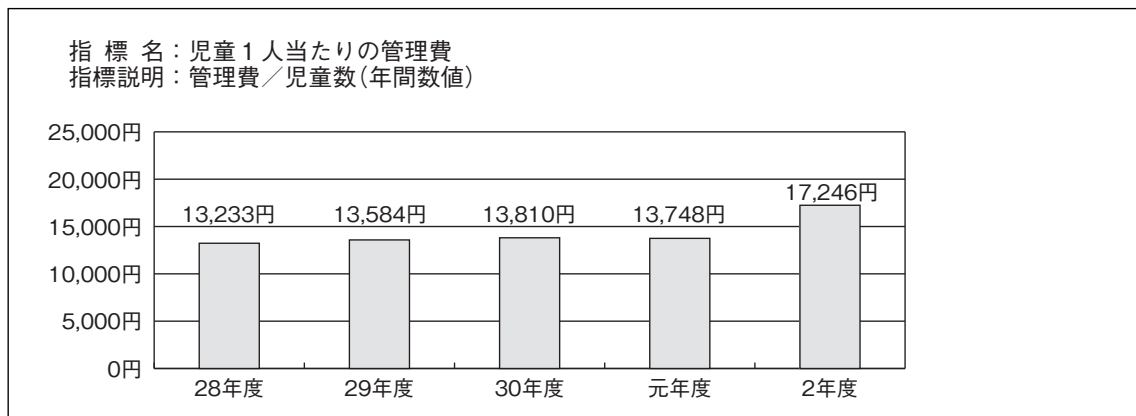
小学校の財産全般を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の確保を図った。今後も、各学校の自主自律と適切な学校経営を実現するため、学校配当予算に導入している総額裁量制予算の効率的な執行など、限られた予算の有効活用を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 357,730,956 円 (5月1日現在)

区 分	令和元年度	令和2年度
学 校 数	52校	52校
学 級 数	848学級	851学級
児 童 数	20,927人	20,743人

[指 標]



2 小学校教育推進事業費 435,277,081 円 (教育政策課・学校教育課)

[総括]

児童の情報資産を高いセキュリティ環境下で一元管理できる校務支援システムの運用を、豊橋市、豊川市、蒲郡市及び田原市の4市により共同で実施し、教師が児童と向き合う時間の確保を図った。また、国の補助制度を活用し、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら学習活動を行うために必要な備品等を購入した。今後も更なる教育環境の向上に向けて取組みを進めていく。

[実績及び成果]

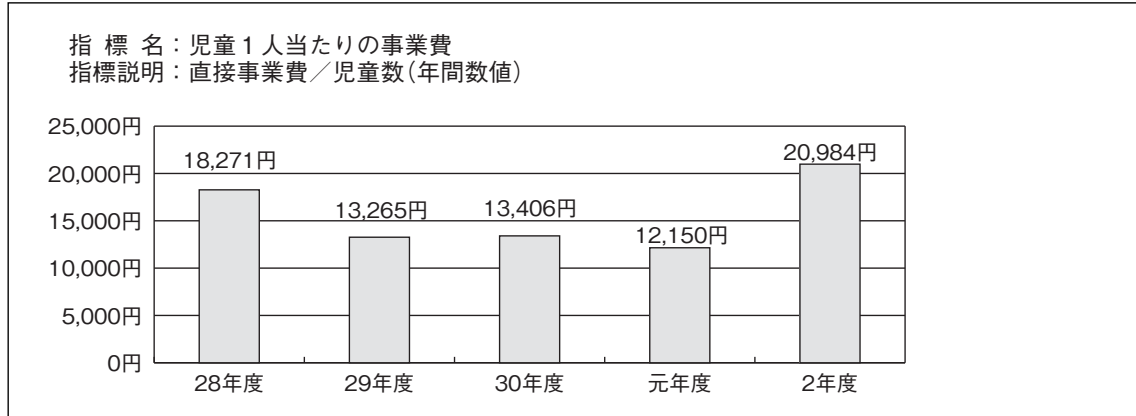
(1) 教育活動事業費 348,497,933 円

区 分	令和元年度	令和2年度
学 校 図 書 館 蔵 書 数	476,004冊	479,422冊
学 校 新 聞 発 行 部 数	年2回以上(全世帯配布または回覧) 136,660部	年2回以上(全世帯配布または回覧) 114,220部
学 校 評 議 員 数	386人	394人
緑のカーテン設置数	52校	52校

(2) 情報管理システム管理運営事業費 86,779,148 円

区 分	令和元年度		令和2年度	
校務用コンピュータ費	1,214台	19,253,156円	1,308台	45,485,539円
校務支援システム費	1,214	40,938,626	1,308	41,293,609

[指 標]



3 小学校校舎等増改築事業費 329,483,774 円 (教育政策課)

[総 括]

八町小学校では、イマージョン教育開始に伴う学校施設の狭あい化及び施設老朽化に対応するため、校舎長寿命化改良工事、プール解体工事、仮設校舎の賃借等を行った。

[実績及び成果]

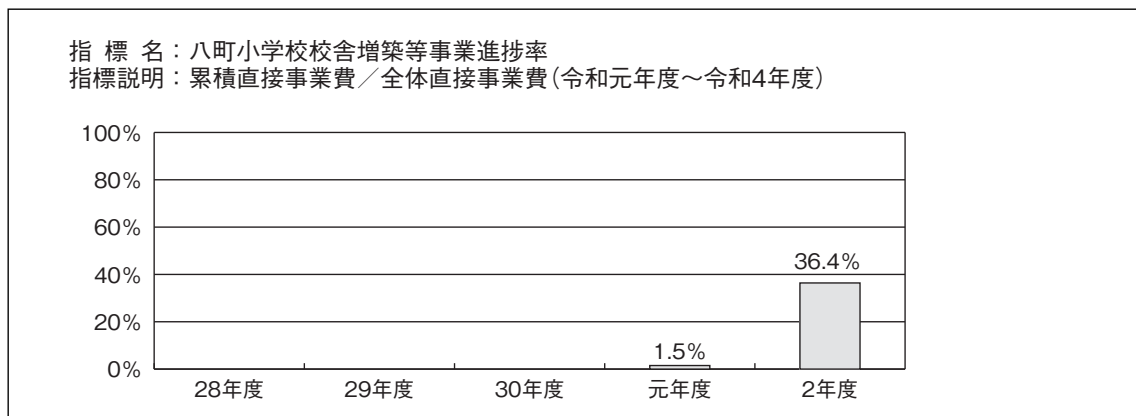
(1) 八町小学校校舎増築等事業費 329,483,774 円

- (ア) 実施設計 7,260,000 円
- (イ) プール解体工事 16,742,000 円
- (ウ) 仮設校舎の賃借等 69,531,724 円
- (エ) 校舎長寿命化改良工事 235,950,050 円

3か年継続事業の2年度 総事業費 624,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建	3,201㎡	外部・内部改修

[指 標]



※令和2年度の全体事業費にて、元年度から再算定

4 小学校校舎等長寿命化改良事業費 817,276,157 円（教育政策課）

[総括]

児童が安心して学習できる環境づくりのため、施設の耐久性を高める工事として、玉川小学校はじめ4校の校舎及び吉田方小学校の屋内運動場の改修を大規模かつ効率的に実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 玉川小学校校舎改良事業費 219,701,401 円  
 (ア) 校舎長寿命化改良工事（Ⅱ期） 208,701,401 円  
 3か年継続事業の最終年度 総事業費 338,488,815 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建	2,052㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の賃借 11,000,000 円  
 (2) 谷川小学校校舎改良事業費 168,563,985 円  
 (ア) 校舎長寿命化改良工事（Ⅱ期） 156,583,995 円  
 3か年継続事業の最終年度 総事業費 255,309,692 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造2階建	1,379㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の賃借等 11,979,990 円  
 (3) 細谷小学校校舎改良事業費 150,194,037 円  
 (ア) 校舎長寿命化改良工事（Ⅱ期） 139,392,037 円  
 3か年継続事業の最終年度 総事業費 225,332,945 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造2階建	1,165㎡	外部・内部改修

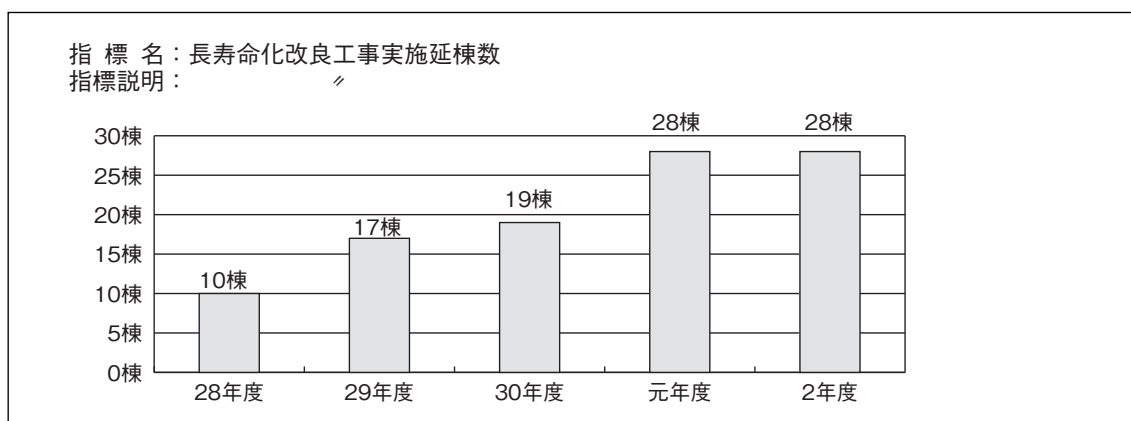
- (イ) 仮設校舎の賃借等 10,802,000 円  
 (4) 豊南小学校校舎改良事業費 183,864,744 円  
 (ア) 校舎長寿命化改良工事（Ⅱ期） 172,864,744 円  
 3か年継続事業の最終年度 総事業費 274,147,330 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	1,456㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の賃借 11,000,000 円  
 (5) 吉田方小学校屋内運動場改良事業費 94,951,990 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	753㎡	外部・内部改修

[指標]



5 小学校校舎等大規模改造事業費 726,962,053 円（教育政策課）

[総括]

児童が安心して学習できる環境づくりのため、施設の耐久性を高める工事として、飯村小学校はじめ2校の校舎及び松葉小学校屋内運動場の改修を大規模かつ効率的に実施した。経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 飯村小学校校舎改造事業費 258,425,717 円  
 (ア) 校舎大規模改造工事（Ⅱ期） 246,887,377 円  
 2か年継続事業の最終年度 総事業費 405,287,377 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造4階建	2,200㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の賃借等 11,538,340 円  
 (2) 二川南小学校校舎改造事業費 366,824,936 円  
 (ア) 校舎大規模改造工事（Ⅱ期） 342,830,096 円  
 2か年継続事業の最終年度 総事業費 561,276,606 円

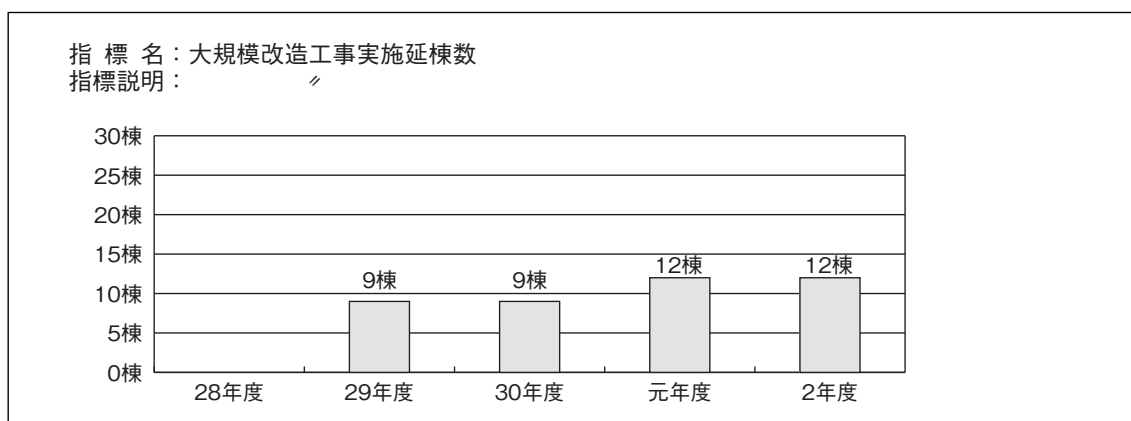
内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造4階建	3,347㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の賃借等 23,994,840 円  
 (3) 松葉小学校屋内運動場改造事業費 101,711,400 円  
 (ア) 屋内運動場大規模改造工事（Ⅱ期） 100,886,400 円  
 2か年継続事業の最終年度 総事業費 162,606,400 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	838㎡	外部・内部改修

- (イ) 物品運搬及び保管委託業務 825,000 円

[指 標]



6 小学校環境整備事業費 978,539,396 円（教育政策課）

[総 括]

各学校施設の経年劣化や不良箇所に対応するため、2校で非構造部材耐震対策工事（内壁改修等）を実施したほか、4校で今後実施予定である校舎の長寿命化改良工事の実設計を行った。また、全校でG I G Aスクール構想の実現に向けた通信ネットワーク環境の整備を実施した。今後も計画的に環境整備を行い、学校施設の維持保全に努めていく。

[実績及び成果]

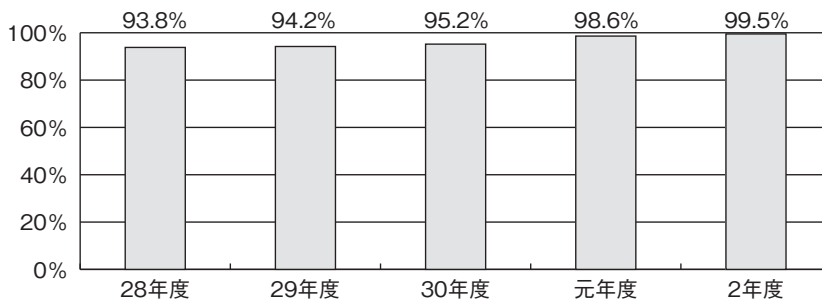
区 分	令和元年度	令 和 2 年 度	
		規模等	学 校 名
(1) 校舎等改修事業費	318,659,302円		
非構造部材耐震対策工事 （ 内 壁 改 修 等 ）	4校	2校	向山、汐田
トイレ改造工事	5	3	下地、福岡、岩西
長寿命化改良事業 実 施 設 計	10	4	幸、鷹丘、東田、向山
防犯カメラ更新	3	3	福岡、鷹丘、石巻
電気設備改修工事等	3	4	牟呂、高師、汐田、牛川
計	25	12	
(2) 一般補修事業費	65,326,450円		
	52校	52校	全校
(3) 運動場等整備事業費	42,466,600円		
運動場改修工事	一校	1校	高師
(4) 校内通信ネットワーク整備事業費	552,087,044円		
	一校	52校	全校



[指 標]

指 標 名：小学校施設整備事業進捗率

指標説明：(耐震化進捗率+強化ガラス化整備率+校内LAN整備率+トイレ改造整備率)÷4



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 中 学 校 費	1,814,138,896	378,380,226	643,200,000	30,961,346	761,597,324
1目 教育環境整備費 <教育環境の整備・充実>	1,814,138,896	378,380,226	643,200,000	30,961,346	761,597,324

1 中学校管理事業費 225,214,599円 (教育政策課)

[総括]

中学校の財産全般を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の確保を図った。また、「楽器寄附ふるさと納税」を開始し、全国から家庭等で使用されなくなった楽器の寄附を受け入れることで中学校の音楽活動を支援した。今後も、各学校の自主自律と適切な学校経営を実現するため、学校配当予算に導入している総額裁量制予算の効率的な執行など、限られた予算の有効活用を図っていく。

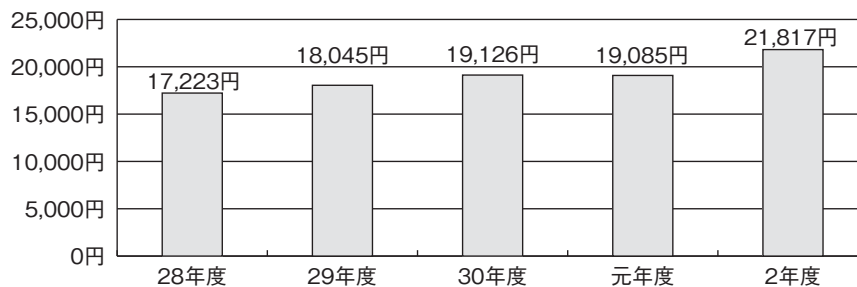
[実績及び成果]

(1) 管理事業費 225,214,599円 (5月1日現在)

区 分	令和元年度	令和2年度
学 校 数	22校	22校
学 級 数	349学級	356学級
生 徒 数	10,312人	10,323人

[指標]

指標名：生徒1人当たりの管理費  
 指標説明：管理費／生徒数(年間数値)



## 2 中学校教育推進事業費

242,940,059 円（教育政策課・学校教育課）

## 〔総括〕

生徒の情報資産を高いセキュリティ環境下で一元管理できる校務支援システムの運用を、豊橋市、豊川市、蒲郡市及び田原市の4市により共同で実施し、教師が生徒と向き合う時間の確保を図った。また、国の制度を活用し、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら学習活動を行うために必要な備品等を整備した。今後も更なる教育環境の向上に努めていく。

## 〔実績及び成果〕

## (1) 教育活動事業費

201,234,638 円

区 分	令和元年度	令和2年度
学校図書館蔵書数	320,027冊	332,242冊
学校新聞発行部数	年2回以上(全世帯配布または回覧) 97,750部	年2回以上(全世帯配布または回覧) 90,060部
学校評議員数	158人	158人
緑のカーテン設置数	22校	22校

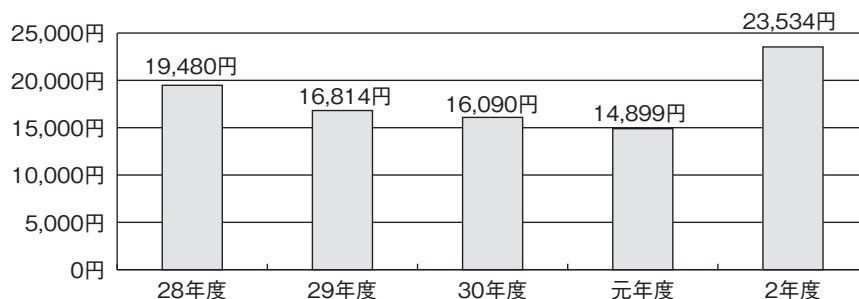
## (2) 情報管理システム管理運営事業費

41,705,421 円

区 分	令和元年度	令和2年度
校務用コンピュータ費	731台 10,108,324円	758台 24,235,041円
校務支援システム費	731 17,320,194	758 17,470,380

## 〔指標〕

指標名：生徒1人当たりの事業費  
 指標説明：直接事業費／生徒数(年間数値)



3 中学校校舎等大規模改造事業費 639,671,752 円（教育政策課）

[総括]

生徒が安心して学習できる環境づくりのため、施設の耐久性を高める工事として、本郷中学校はじめ2校の校舎の改修を大規模かつ効率的に実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 本郷中学校校舎改造事業費 385,322,439 円
  - (ア) 北校舎大規模改造工事（Ⅱ期） 166,134,039 円
  - 2か年継続事業の最終年度 総事業費 273,397,434 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造4階建	1,406㎡	外部・内部改修

- (イ) 中校舎大規模改造工事（Ⅰ期） 169,721,400 円
- 2か年継続事業の初年度 総事業費 451,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造4階建	2,930㎡	外部・内部改修

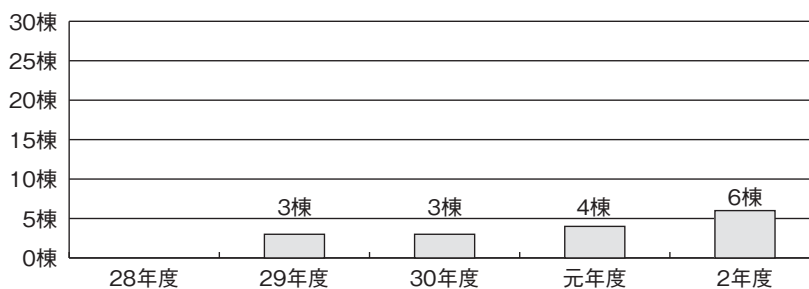
- (ウ) 仮設校舎の賃借等 49,467,000 円
- (2) 南陽中学校校舎改造事業費 254,349,313 円
  - (ア) 校舎大規模改造工事 248,365,313 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造4階建	1,134㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の賃借 5,984,000 円

[指標]

指標名：大規模改造工事実施延棟数  
 指標説明：〃



4 中学校環境整備事業費

520,765,018 円（教育政策課）

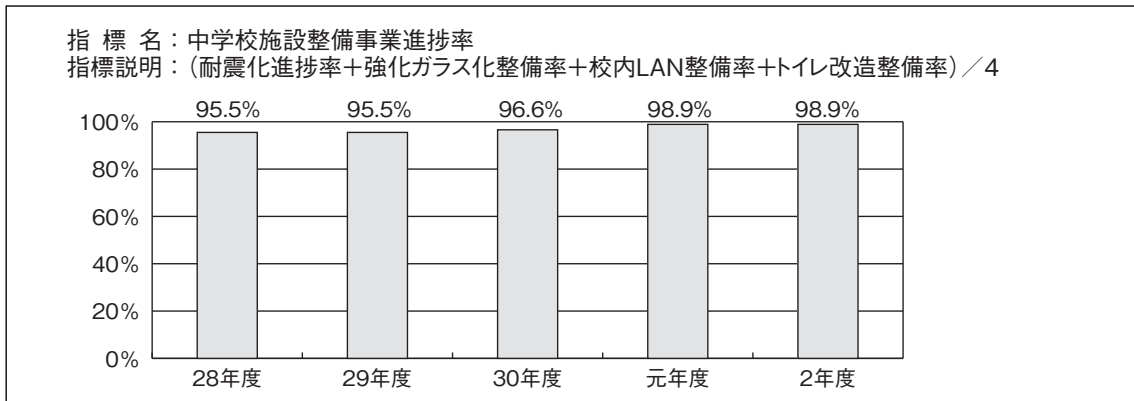
[総括]

各学校施設の経年劣化や不良箇所に対応するため、3校で非構造部材耐震対策工事（外壁改修等）を実施したほか、高豊中学校で今後実施予定である屋内運動場の長寿命化改良工事の実施設計を行った。また、全校でGIGAスクール構想の実現に向けた通信ネットワーク環境の整備を実施した。今後も計画的に環境整備を行い、学校施設の維持保全に努めていく。

[実績及び成果]

区 分	令和元年度	令 和 2 年 度	
		規模等	学 校 名
(1) 校舎等改修事業費	151,711,436円		
非構造部材耐震対策工事 （外壁改修等）	3校	3校	高師台、前芝、章南
長寿命化改良事業 実 施 設 計	3	1	高豊
トイレ改造工事	3	1	南稜
電気設備改修工事等	1	3	青陵、豊城、二川
計	10	8	
(2) 一般補修事業費	41,053,503円		
	22校	22校	全校
(3) 運動場等整備事業費	80,567,300円		
運動場改修工事	一校	1校	牟呂
(4) 校内通信ネットワーク整備事業費	247,432,779円		
	一校	22校	全校

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 社会教育費	1,973,429,716	369,604,300	149,200,000	128,851,285	1,325,774,131
2目 生涯学習機会充実費 <生涯学習機会の充実>	374,784,187	7,310,300	16,000,000	25,803,619	325,670,268

1 生涯学習推進事業費 2,020,585 円 (生涯学習課)

[総括]

多様化する市民の学習ニーズに対応するため、市内3大学や東三河市町と連携した講座を開催するとともに、地域の課題解決に向け、防災などをテーマとした講座を開催した。また、生涯学習情報紙の発行などを通して、生涯学習の普及・啓発を図るとともに、活動者の発表機会を設けるなど、生涯学習活動の振興に努めた。今後も、多彩な学習機会の提供に向けた取組みを行っていく。

[実績及び成果]

(1) 生涯学習市民大学事業費 1,616,683 円

区 分	令和元年度			令和2年度			
	事業数	参加者	回数	事業数	参加者	回数	開催場所
一 般 コ ー ス	44	988人	172回	28	500人	135回	地区市民館ほか
高 齢 者 コ ー ス	23	1,472	139	20	762	97	〃

(2) 生涯学習活動事業費 403,902 円

(ア) 生涯学習情報紙等発行事業費 363,000 円

発 行 部 数	令和元年度	令和2年度
		年2回 (公共施設等配布) 延 20,000部

(イ) 大清水まなび交流館活動発表等 0 円

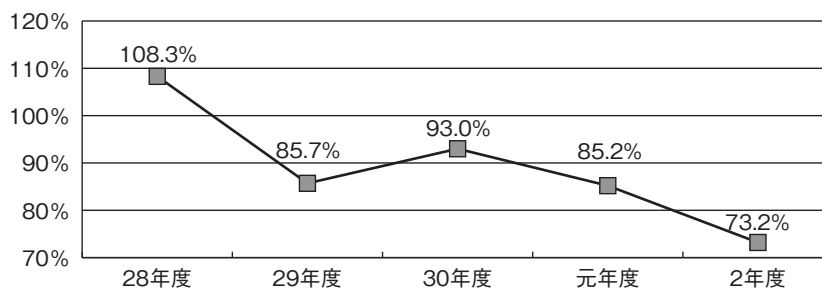
参 加 者	令和元年度	令和2年度
		1,700人

(ウ) 生涯学習活動推進大会開催事業費 40,902 円

参 加 者	令和元年度	令和2年度
		300人

[指 標]

指 標 名：生涯学習市民大学定員充足率  
 指標説明：参加者数／募集定員



2 地区市民館管理運営事業費 264,815,801 円（生涯学習課）

[総括]

市民の生涯学習施設として利用されている地区市民館を指定管理者とともに適切に管理・運営し、利用促進に努めた。今後も市民ニーズを把握しながら施設や設備等の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 地区市民館管理運営事業費（22 館） 264,815,801 円

[利用状況]

区 分	令和元年度			令和2年度			比 較 (延利用人員)
	延件数	延利用人員	延図書貸出	延件数	延利用人員	延図書貸出	
二 川	件 1,973	人 79,409	冊 42,025	件 1,307	人 42,551	冊 33,696	% △46.4
豊 岡	1,182	26,733	2,194	830	18,427	1,685	△31.1
東 陽	1,375	35,817	3,823	978	19,881	3,439	△44.5
南 稜	2,243	105,864	—	1,945	56,827	—	△46.3
青 陵	2,263	76,564	51,647	1,665	57,529	41,554	△24.9
杉 山	1,008	23,041	551	784	16,712	562	△27.5
石 巻	1,250	52,502	17,653	860	35,947	14,862	△31.5
羽 根 井	974	21,453	396	815	16,126	470	△24.8
吉 田 方	142	3,388	70	791	16,606	365	4.9倍
五 並	434	11,032	671	346	7,046	902	△36.1%
牟 呂	1,421	61,665	10,805	928	29,235	8,824	△52.6
高 豊	655	18,302	278	435	11,942	148	△34.8
北 部	1,301	27,782	7,369	725	16,644	8,853	△40.1
南 部	1,588	66,610	28,564	1,273	51,636	24,854	△22.5
豊 城	1,919	45,393	1,878	1,401	31,334	1,139	△31.0
中 部	1,390	31,116	1,107	1,052	19,397	834	△37.7
高 師 台	1,533	36,012	3,163	1,218	22,099	2,313	△38.6
東 部	1,124	26,459	946	672	15,589	571	△41.1
東 部（飯村分館）	2,908	66,672	2,343	2,168	37,063	1,744	△44.4
南 陽	1,204	24,967	932	987	17,352	478	△30.5
本 郷	1,437	36,176	986	1,150	22,899	491	△36.7
東 陵	1,527	46,903	2,995	1,063	27,156	1,767	△42.1
計	30,851	923,860	180,396	23,393	589,998	149,551	△36.1

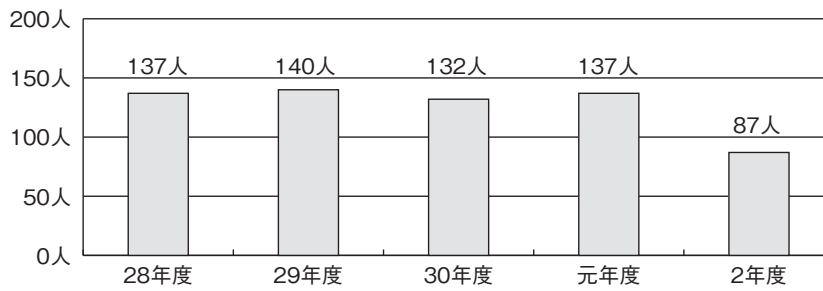
※吉田方地区市民館は、施設の大規模改修工事に伴い、令和元年6月から令和2年3月まで休館

[施設整備]

内 容	令和元年度	令和2年度
	雨漏り修繕（豊岡） 冷暖房機取替（中部） 内装修繕（二川）	

[指 標]

指 標 名：地区市民館1館1日当たりの利用者数  
指標説明：利用者数／(開館日数×地区市民館数)



3 地区市民館整備事業費 17,850,579 円 (生涯学習課)

[総 括]

施設の長寿命化や安全で快適な施設利用を図るため、石巻地区市民館において予防保全工事を行った。今後も計画的に環境整備を行い、施設の維持保全に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 地区市民館整備事業費 17,850,579 円
- (ア) 予防保全工事 (石巻) 17,850,579 円



4 青少年教育施設管理運営事業費 90,097,222 円（生涯学習課）

[総括]

青少年センターでは指定管理者による適正な管理運営のもと、青年講座や四季の行事教室、子どもチャレンジ講座など各種自主事業を実施した。また、少年自然の家と野外教育センターでは老朽設備の補修により利用者の安全確保を図るとともに、施設の一体的な管理運営を推進した。引き続き、青少年団体等の活動拠点として、施設の利用促進に努める。

[実績及び成果]

(1) 青少年センター管理運営事業費 48,262,383 円

[利用状況]

区 分	令和元年度	令和2年度	比 較
遊 戯 室	延 882人	延 370人	△58.0%
研 修 棟	延 9,642	延 5,091	△47.2
宿 泊 棟	延 287	延 58	△79.8
運 動 広 場	延 3,551	延 2,899	△18.4
体 育 室	延 14,136	延 10,879	△23.0
音 楽 室	延 2,831	延 1,239	△56.2
大 研 修 室	延 6,579	延 3,642	△44.6
多 目 的 室	延 516	延 477	△ 7.6
そ の 他	延 10,318	延 5,854	△43.3
計	48,742	30,509	△37.4

[施設整備]

内 容	令和元年度	令和2年度
	高圧気中開閉器等修繕	研修棟・宿泊棟空調機取替修繕

(2) 少年自然の家管理運営事業費 14,317,996 円

[利用状況]

区 分	令和元年度	令和2年度	比 較
管 理 棟（日帰り）	延 4,209人	延 2,038人	△51.6%
宿 泊 棟	延 2,029	延 513	△74.7
キ ャ ン プ 場	延 217	延 0	皆減
計	6,455	2,551	△60.5

[施設整備]

内 容	令和元年度	令和2年度
	中央管理棟1階指導員室床張替修繕	自動火災報知設備修繕

(3) 野外教育センター管理運営事業費 13,690,325 円

[利用状況]

区 分	令和元年度	令和2年度	比 較
本 館（日帰り）	延 5,541人	延 3,307人	△40.3%
宿 泊 室	延 4,878	延 1,301	△73.3
計	10,419	4,608	△55.8

〔施設整備〕

内 容	令和元年度	令和2年度
	非常用自家発電機設備電池等取替修繕	

- (4) 神田ふれあいセンター管理運営事業費 3,421,518 円

〔利用状況〕

内 容	令和元年度	令和2年度	比 較
利 用 者 数	延 2,572人	延 1,053人	△59.1%

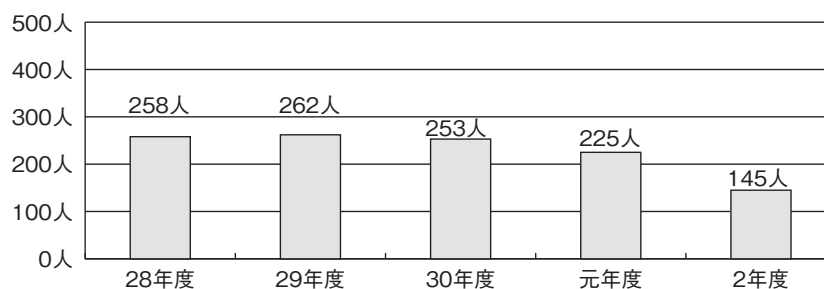
- (5) 江比間野外活動センター管理負担金 10,405,000 円

〔利用状況〕

区 分	令和元年度	令和2年度	比 較
宿 泊 利 用	延 1,672人	延 299人	△82.1%
日 帰 研 修	延 5,252	延 3,099	△41.0
キ ャ ン プ 利 用	延 1,327	延 263	△80.2
内 豊 橋 市 利 用 人 数	延 1,049	延 512	△51.2

〔指 標〕

指 標 名：青少年教育施設1日当たりの利用者数  
 指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 地域教育・家庭教育等推進費 ＜地域における生涯学習活動への支援＞	28,929,074	4,425,000	0	1,126,800	23,377,274

1 地域教育推進事業費 21,847,460円 (生涯学習課)

[総括]

地域の大人が子どもに対し多様な体験活動を提供する「トヨッキースクール」を実施したほか、放課後の新たな学びの場として、多彩な学びや交流機会を提供する「のびるん de スクール」を小学校2校で開設した。今後も学校や地域が連携して、新たな講師やスタッフ人材の発掘を行うとともに、活動内容の充実を図りながら地域教育の推進に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) 地域教育活動事業費 16,677,970円

(ア) 豊橋魅力発見講座事業費 533,000円

内 容	令和元年度			令和2年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
知っつく!豊橋ゼミナール	22	1,410人	81回	20	966人	56回	地区市民館ほか

(イ) 生涯学習推進セミナー事業費 64,000円

内 容	令和元年度		令和2年度		開催場所
	延参加者	回数	延参加者	回数	
生涯学習推進セミナー	2,547人	29回	127人	5回	校区市民館ほか

(ウ) 地域いきいき子育て促進事業費 895,500円

内 容	令和元年度			令和2年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
地域いきいき子育て促進事業	42	13,918人	535回	27	2,205人	216回	校区市民館ほか

(エ) 地域未来塾ステップ推進事業費 441,957円

内 容	令和元年度			令和2年度			
	会場数	延参加者	回数	会場数	延参加者	回数	開催場所
地域未来塾ステップ推進事業	1	182人	20回	1	208人	20回	青少年センター

(オ) トヨッキースクール推進事業費 1,296,300円

内 容	令和元年度			令和2年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
トヨッキースクール推進事業	10	9,005人	219回	25	2,986人	183回	小学校ほか

(カ) のびるん de スクール推進事業費 13,447,213円

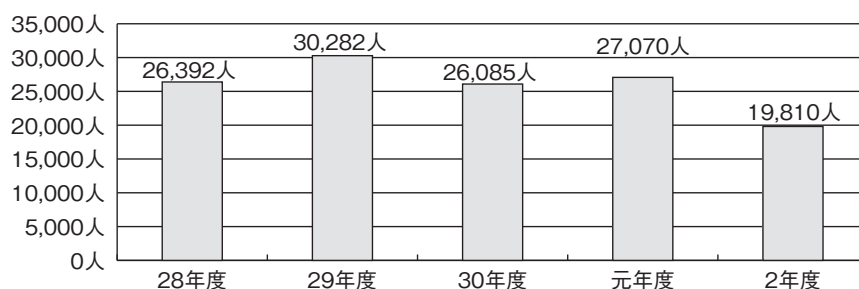
内 容	令和元年度			令和2年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
のびるん de スクール	—	—人	—回	2	13,318人	186回	小学校

(2) 成人式開催事業費 5,169,490円

内 容	令和元年度			令和2年度			
	校 区	参加者	開催か所	校 区	参加者	開催か所	開催場所
成 人 式	51	3,786人	46か所	51	3,636人	46か所	小学校体育館ほか

[指 標]

指 標 名：地域教育活動事業参加者数  
 指標説明：地域いきいき子育て促進事業等への延参加者数



2 家庭教育事業費 708,750 円（生涯学習課）

[総 括]

家庭教育に関する学習支援を充実させるため、家庭教育セミナー等を実施するとともに、学校、地域と連携した子育て学習講座を開催した。今後も学校や家庭、地域との連携を図り、地域ぐるみで子どもを育てる活動を支援するなど、保護者への効果的な学習機会を提供していく。

[実績及び成果]

(1) 家庭教育講座事業費 708,750 円

内 容	令和元年度			令和2年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
家庭教育セミナー	22	522人	27回	18	364人	23回	地区市民館ほか
子育てお悩み解決塾	10	202	10	9	224	9	地区市民館ほか
子育て学習講座	38	2,932	38	31	1,612	31	小学校
思春期家庭教育講座	1	1,212	1	0	0	0	中学校

3 青少年交流活動促進事業費 190,834 円（生涯学習課）

[総括]

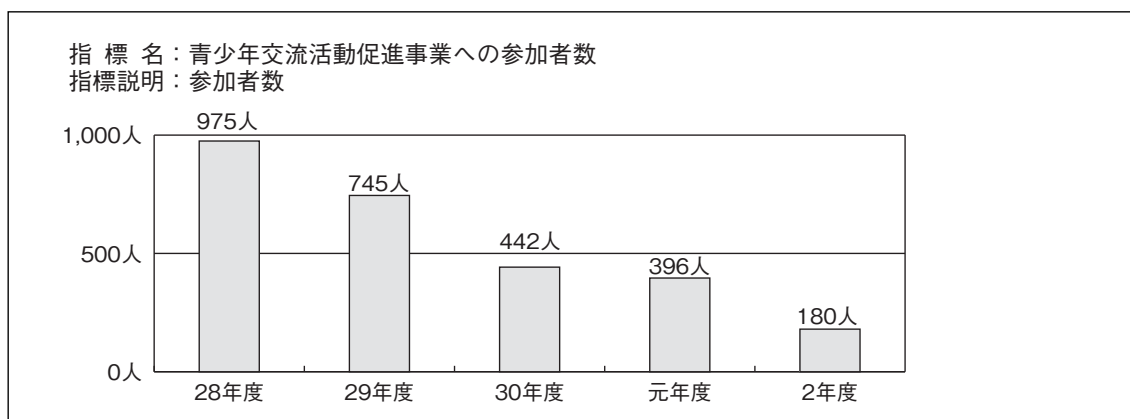
親子や家族の交流、自然体験活動の充実を図るため「自然体験プログラム」や「くろしおチャレンジプログラム」を実施した。今後も青少年の体験活動機会を充実し、交流活動の促進を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 青少年交流活動促進事業費 190,384 円

内 容	令和元年度		令和2年度		
	回 数	参加者	回 数	参加者	開催場所
自然体験プログラム遊びイベント21	14回	339人	7回	163人	少年自然の家 野外教育センター
くろしおチャレンジプログラム	3	57	1	17	少年自然の家
野外活動指導者養成講座	1	3	1	5	少年自然の家
出張講座	3	750	0	0	こども未来館ほか

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 図 書 館 費 ＜ 図 書 館 の 充 実 ＞	916,038,208	276,818,000	97,800,000	1,693,691	539,726,517

1 中央図書館事業費 375,448,066 円 (図書館)

[総括]

図書館の情報発信機能を強化するため、1階に「情報発信コーナー」を新設し、図書館の資料や情報を活用した資料展示や他部署と連携した企画展示を実施するなど、時事の話題や郷土の情報、暮らしを豊かにする情報を届け利用者層の拡大を図った。令和元年度に公開を開始した、インターネットで検索・閲覧できる「とよはしアーカイブ」に、デジタル化した図書館等所蔵の貴重な歴史的資料や郷土図書などを追加することにより、公開資料の充実を図り、市民の地域学習などを支える環境を整えた。また、本市の子ども読書活動推進の方針や取組を明らかにする「第四次豊橋市子ども読書活動推進計画」を策定した。今後も貴重な資料や有益な図書の収集に努めるとともに、多様化・高度化する図書館へのニーズに対応するため、適切なサービスの提供や環境の整備に努める。

[実績及び成果]

- |                  |              |
|------------------|--------------|
| (1) 児童図書業務費      | 11,389,592 円 |
| (2) 一般図書業務費      | 41,649,221 円 |
| (3) レファレンス業務費    | 2,519,710 円  |
| (4) 郷土・司文庫等図書業務費 | 5,660,802 円  |
| (5) AV・CD電子図書業務費 | 2,351,959 円  |

[利用状況等]

区 分	令和元年度	令和2年度	比 較
開 館 日 数	289日	251日	△13.1%
入 館 者 数	延 337,644人	延 240,417人	△28.8
館 外 貸 出 人 数	延 172,004	延 134,889	△21.6
館 外 貸 出 冊 数	延 852,267冊	延 680,214冊	△20.2
館 外 貸 出 人 数 ( C D )	延 8,253人	延 6,834人	△17.2
館 外 貸 出 点 数 ( C D )	延 15,066点	延 12,272点	△18.5
蔵 書 冊 数 ( ) 内は司文庫で再掲	693,863冊 (35,140)	686,263冊 (35,377)	△ 1.1 (0.7)
視 聴 覚 資 料 所 蔵 数	6,642点	6,723点	1.2

[資料購入状況]

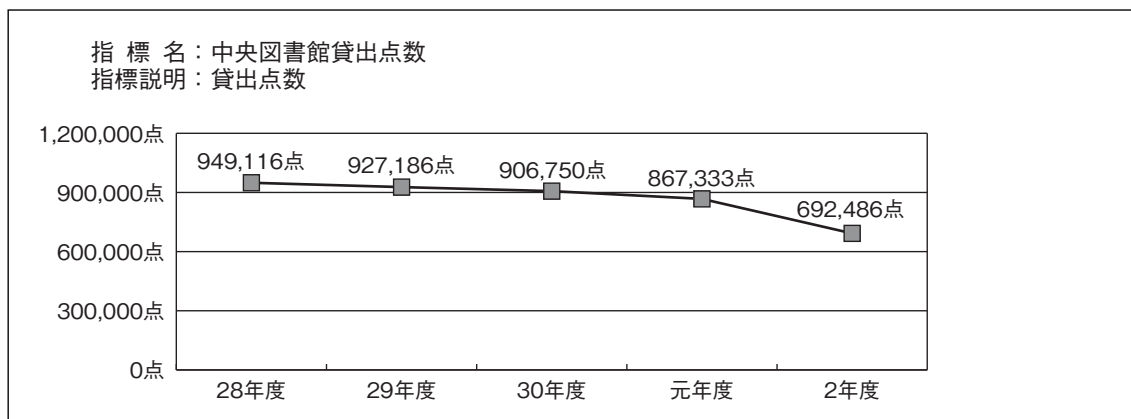
区 分	内 容	令和元年度	令和2年度	比 較
図 書	一 般	6,510冊	6,365冊	△ 2.2%
	児 童	2,355	2,482	5.4
	参 考	299	226	△24.4
	郷 土	106	92	△13.2
	司 文 庫	290	233	△19.7
	計	9,560	9,398	△ 1.7
逐次刊行物	雑 誌 等	240種	242種	0.8
	新 聞	23	24	4.3
	追 録	8	8	0.0
視 聴 覚 資 料	C D、 D V D 等	72点	84点	16.7

## (6) 行事開催業務費

8,456,323 円

区 分	令和元年度		令和2年度	
資 料 展 (司文庫展、「平和を求めて」展等)	8回	延 19,568人	7回	延 23,652人
資 料 展 関 連 行 事	6回	延 356	1回	延 14
市 民 向 け 講 座	10講座	延 693	1講座	延 29
ボランティア等育成講座、研修	5講座	延 222	3講座	延 181
講 演 会 、 コ ン サ ー ト	1回	延 44	—	—
映 画 上 映 会	4回	延 161	—	—
図 書 館 子 ども フェスタ	4月	延 476	—	—
夏休み子どもフェスティバル	7月	延 179	—	—
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート)	45回	配布人数 2,727人 (絵本等)	47回	配布人数 2,736人 (絵本等)
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート) 赤ちゃん広場	30回	延 2,538人	6回	延 181人
お は な し の へ や	340回	延 5,805	61回	延 813
調 べ 学 習 コ ン ク ー ル	33校	390	—	—
本 の リ サ イ ク ル フェア	2回	延 1,004	—	—
本 の フ リ ー マ ー ケ ッ ト	1回	延 957	—	—
情 報 発 信 コ ー ナ ー 展 示	—	—	12回	—
外 部 連 携 展 示 等	—	—	4回	—

## [指 標]



2 向山図書館事業費

38,302,636 円（図書館）

[総括]

市民からの読書相談等に迅速に対応するとともに、インターネット予約や相互貸借の周知を行い、図書館サービスの充実を図った。また、分室利用者のニーズに応じた配本業務に取り組むとともに、ネットワーク館（図書館システム設置分室）に特設コーナーを設置するなど、図書室の利用促進を図った。今後も配本機能の充実を図り、広範な市域の利用者に充実した図書館サービスを提供するように努める。

[実績及び成果]

(1) 配本業務費

33,788,760 円

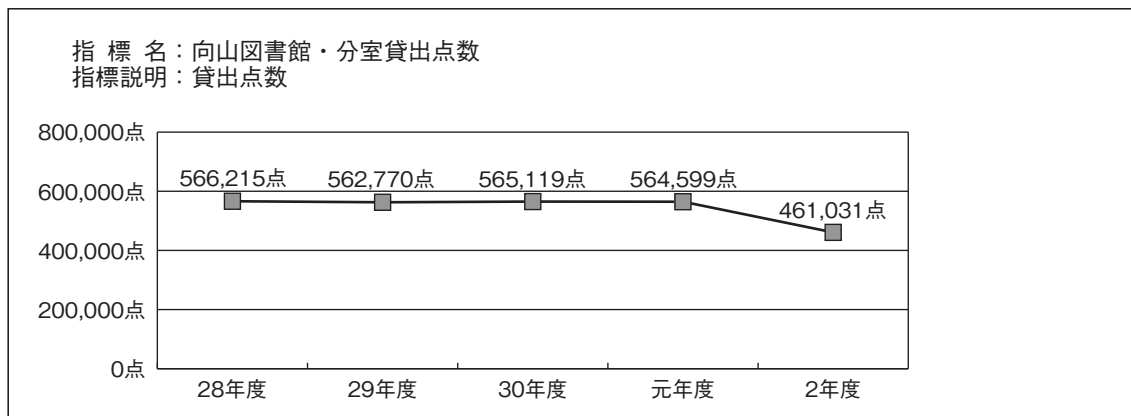
[利用状況等]

区 分		令和元年度	令和2年度	比 較
開 館 日 数		289日	251日	△13.1%
入 館 者 数		延 144,598人	延 106,614人	△26.3
館外貸出人数	向 山 図 書 館	延 73,868	延 60,238	△18.5
	分 室	延 78,558	延 64,689	△17.7
	計	延 152,426	延 124,927	△18.0
館外貸出冊数	向 山 図 書 館	延 309,929冊	延 249,569冊	△19.5
	分 室	延 254,670	延 211,462	△17.0
	計	延 564,599	延 461,031	△18.3
蔵 書 冊 数		266,243	257,475	△ 3.3

[資料購入状況]

区 分	内 容	令和元年度	令和2年度	比 較
図 書	一 般	4,888冊	3,948冊	△19.2%
	児 童	2,317	3,117	34.5
	参 考	2	1	△50.0
	郷 土	9	15	66.7
	計	7,216	7,081	△ 1.9
逐次刊行物	雑 誌	50種	47種	△ 6.0
	新 聞	10	10	0.0

[指 標]





## 3 大清水図書館事業費

40,067,991 円（図書館）

## 〔総括〕

市民の読書への関心を高めるため、読み聞かせや図書に関連したイベントを実施するとともに、学校での出前講座等の開催、高校と連携した企画展示のほか、中高生向け Twitter アカウントを新設し、中高生が興味を持ちそうな話題に特化した投稿を行うなど若年層向けサービスの充実を図った。今後も、利用者ニーズに沿った図書資料を提供し、図書館サービスの充実に努める。

## 〔実績及び成果〕

## (1) 図書業務費

8,368,821 円

## 〔利用状況等〕

区 分	令和元年度	令和2年度	比 較
開 館 日 数	289日	251日	△13.1%
入 館 者 数	延 314,493人	延 225,246人	△28.4
館 外 貸 出 人 数	延 59,024	延 45,385	△23.1
館 外 貸 出 冊 数	延 286,974冊	延 224,556冊	△21.8
館 外 貸 出 人 数 ( C D )	延 965人	延 643人	△33.4
館 外 貸 出 点 数 ( C D )	延 1,576点	延 1,051点	△33.3
蔵 書 冊 数	71,026冊	74,187冊	4.5
視 聴 覚 資 料 所 蔵 数	637点	717点	12.6

## 〔資料購入状況〕

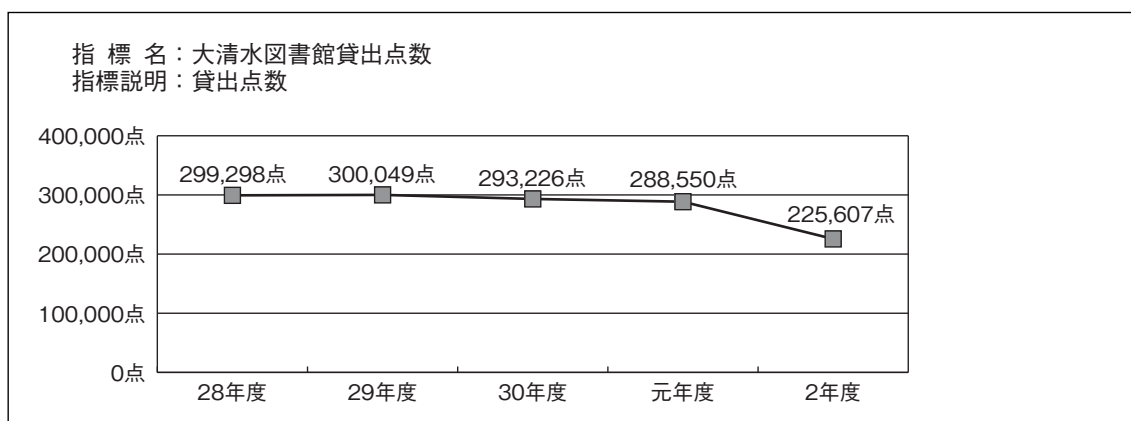
区 分	内 容	令和元年度	令和2年度	比 較
図 書	一 般	2,104冊	1,908冊	△ 9.3%
	児 童	876	1,199	36.9
	参 考	1	0	皆減
	郷 土	10	9	△10.0
	計	2,991	3,116	4.2
逐次刊行物	雑 誌 等	129種	126種	△ 2.3
	新 聞	10	11	10.0
視聴覚資料	C D、D V D 等	72点	80点	11.1

## (2) 行事開催業務費

2,871 円

区 分	令和元年度	令和2年度
市 民 向 け 講 座	1講座 延 77人	—
ミ ナ ク ル ま つ り	11月(1日間) 延 142	11月(1日間) 延 155人
お は な し の へ や	65回 延 1,123	22回 延 367
図 書 館 を 知 ろ う	4校 延 124	2校 延 81
外 部 連 携 展 示 等	—	2回

[指 標]



4 まちなか図書館(仮称)整備事業費 439,219,681 円 (図書館)

[総 括]

まちなか図書館の開館に向けて内装工事に着手したほか、引き続き地域連携等促進事業を実施し、図書館と連携する地域人材との関係構築及び市民理解の促進を図った。また、「知と交流の創造拠点」としての機能を充実させるため、館内を「ウェルカムゾーン」「アクティブゾーン」「グロウアップゾーン」「リラクゼーションゾーン」「ラーニング・クリエイティブゾーン」という、それぞれの特徴を持った5つのゾーンに分け、各ゾーンの利用者層を意識した図書を選定し順次購入した。

[実績及び成果]

(1) まちなか図書館(仮称)整備事業費 439,219,681 円

(ア) まちなか図書館(仮称)整備工事等 196,900,000 円

2か年継続事業の初年度 総事業費 1,338,400,000 円

構 造	内 容	延床面積
鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下1階、地上24階建、 塔屋2階付のうち2階及び3階	図書館機能 一般開架、児童開架、事務・作業スペース その他機能 ワークショップスペース、カフェ等	4,130㎡

(イ) 地域連携等促進事業 100,372 円

(ウ) 図書購入費等 60,705,309 円

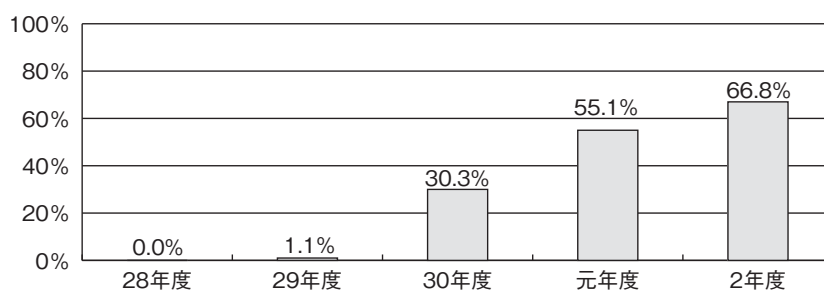
[資料購入状況]

区 分	内 容	令和元年度	令和2年度
図 書	一 般	—	25,753冊
	児 童	—	7,571
	計	—	33,324

(エ) 保留床取得 181,514,000 円

[指 標]

指 標 名：まちなか図書館(仮称)整備事業進捗率  
指標説明：累積事業費／全体事業費(平成28年度～令和3年度)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5日 美術博物館費 ＜美術博物館の充実＞	215,402,053	0	0	30,577,527	184,824,526

1 美術博物館事業費 207,436,492 円 (美術博物館)

[総括]

新型コロナウイルス感染症の影響により、「芳年展」、「第8回トリエンナーレ豊橋」、「愛知県美術館・愛知県陶磁美術館移動美術館」が中止となったが、それらに代わり、収蔵作品による「ゆったり、美術館散歩」、「トリエンナーレ豊橋受賞作品展」、「暮らし・アート」を開催した。「吉田城と三河吉田藩」、「手塚治虫展」は予定通り開催し、新たな研究成果の提示や漫画文化の歴史をたどる展示が好評を博した。また、展覧会に関連する講演会やギャラリートークのほか、トークライブ生配信やSNSを利用した参加型イベント、アニメ上映付きコンサートなど教育普及活動を行った。

施設整備については、館内の環境整備と長寿命化改修にかかる改修事業者選定支援業務委託を締結し、設計施工業者選定の準備を進めた。

今後も地域の歴史や美術に関する資料を中心に、収集、調査・研究、公開等を継続的に行い、芸術文化振興に努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 38,675,955 円

[利用状況]

区 分	令和元年度	令和2年度	比 較
開 館 日 数	310日	273日	△11.9%
企 画 展	7件 延122,187人	8件 延 66,007人	△46.0
共 催 展	6 延 6,306	5 延 4,646	△26.3
一 般 展	54 延 52,578	36 延 29,790	△43.3
テ ー マ 展 示	— —	2 延 7,295	皆増
公 開 講 座 等	21 延 1,812	19 延 1,910	5.4
計	182,883	109,648	△40.0

[施設整備]

内 容	令和元年度	令和2年度
	施設設備等改修基本設計	

(2) 展覧会事業費 39,217,772 円

(ア) 展覧会開催事業費 34,956,239 円

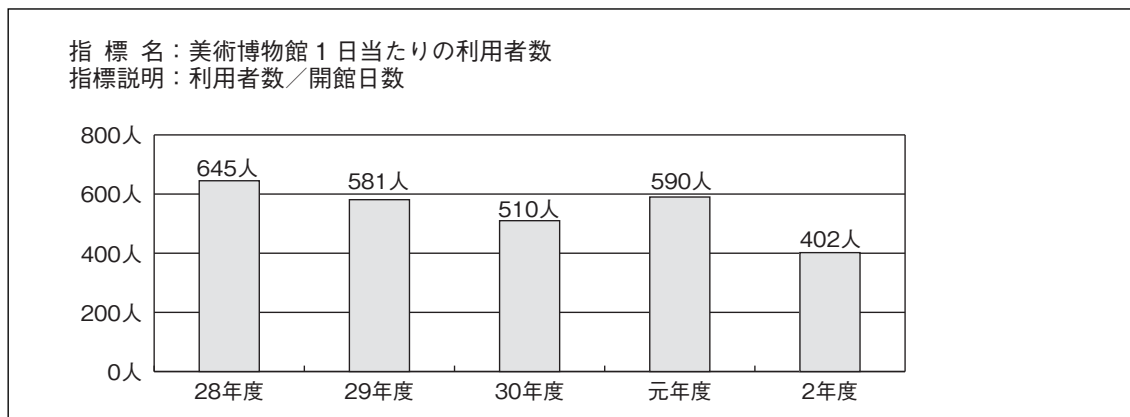
令和元年度		令和2年度		入場者数 比較
展覧会名	延入場者数	展覧会名	延入場者数	
第41回豊橋美術展	3,939人	第42回豊橋美術展	2,770人	△29.7%
第69回豊橋市民展	3,221	第70回豊橋市民展	2,369	△26.5
「豊橋」をものがたる100点	13,750 (2回25人)	美術博物館コレクション展 「暮らし・アート」	3,516 (2回26人)	—
開館40周年記念 「魔法の美術館」	33,511 (18回621人)	「手塚治虫展」	18,991 (12回1,583人)	—
開館40周年記念 ストラス ブール美術館展 印象派からモダンアートへの眺望	6,902 (3回252人)	日本画を拓く作家たち ～トリエンナーレ豊橋受賞 作品展～	1,549	—
開館40周年記念 豊橋市美 術博物館コレクション名品展 「ナイン・ストーリーズ」	3,429 (61回849人)	美術博物館コレクション展 「ゆったり、美術館散歩」	2,208	—
未来へつなぐ災害の歴史	1,855 (4回59人)	吉田城と三河吉田藩	3,587 (4回247人)	—
常設展	55,580	常設展	26,665	△52.0
延601日	122,187 (88回1,812人)	延564日	61,655 (18回1,856人)	△49.5

※ ( ) は記念講演会等の開催回数及び参加人数で外書き

(3) 資料収集事業費 959,600 円

区分	令和元年度	令和2年度
美術資料	丸木位里 日本画 「瀧」等 3点	—
歴史資料	生田何右衛門宛渡辺華山書状等 7件	稲田文笠「雉子芍薬図・ 孔雀牡丹図」等 18件

[指標]



2 民俗資料収蔵室運営事業費 3,811,138 円（美術博物館）

[総括]

民俗資料収蔵室として活用する旧多米小学校は、昭和 19 年に木造校舎として建てられ、当時のたたずまいを思い起こさせる歴史的な価値を備えており、平成 28 年には収蔵室本棟、西棟が国登録有形文化財に登録された。市内に唯一残る木造校舎として魅力の発信、建物の有効活用に努めており、民俗資料を活用した小学生の体験教室にも利用されている。令和 2 年度は新型コロナウイルスの影響で、団体利用者が減少したが、地域に根ざした集客の工夫によって、個人利用に広がりを見せている。今後も、将来に向けての保存及び活用方法を検討し、利用者の拡大を図る。

[実績及び成果]

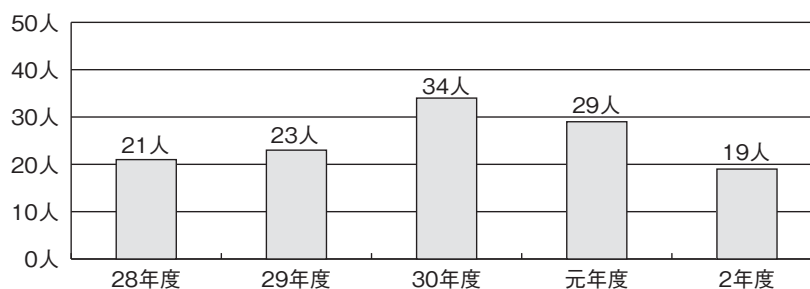
(1) 民俗資料収蔵室運営事業費 3,811,138 円

[利用状況]

区 分	令和元年度	令和 2 年度	比 較
開 室 日 数	158日	118日	△25.3%
延 入 室 者 数	4,541人	2,264人	△50.1

[指 標]

指 標 名：民俗資料収蔵室 1 日当たりの利用者数  
 指標説明：利用者数／開室日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 歴史資源保存活用費 <歴史資源の保存と活用>	95,239,357	0	0	4,361,330	90,878,027

1 二川宿本陣資料館事業費 74,405,695 円 (美術博物館)

[総括]

東海道を中心とした江戸時代の交通、地域の歴史や文化を紹介するため、常設展示をはじめ、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった「竹久夢二展」の代わりに常設企画展を充実させ開催した「旅人は伊勢をめざす～お伊勢まいるの歴史～」、近代の豊橋を振り返る「街の移ろい～地図と絵葉書にみる豊橋の明治・大正・昭和～」、正月を彩る「十二支と新春の風景展」などの企画展、毎年恒例の「ひなまつり」などを開催したほか、展示資料収集、調査研究活動に取り組んだ。

今後、新型コロナウイルス感染対策を講じながら、集客を見込める魅力的かつ画期的な企画展の開催に努めるとともに、イベント等開催にあたって地域住民との更なる連携に努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 33,063,178 円

[利用状況]

区 分	令和元年度	令和2年度	比 較
開 館 日 数	311日	274日	△11.9%
延 入 館 者 数	36,032人	14,000人	△61.1

(2) 展覧会事業費 5,051,063 円

(ア) 展覧会開催事業費 3,262,267 円

令 和 元 年 度		令 和 2 年 度	
区 分	延入館者数	区 分	延入館者数
「豊橋」をものがたる100点	3,222人	竹久夢二展	—
ジュディ・オング倩玉 木版画の世界展	12,643	街の移ろい～地図と絵葉書にみる豊橋の明治・大正・昭和～	2,154人
江戸時代の旅と温泉展	2,415	十二支と新春の風景展	1,456
常設企画展 2回	4,979	常設企画展 2回 (旅人は伊勢をめざす～お伊勢まいるの歴史～ 1回)	3,138
記念講演会等 2	177	記念講演会等	—
計	23,436	計	6,748

## (イ) 琴のしらべ開催等事業費 917,525 円

令和元年度		令和2年度	
区 分	延入館者数等	区 分	延入館者数等
五月人形展－端午の節句－	会期中入館者 2,585人	五月人形展－端午の節句－	会期中入館者 186人
琴のしらべ・本陣茶会	入館者 296	琴のしらべ・本陣茶会	—
ほんじん講座	受講者 22	ほんじん講座	—
七夕の節句	会期中入館者 941	七夕の節句	会期中入館者 372
夏休み本陣体験講座 「江戸時代の旅体験」	参加者 6	夏休み本陣体験 「本陣のお化け屋敷」	参加者 44
本陣体験講座 「和本を作ろう」	参加者 30	本陣体験講座 「和本を作ろう」	参加者 12
菊の節句－重陽－	会期中入館者 784	菊の節句－重陽－	会期中入館者 342
本陣古文書講座	参加者 212	本陣古文書講座	参加者 53
本陣体験講座 「つるし飾り作り講座」	参加者 22	本陣体験講座 「つるし飾り作り講座」	—
本陣体験講座 「春の七草の寄せ植えをしよう」	参加者 16	本陣体験講座 「春の七草の寄せ植えをしよう」	—
春の七草展－人日の節句－	会期中入館者 828	春の七草展－人日の節句－	会期中入館者 407
ひなまつり	会期中入館者 8,667	ひなまつり	会期中入館者 5,337
本陣句会	応募者 130	本陣句会	応募者 57

## (3) 資料収集事業費 902,980 円

内 容	令和元年度	令和2年度
	東海道五十三次 草津 隸書版等11点	日本三景之内紀州和歌之浦之勝景等20点

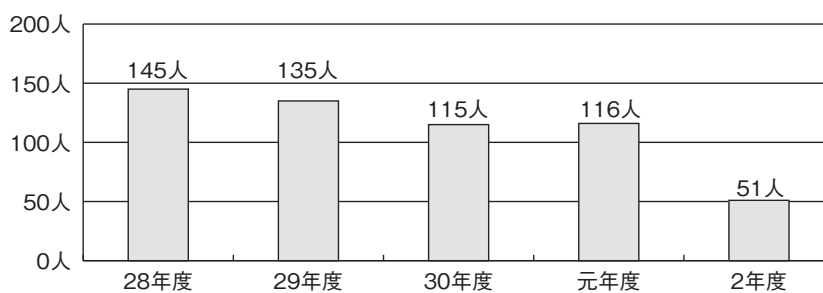
## (4) 二川宿本陣まつり（大名行列）開催事業補助金 0 円

補 助 金	令和元年度	令和2年度
	4,400,000円	—

## [指 標]

指 標 名：二川宿本陣資料館1日当たりの入館者数

指 標 説 明：入館者数／開館日数





2 商家「駒屋」事業費

20,833,662 円（美術博物館）

〔総括〕

地域の交流、生涯学習、観光の拠点となる体験型施設として、駒屋横丁「駒屋であそびん」や和創作、二川宿本陣資料館と連携した五節句などの各種イベントを定期的に開催した。また、カフェでの飲食提供や、ショップでの手作り小物や駄菓子、土産物などの物品販売を行い、地域住民や観光客の集客に努めた。

今後も、地域資源を活用し、住民と行政が協働して魅力ある施設として入館者増に努める。

〔実績及び成果〕

(1) 施設管理事業費 20,833,662 円

〔利用状況〕

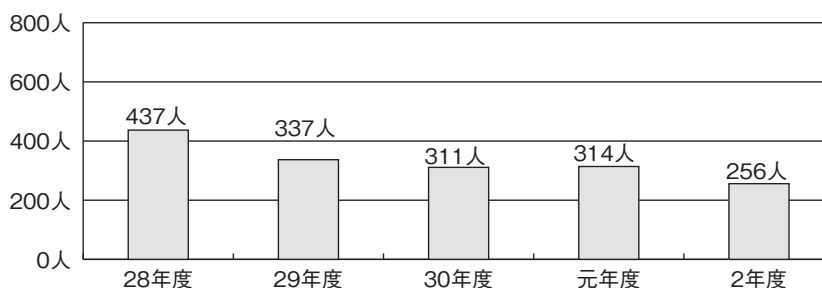
区 分	令和元年度	令和2年度	比 較
開 館 日 数	311日	274日	△11.9%
延 入 館 者 数	97,667人	70,162人	△28.2

〔主なイベント開催状況〕

令和元年度		令和2年度	
区 分	延入館者数等	区 分	延入館者数等
こまやふえす	入 館 者 2,674人	こまやふえす	—
お盆でナイト	会期中入館者 882	お盆でナイト	—
ひなまつり	会期中入館者 21,924	ひなまつり	会期中入館者 17,259人

〔指 標〕

指 標 名：商家「駒屋」1日当たりの入館者数  
 指標説明：入館者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 文化財保護活動費 <文化財保護活動の担い手の育成>	202,022,854	81,051,000	13,600,000	62,771,118	44,600,736
1 文化財保護事業費		202,022,854 円 (美術博物館)			
[総括]					
<p>市内に所在する埋蔵文化財の発掘調査や指定・登録文化財に関する各種調査、指定文化財の修理費等に対する助成や普及・活用のための事業を行った。また、文化財を活用した展示や講座の開催、国史跡・馬越長火塚古墳群の活用整備に向けた確認調査、国史跡・瓜郷遺跡の用地購入に係る事業を行った。</p> <p>今後も、発掘調査事業や指定文化財の修理等に適切に対応し、文化財保護活動を推進していく。</p>					
[実績及び成果]					
(1) 文化財調査事業費		192,017,883 円			
(ア) 市内遺跡発掘調査					
内 容	令和元年度		令和2年度		
	石塚貝塚ほかの確認調査および小谷遺跡・坂井遺跡の発掘調査		牛川焼窯址の確認調査および大西遺跡・飽海遺跡の発掘調査		
(イ) 牛川西部地区緊急発掘調査					
内 容	令和元年度		令和2年度		
	西側北遺跡・西側古墓の発掘調査		東側遺跡・西側古墓・西側北遺跡の発掘調査		
(ウ) 牟呂坂津地区緊急発掘調査					
内 容	令和元年度		令和2年度		
	境松遺跡・坂津寺貝塚・内田貝塚の発掘調査		境松遺跡の発掘調査		
(エ) 吉田城址確認緊急調査					
内 容	令和元年度		令和2年度		
	吉田城址の確認緊急調査および石垣測量調査		吉田城址の確認緊急調査および石垣測量調査		
(オ) 馬越長火塚古墳群確認調査					
内 容	令和元年度		令和2年度		
	調査に向けた準備		馬越長火塚古墳・大塚南古墳の確認調査		
(カ) 報告書作成業務					
内 容	令和元年度		令和2年度		
	埋蔵文化財調査報告書第151・152・153・154集の作成		埋蔵文化財調査報告書第155集の作成		
(キ) 埋蔵文化財緊急発掘調査					
内 容	令和元年度		令和2年度		
	橋良遺跡・野添遺跡ほかの試掘確認調査		西上遺跡・大西遺跡ほかの試掘確認調査		

(ク) 指定天然記念物植生調査

内 容	令和元年度	令和2年度
	葦毛湿原・ナガバノイシモチソウ自 生地の植生調査や回復作業	葦毛湿原・ナガバノイシモチソウ自 生地の植生調査や回復作業

(ケ) 史跡瓜郷遺跡公園整備用地購入費

内 容	令和元年度	令和2年度
	史跡瓜郷遺跡の指定地内の用地の購 入	史跡瓜郷遺跡の指定地内の用地の購 入に係る事業

(2) 文化財保存事業補助金 1,494,000 円

内 容	令和元年度	令和2年度
	愛知大学公館の修理	お葉付公孫樹環境整備 正圓寺木造 地藏菩薩立像および普門寺釈迦如来 坐像の修理

(3) 文化財保存活用事業費 8,510,971 円

(ア) 文化財展示公開等事業費

内 容	令和元年度	令和2年度
	「カワイイ！キレイ！カッコイイ！ 発掘されたもようとかたち展」を開催	「飽海遺跡展」を開催

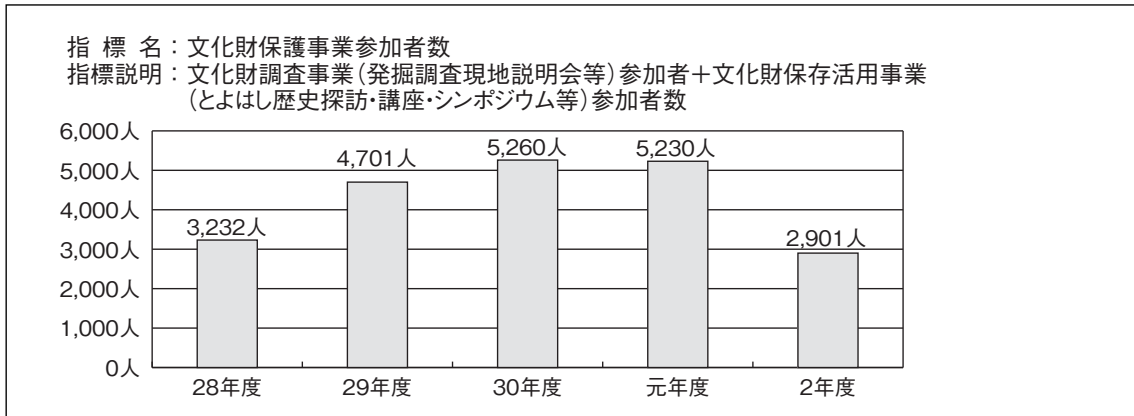
(イ) とよはし歴史探訪等開催事業費

内 容	令和元年度	令和2年度
	文化財めぐりや史跡めぐりなど現地見 学、勾玉づくりなど体験講座を開催	現地見学（歴史的建造物めぐり・戦 争遺跡めぐり）、勾玉づくりなど体 験講座を開催

(ウ) 埋蔵文化財活用事業費

内 容	令和元年度	令和2年度
	企画展「遺跡でプラトヨハシ」、とよはし シンポジウム「池田輝政の吉田城」を開催	企画展「歴史を守れ!丸地古城の挑戦」 を開催 埋蔵文化財説明看板の設置

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5項 保健給食費	3,451,039,765	45,871,014	15,000,000	1,482,743,449	1,907,425,302
2目 子どもの健康増進費 <子どもの心と体の健康増進>	3,346,105,680	45,871,014	15,000,000	1,482,743,449	1,802,491,217

1 学校保健事業費 174,648,016 円 (保健給食課)

[総括]

児童生徒及び教職員の健康状態を把握し、疾病の早期発見に努めるとともに、児童生徒が安全かつ健康的な学校生活を送れるよう学校環境の衛生管理を行った。今後も各学校や関係機関と連携し、効率的・効果的な健康診断の実施や、学校環境衛生検査の基準超過校への事後措置の徹底を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 学校健康診断事業費 136,535,982 円

(ア) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師報酬 102,050,750 円

区 分		人 員	
		令和元年度	令和2年度
学 校 医	内 科	81人	81人
	耳 鼻 科	14	13
	眼 科	13	13
学 校 歯 科 医		84	84
学 校 薬 剤 師		39	39
計		231	230

(イ) 健康診断費 34,485,232 円

区 分	対 象	令和元年度	令和2年度	比 較
検 尿	児 童 生 徒	31,481人	33,105人	5.2%
心 電 図 検 査	小中高各1年・小4年・その他	10,681	7,101	△33.5
就 学 時 健 診	入 学 予 定 児	3,294	3,211	△ 2.5
教 職 員 健 診	全 員	8,257	5,476	△33.7

(2) 学校保健推進事業費 3,850,627 円

(ア) 学校保健会補助金 636,118 円

(3) 学校事故災害給付金等請求事業費 31,050,275 円

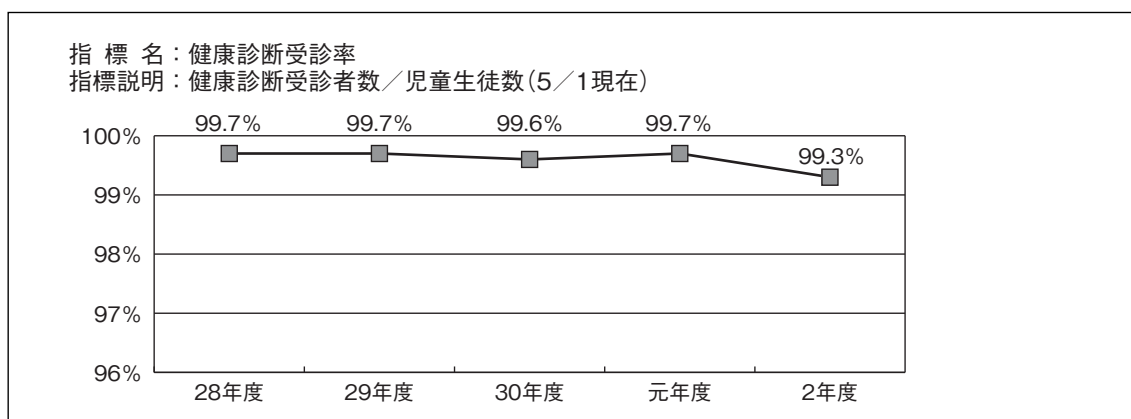
(ア) 日本スポーツ振興センター共済掛金負担金 30,421,185 円

(4) 学校結核予防事業費 3,211,132 円

区 分	児 童 生 徒			教 職 員		
	令和元年度	令和2年度	比 較	令和元年度	令和2年度	比 較
間 接 撮 影	295人	0人	皆減	1,943人	0人	皆減
直 接 撮 影	244	428	75.4%	2	1,926	963倍
事 後 措 置	6	0	皆減	0	0	—

※令和2年度から、高校生・教職員はすべて直接撮影に移行

[指標]



2 共同調理場運営事業費 1,314,939,998 円（保健給食課）

[総括]

小学校 52 校、中学校 22 校、特別支援学校 1 校の児童生徒に安全な給食を提供するため、衛生管理に十分配慮した調理を行うとともに、施設設備の充実改善に努めた。今後も給食物資について、生産者の顔が見える安全・安心で新鮮な地場産物の活用を推進するとともに、栄養価を考慮しながらおいしい給食を提供するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 共同調理場運営事業費（南部） 243,278,276 円

令和元年度				令和2年度				食数比較
小学校	13校	5,452人	延1,433,978食	小学校	13校	5,280人	延1,457,451食	
中学校	5	2,849		中学校	5	2,858		
特別支援学校	1	402		特別支援学校	1	401		

(2) 共同調理場運営事業費（北部） 531,663,898 円

令和元年度				令和2年度				食数比較
小学校	13校	5,074人	延1,288,133食	小学校	13校	5,090人	延1,346,992食	
中学校	6	2,777		中学校	6	2,801		

(3) 共同調理場運営事業費（西部） 146,248,566 円

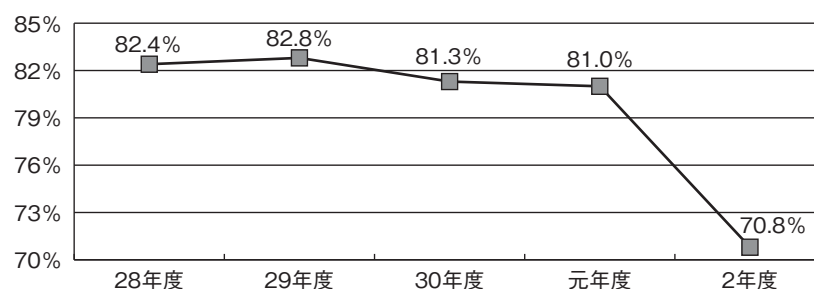
令和元年度				令和2年度				食数比較
小学校	11校	5,602人	延1,284,431食	小学校	11校	5,533人	延1,340,171食	
中学校	5	2,212		中学校	5	2,220		

(4) 共同調理場運営事業費（東部） 207,504,030 円

令和元年度				令和2年度				食数比較
小学校	15校	6,323人	延1,568,660食	小学校	15校	6,367人	延1,630,806食	
中学校	6	3,211		中学校	6	3,181		

[指 標]

指 標 名：学校給食の豊橋産食材使用率  
 指標説明：豊橋産食材使用日数／給食実施日数



3 共同調理場再整備事業費 2,530,000 円（保健給食課）

[総 括]

共同調理場の再整備にあたり、金融機関との直接協定締結支援を行った。今後も施設の建設工事を着実に進めていく。

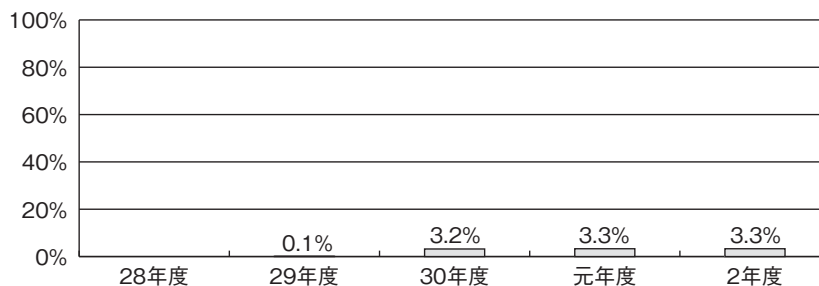
[実績及び成果]

(1) 共同調理場再整備事業費 2,530,000 円

内 容	令和元年度	令和2年度
	事業者の募集・選定 事業契約の締結	

[指 標]

指 標 名：共同調理場再整備事業進捗率(供用開始まで)  
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成29年度～令和3年度)



科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11款	災 害 復 旧 費	16,348,137	0	0	0	16,348,137
3項	そ の 他 施 設 費	16,348,137	0	0	0	16,348,137
1目	そ の 他 施 設 費	16,348,137	0	0	0	16,348,137

1 諸施設災害応急復旧費 16,348,137 円 (「スポーツのまち」づくり課始め2課)

[総括]

令和2年7月の落雷、9月の大雨及び落雷により、公園や学校の施設に多大な被害を受けたため、迅速な復旧に努めた。

[実績及び成果]

(1) 諸施設災害応急復旧費 16,348,137 円

内 容	令和元年度			令和2年度		
		「スポーツのまち」づくり課 保 育 課 農 地 整 備 課	公共施設等復旧	臨海運動広場ほか くるみ保育園 海岸管理用通路	「スポーツのまち」づくり課 教育政策課	公共施設等復旧